

2015 (平成27) 年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第16号



沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

2015（平成27）年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第16号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：平成27年度 第25回児童・生徒の平和メッセージ展

図画部門・小学校低学年の部

最優秀賞「ぼくの すてきなおきなわ」

糸満立真壁小学校2年 金城尚吾

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概 要

1 沿革	1
2 日誌(抄)	4
3 施設	7
4 組織	10
5 決算	16
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	17

II 調査研究事業

1 特別企画展のための調査研究	19
2 類似館調査	20
3 日本平和博物館会議	21

III 展示企画事業

1 常設展	22
2 企画展	
(1) 第16回特別企画展「ウチナーンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」	24
(2) 企画展「平成27年度新収藏品展」	25
(3) 企画展「戦時中の手紙・手記からみる家族の絆」展	26
(4) 子ども・プロセス企画展	27
(5) 「日系米国人版戦争体験収録事業」成果報告展	29

IV 資料収集・活用事業

1 新収藏品目録	30
2 資料貸出	
(1) 写真パネル・実物その他	31
(2) 証言映像の貸出	32
3 撮影・掲載等利用一覧	33

V 教育普及事業

1 教育普及行事	
(1) 第25回「児童・生徒の平和メッセージ展」	42
(2) 親子ビデオ上映会及び沖縄戦関連ビデオ上映会	44
(3) 夏休み子ども向け企画	45
(4) 沖縄戦平和学習実践事例シェアリングプロジェクト	46
2 教育機関との連携	
(1) 平和講話	47
(2) 博物館学芸員実習	
(3) 児童・生徒の職場体験	48
3 講座・講習会・研修会	
(1) 沖縄戦講座	49
(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会	
(3) 平成27年度沖縄県博物館協会総会・研修会	50
(4) 平成27年度沖縄県地域史協議会	51
(5) 県立学校初任者向け講習会	51
(6) 島尻地区小中学校教職員10年経験者研修会	51

(7)	島尻地区小中学校教職員初任者研修会	5 2
(8)	高等学校生徒指導連絡協議会・特別活動研修会	5 2
(9)	第17回全県高等学校生徒代表者会議	5 2
(10)	沖縄県新規採用職員後期研修会	5 2
VI	広報活動・出版等	
1	県外修学旅行誘致活動	5 3
2	沖縄修学旅行フェア2015県内フェア	5 3
3	刊行物	5 3
VII	その他の事業	
1	「沖縄のこころ」平和発信強化事業	5 4
2	第4回「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」	5 6
3	日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展	5 7
4	その他展示会等	5 8
VIII	入館者状況	5 9
1	月別入館者数	
2	年度別入館者数 慰霊の日無料入館者数	
3	月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況	
4	市町村別団体入館者数	
5	都道府県別団体入館者数	
IX	八重山平和祈念館	6 4
1	概要	
2	施設	
3	事業概要	
4	月別入館者数	
X	沖縄県平和祈念資料館友の会活動報告	7 1
1	活動内容	
2	申込方法	
3	申込条件	
4	平成27年度講話・ガイド活動実績件数	
5	平成27年度活動内容	
X I	関係条例・規則・要綱	7 3
1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	
X II	資料	8 1
1	各種申請書・要項	
2	沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	

はじめに

沖縄県平和祈念資料館は開館以来、沖縄戦の実相・教訓を後世へ正しく伝え、平和を大切にする「沖縄のこころ」を世界へ発信し、恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行っています。おかげさまで2016年3月には、640万人の来館者を達成することができました。

常設展示室は、沖縄戦に至るまでの経緯及び実相と戦後における住民の戦災復興、平和を希求する人々の足跡などを展示しています。展示をより深く理解してもらうために、県内小中学校・高等学校及び特別支援学校等の児童・生徒を対象に平和講話を提供しています。平成27年度は139回実施しており、資料館での平和講話は児童・生徒の平和学習に大きな役割を果たしています。

また、常設展示のほか、毎年テーマを決めて特別企画展を開催しています。今年度は戦後70年を迎えた「ウチナーンチュが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン」展を開催しました。

これは、戦前、夢や希望を持って台湾やフィリピンの地を踏み、逞しく生きたウチナーンチュが、戦に巻き込まれ翻弄されていく様子を住民の視点で捉えることをテーマとし、また、故郷を離れたウチナーンチュの目線で、沖縄戦に至るまでの経緯をアジア・太平洋戦争の全体像から捉える内容ともなりました。

子ども・プロセス展示室では、沖縄戦、復帰、貧困、人権、紛争、国際理解等をテーマとし、子どもたちの視点にたった企画展を実施しました。

「児童・生徒の平和メッセージ展」も25回を数え、県内小中高等学校及び特別支援学校等の年中行事として定着しています。

平成27年度は、「図画」「作文」「詩」の3部門で総数4,604点の作品応募がありました。

「詩」部門の高等学校の部最優秀作品「みるく世がやゆら」は、「沖縄全戦没者追悼式」において朗読され、その平和へのメッセージは多くの参加者に感動を与えました。

本年度の優秀作品は、昨年に引き続き県内各地だけでなく、ハワイでも展示され好評を博し、国内外の多くの人々に「平和の心」を発信しました。

平成27年度は、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、恒久平和の実現を全世界の人々に訴えるため、近年海外からの県内観光客が増えつつある中、展示の説明文等を多言語化し、タブレット機器(5カ国語)と音声ガイド機器(10カ国語)を整備しました。また、デジタルサイネージシステムを導入し来館者へ常に新しい情報を発信することで、海外も含めたより多くの方々へのアクセスを容易にし「沖縄のこころ」の発信強化に務めました。

八重山平和祈念館でも、本館移動展のほか、「八重山の戦争マラリア」展、「星の島やえやま～星文化と写真」展、「米軍と沖縄のあゆみ」展等を開催する他、平和学習のための学校教員向け館の見学会も実施しました。

今後も当館及び八重山平和祈念館を「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“場”として益々ご利用、ご活用いただくとともに、活動状況をまとめたこの冊子も広くご活用下さるようお願いいたします。

平成28年5月

沖縄県平和祈念資料館
館長 原田 直美

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外間 盛治	2000 (平成12) 年4月	2002 (平成14) 年3月
阿波根 昌安	2002 (平成14) 年4月	2003 (平成15) 年3月
島袋 記美子	2003 (平成15) 年4月	2005 (平成17) 年3月
川満 茂雄	2005 (平成17) 年4月	2007 (平成19) 年3月
宮城 智子	2007 (平成19) 年4月	2009 (平成21) 年3月
大川 芳子	2009 (平成21) 年4月	2011 (平成23) 年3月
呉屋 禮子	2011 (平成23) 年4月	2013 (平成25) 年3月
上與那原美和子	2013 (平成25) 年4月	2014 (平成26) 年3月
國仲 功	2014 (平成26) 年4月	2016 (平成28) 年3月
原田 直美	2016 (平成28) 年4月	～

[主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 (商工美術(株) 株沖縄ノムラ) と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株) 乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催
1997 (平成9) 年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) ・資料収集広報キャンペーンを開催 (巡回展、講演会)
1999 (平成11) 年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会 (最終) 開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館 (旧資料館) 閉館

2000(平成12)年度	4月1日	開館(一般公開始まる)
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催:広島市、長崎市 (~27日)
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催(~23日) アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001年(平成13)年	4月25日	入館者50万人達成
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始(~12月18日)平成18年度まで
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店(運営:沖縄県平和祈念財団)
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業(~2012年3月)
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備(英文表記追加)
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え(~3月31日)
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え(~3月19日)
2010(平成22)年度	4月1日	収藏品等整理業務委託(~H24年3月31日)
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託(~H24年3月31日)
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
2011(平成23)年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始(~10月30日)
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
2012(平成24)年度	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」(~H24年3月27日)
	12月1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 (~2015年3月)
2013(平成25)年度	10月29日	入館者550万人達成
	2月12日	ケネディ駐日米国大使来館

2014（平成26）年度 2月7日 入館者600万人達成

[主な企画展等、その他催し]

- 2000(平成12)年度 企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展
- 2001(平成13)年度 特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
- 2002(平成14)年度 企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2003(平成15)年度 企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2004(平成16)年度 特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2005(平成17)年度 特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2006(平成18)年度 特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2007(平成19)年度 特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イクサ)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)
- 2008(平成20)年度 特別企画展「カンポーンクェヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
- 2009(平成21)年度 特別企画展「イクサユヌワラビ〜戦時下の教育と子どもたち〜」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展
- 2010(平成22)年度 特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネルディスカッション」、「『NANAマラソンの道』〜走る道、逃げる道〜」展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)
- 2011(平成23)年度 特別企画展『「アメリカ世(ユー)の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたウチナーンチューー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
- 2012(平成24)年度 特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展

2013(平成25)年度 特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展

2014(平成26)年度 特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「日系二世ウチナンチュが見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につなぐ平和のウムイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサーブトーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展

2 日誌(抄) 2015(平成27)年度

- 4月3日 平和講話等利用説明会(26校50名)
- 4月6日 平和講話等利用説明会(7校13名)
- 4月10日 空調機器集中制御版取り扱い説明会
- 4月22日 高等学校生徒指導連絡協議会・特別活動研修会へ平和学習講師派遣
- 5月5日 こどもの日親子ビデオ上映会
- 5月14日 沖縄県博物館協会研修会(～5月15日)大会議室
実践報告「記憶を繋ぐ、記憶を保存する、記憶を継承する」
発表者 主査 古謝将史
- 5月28日 第1回子ども・プロセス企画展(～7月7日)
「沖縄戦と本土決戦ー捨て石にされた沖縄ー」開催
- 5月28日 一括交付金プロポーザル説明会 参加8事業所(社)
- 6月1日 「沖縄美術プロジェクト すでいる」展開催(～28日)
- 6月11日 高校生代表者会議 祈念ホール 参加者 高校生107名 引率60名
- 6月15日 JICAレキオウイングス研修 大会議室(研修生10名)
- 6月18日 マンスフィールド財団研修 大会議室(20名参加)
- 6月20日 第9回 千羽鶴仕分けプロジェクト 大会議室
- 6月21日 糸満市平和レクイエム朗読会 祈念ホール
- 6月22日 慰霊の日前夜祭のため、開館時間1時間延長
- 6月23日 第25回児童・生徒の平和メッセージ展開催(～7月9日)
開館時間1時間延長(入館者4,007名)
慰霊の日ビデオ上映会(395名)
慰霊の日「平和祈念読み聞かせ会」祈念ホール
「LOVE & PEACE in 沖縄」日展 企画展示室
- 7月2日 東京都羽村市議会視察4名
- 7月7日 インターンシップ那覇商業高等学校4名(～7月9日)
- 7月9日 「新収蔵品展」開催 企画展示室(～9月17日)
台風の影響により開会式は13日に変更
- 7月9日 台風9号接近の為、12時30分より閉館
- 7月10日 台風9号接近の為一日閉館
- 7月13日 スベレ・ルードガルド氏(元ノルウェー国際問題研究所所長)
夫妻視察 随行10名
内閣府 事務官視察(3名)
- 7月14日 地下収蔵庫燻蒸作業(～15日)
- 7月15日 平和メッセージ八重山開催(～26日)
- 7月18日 第2回子ども・プロセス企画展「チャレンジ!夏休み自由研究」
(～8月23日)51名
- 7月23日 広島平和センター JICA研修 大会議室(研修生9名)
- 7月25日 夏休み子ども教室(20名)
- 7月27日 島尻地区小中教諭初任者研修会 糸満青年の家(56名参加)

- 7月29日 福島県議会土木委員会視察（11名）
- 8月1日 第25回 児童・生徒の平和メッセージ展開催（イオン名護店～9日）
- 8月3日 島尻地区小中学校教職員10年経験者研修会 大会議室（32名）
- 8月4日 修学旅行フェア出展（コンベンションセンター）
- 8月7日 島尻地区中学校社会科研究会研修 大会議室（11名）
- 8月8日 親子平和学習ツアー（8/8のみ）8名
夏休みビデオ上映会 祈念ホール（～8/9）30名
- 8月11日 学芸員実習開始 5名（～8月18日）
- 8月12日 教職員10年経験者社会体験研修 1名（～13日）
- 8月12日 特別支援学校・幼稚園・養護教諭・新規採用学校栄養職員初任者研修会 沖縄県立総合教育センター（123名）
- 8月15日 終戦70年 特別漫画展沖縄 海と礎の回廊・2Fギャラリー（～9月28日）
終戦70年 特別漫画展沖縄 オープニングセレモニー 祈念ホール
- 8月17日 第25回 児童・生徒の平和メッセージ展開催（県庁県民ホール～21日）
- 8月18日 神奈川県議会視察（8名）
- 8月23日 内閣副官房長官視察
- 8月24日 台風15号接近の為一日閉館
- 8月27日 国土交通省都市局審議官視察（他2名）
- 9月2日 第25回 児童・生徒の平和メッセージ展開催（宮古島市役所～11日）
- 9月7日 第3回 子ども・プロセス企画展「敗戦と収容所生活」開催
（～11月23日）
- 9月18日 第1回平和祈念資料館運営協議会八重山部会（八重山）
- 9月24日 沖縄米国総領事表敬訪問
- 10月2日 平成27年度 第1回沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
- 10月9日 第16回特別企画展
「ウチナーンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」開催
（～12月10日）
- 10月9日 国連広報センター所長表敬訪問
- 10月6日 第50回 新採用職員後期研修講話（自治研修所 61名）
- 10月10日 ハワイ州知事夫妻来館
- 10月12日 JICAレキオウイングス研修 大会議室（研修生11名）
- 10月16日 台湾東呉大学学術文化視察沖縄交流団来館（9名）
- 10月16日 JICA理事長賞受賞 授賞式参加 東京都
- 10月20日 第51回 新採用職員後期研修講話（自治研修所 109名参加）
- 10月29日 沖縄県地域史協議会 第2回研修会参加 宮古島市（～10月30日）
- 10月30日 農業農村工学会九州沖縄支部大会参加者視察（31名）
- 10月31日 民主党沖縄研究会視察（6名）
- 11月3日 ハワイ州ホノルル市長一行来館（7名）
- 11月5日 さいたま市議会視察（5名）
- 11月7日 ヤン・バニング写真展 海と礎の回廊（～23日）
- 11月8日 ヤン・バニング写真展 オープニング・シンポジウム 祈念ホール
- 11月11日 インターンシップ糸満高等学校 2名、豊見城南高等学校 2名
（～11月13日）
- 11月17日 インターンシップ小禄高等学校 3名（～11月19日）
- 11月18日 インターンシップ豊見城高等学校 2名（～11月20日）
- 11月19日 県立高等学校初任研修会 大会議室（69名）
- 11月19日 第22回日本平和博物館会議 川崎市平和館（～11月20日）
- 11月26日 沖縄県博物館協会 秋の研修会参加 奄美市（～11月27日）
- 11月28日 沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」講師 又吉盛清氏（39名参加）
- 11月28日 日本平和学会秋季研究集会「沖縄県平和祈念資料館事業」展示
琉球大学 新講義棟（～11月29日）
- 12月1日 県外修学旅行誘致説明会（～12月3日 大阪・東京）
- 12月4日 第4回子ども・プロセス企画展
「憲法のない島 ー米軍統治下の沖縄と人権」（～2月14日）

- 12月13日 シンポジウム「命どう宝のマツイを継承し、平和の礎を創設した
 沖縄の人々にノーベル平和賞を！」 祈念ホール
- 12月14日 案内板撤去及びデジタルサイネージ入れ替え（～12月22日）
- 12月16日 インターンシップ向陽高等学校 1名（～12月18日）
- 12月20日 しまくとぅば創作郷土劇「希望ぬ北極星in摩文仁」 祈念ホール
- 12月23日 第1回 糸満市親子平和イベント
 「サンタさんの贈り物は『平和』です！」 祈念ホール
- 12月26日 函館豆記者沖縄取材班来館（12名）
- 1月16日 特別企画展八重山移動展開催（～2月25日）
- 1月19日 類似館調査（東京都・長野県 ～1月21日）
 ・平和祈念展示資料館 ・満州開拓平和記念館
- 1月21日 第2回 沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
- 1月26日 JICAレキオウイングス研修 大会議室（研修生9名）
- 1月29日 国土交通省 公園緑地・景観課視察（2名）
- 2月3日 第25回 児童・生徒の平和メッセージ展開催（ハワイ沖縄センター～7日）
- 2月3日 豊中市議会視察（1名）
- 2月4日 内閣府大臣政務官視察
- 2月6日 雪だるま親善大使視察（小学生2名、引率保護者3名）
- 2月10日 資料館講習会（50名参加）
- 2月13日 多言語タブレット夜間設置作業
- 2月18日 「沖縄のこころ平和発信強化事業」デジタルサイネージ関連機器
 試験運用開始
- 2月22日 高槻市議会視察（6名）
- 2月25日 消防訓練
- 3月1日 第5回子ども・プロセス企画展「摩文仁と学徒隊」開催（～5月15日）
 「沖縄のこころ平和発信強化事業」デジタルサイネージ関連機器
 運用開始
- 3月8日 「LOVE & PEACE in 沖縄」ポスター展（P. I. Nの会 ～13日）
- 3月12日 「LOVE & PEACE トークショー」 祈念ホール
- 3月15日 さいたま市総務課「沖縄平和学習デジタルアーカイブ」に関する
 調査ヒアリング（1名）
- 3月17日 第2回 平和祈念資料館運営協議会八重山部会（沖縄県平和祈念資料館）
 第3回 沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
- 3月18日 第8回G1サミットオプションプログラム参加者視察（30名）
- 3月20日 ドイツ連邦議会・ドイツ連邦共和国総領事視察（8名）

3 施 設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 "

展示工事費 1,535 "

展示設計費 126 "

情報システム 171 "

その他 404 "

エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 "

子ども・プロセス展示室 518 "

情報ライブラリー 472 "

平和祈念ホール 245 "

海と礎の回廊 256 "

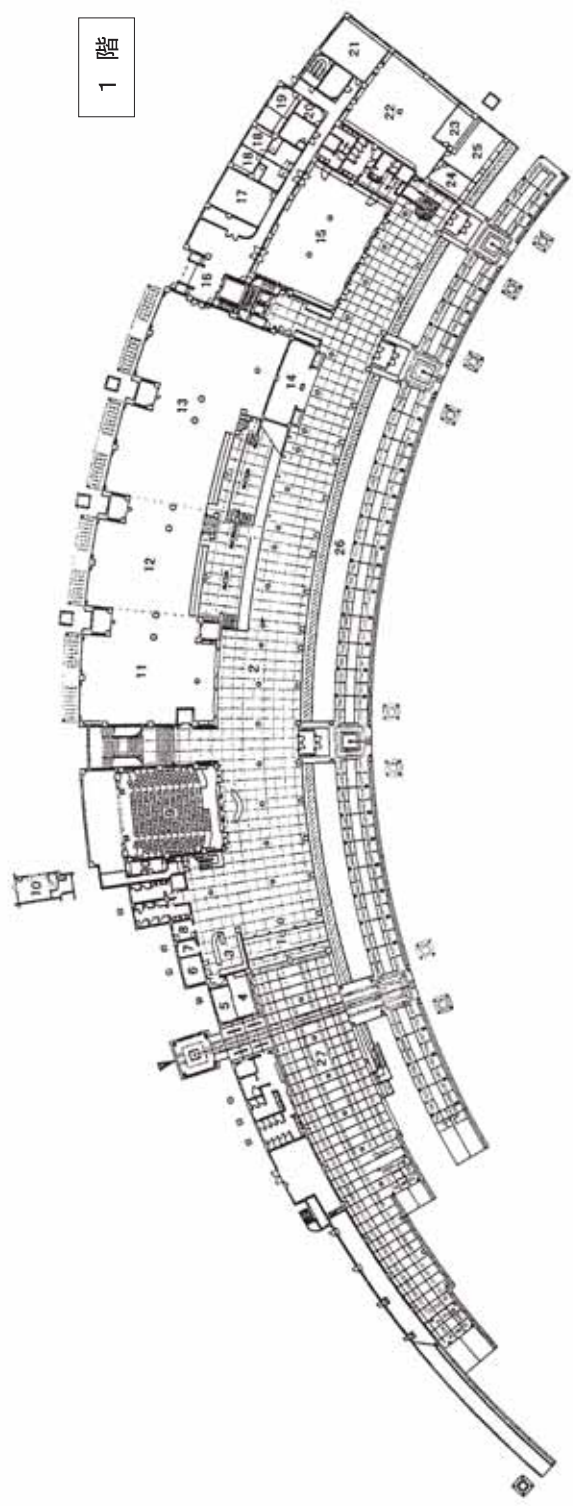
会議室 200 "

一般収蔵庫 1,201(1F、2F) "

特別収蔵庫 281(1F、2F) "

- 1 エントランス
- 2 ホール(1510㎡)
- 3 ミュージアムショップ(28㎡)
- 4 事務室
- 5 ボランティア添乗員室
- 6 授乳・救護室
- 7 TELルーム
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
- 10 楽屋・調整室
- 11 子供展示室(285㎡)
- 12 プロセス展示室(233㎡)
- 13 情報ライブラリー(472㎡)
- 14 アルコーブ
- 15 企画展示室(255㎡)
- 16 荷解き室(49㎡)
- 17 情報処理室
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室(52㎡)
- 22 事務学芸員室(158㎡)
- 23 小会議室
- 24 館長室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ピロティー

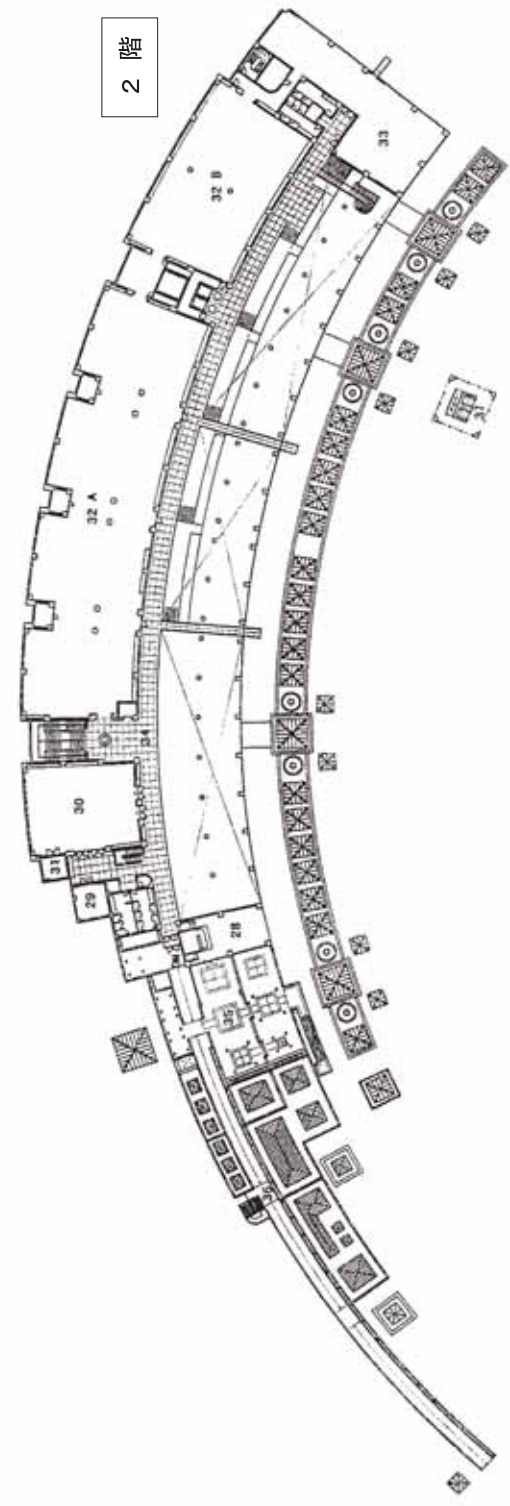
1階 s=1/700



1階

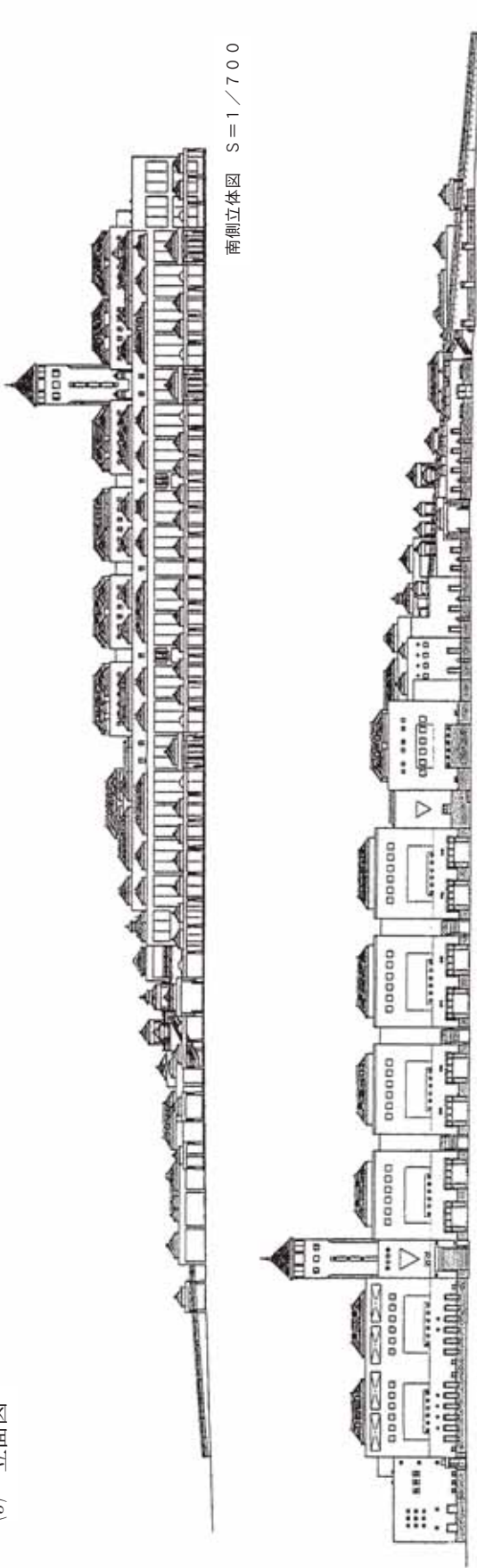
- 28 喫茶室(86㎡)
- 29 事務室
- 30 会議研修室(200㎡・100席)
- 31 調整室
- 32A 常設展示室 1~4 (957㎡)
- 32B 常設展示室 5 (403㎡)
- 33 海と礎の回廊(256㎡)
- 34 ギャラリー(373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室

2階 s=1/700

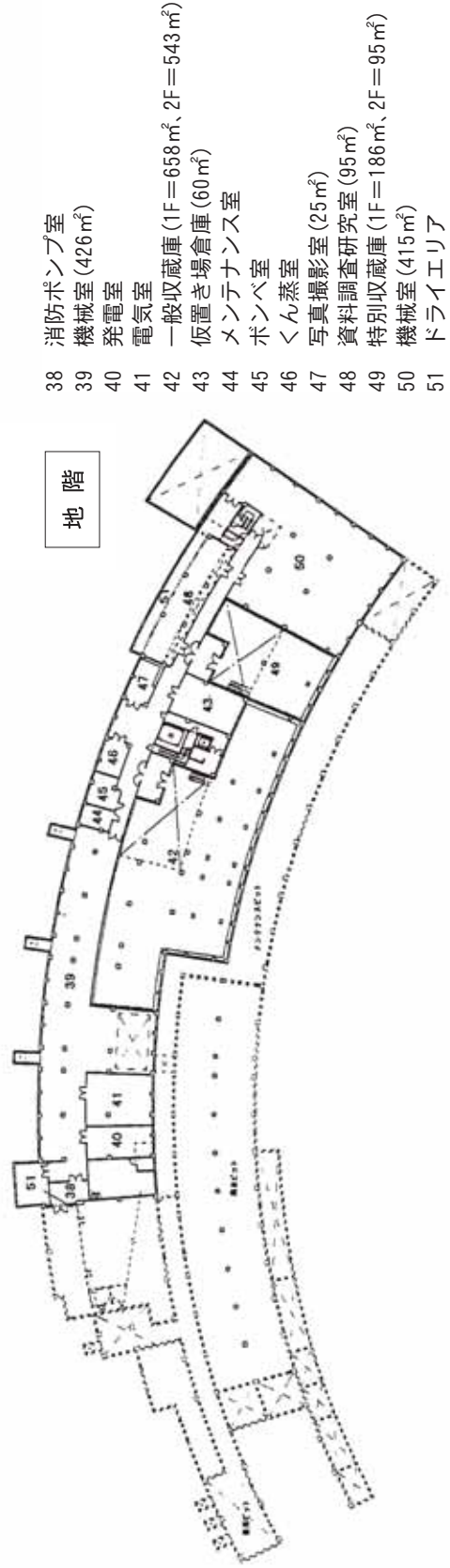


2階

(3) 立面図

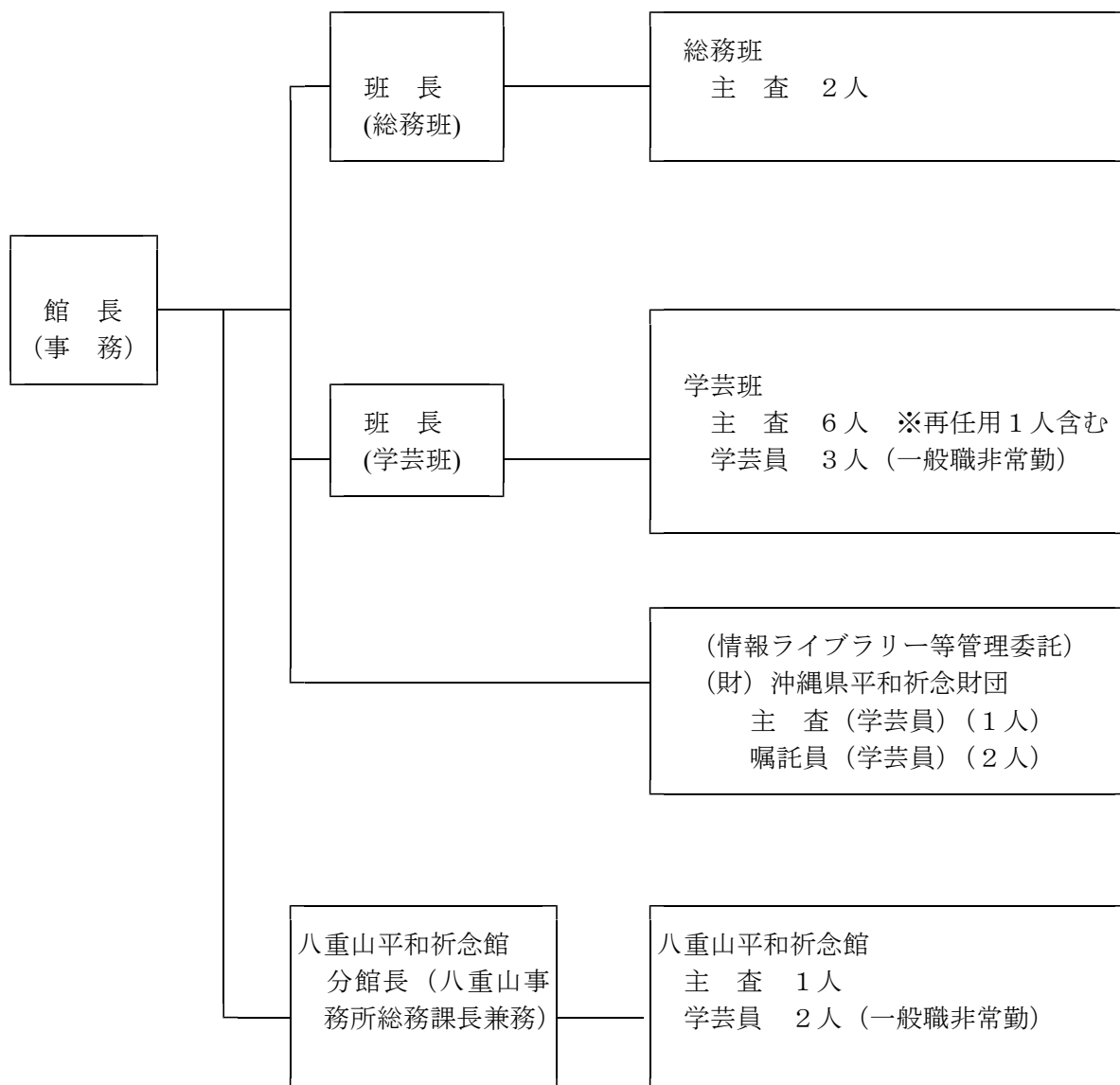


(4) 平面図



4 組織

(1) 機構（平成28年4月1日現在）



*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付 (3人)、警備 (2人)、清掃 (2人)、機械設備管理 (1人)、

(2) 職員構成（平成28年4月1日現在）

職名	氏名	担当業務
館長	原田 直美	資料館業務の総理に関すること

総務

班長	真志喜 健 (出納員)	<p>管理運営に係る将来計画の策定に関する事項</p> <p>予算、決算、監査の総括に関する事項</p> <p>財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等）</p> <p>消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項</p> <p>議会関係に関する事項</p> <p>委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項</p> <p>運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項）</p> <p>土日祝日勤務割り振りに関する事項</p> <p>その他庶務会計に関する事項</p>
主査	仲村渠 ゆかり	<p>給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項</p> <p>文書の收受、保管に関する事項</p> <p>出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項</p> <p>需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項</p> <p>旅費、報酬、謝金に関する事項</p> <p>決算に関する事項</p> <p>公用車の管理に関する事項</p> <p>消耗品、切手等の受払に関する事項</p> <p>雑入に関する事項</p> <p>共済事務に関する事項</p> <p>その他庶務会計に関する事項</p>
主査	棚原 盛健	<p>出納事務に関する事項（日計表の確認含む）</p> <p>施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項</p> <p>団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項</p> <p>歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む）</p> <p>委託料に関する事項</p> <p>修繕料に関する事項</p> <p>音声ガイド等音響機器の管理に関する事項</p> <p>機器のリースに関する事項</p> <p>備品の執行管理に関する事項</p> <p>公有財産に関する事項</p> <p>その他庶務・会計に関する事項</p>

学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長 (総括)	新垣 誠	学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 運営協議会に関する事項 (委員の選任、運営及び議題) (主) 予算・決算・議会の資料作成に関する事項 (主) 管理運営の将来計画策定に関する事項 (学芸的事項) (主) 要人・議員団・その他研修等案内及び割り振り (主) 公的研修に関する事項 (主) 消防防災に関する事項 (副) 沖縄県資料保存利用機関連絡会議 (副) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (副) 平和講話に関する事項 (共)
主査	福里 竜也	「戦世の記憶」平和発信強化事業 (主) 沖縄戦講座 (シンポジウム) に関する事項 (主) (年度途中) 提案展示会等への対応に関する事項 (主) 国際協力調整に関する事項 (韓国学生受け入れ・平和人権施設及び財団会議韓国留学生) (主) 常設展示室 (第1室) の管理運営に関する事項 (主) 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	古謝 将史	児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項 (主) 収蔵資料の管理に関する事項 (主) 質問照会の回答担当に関する事項 (主) 広報に関する業務 (HP掲載、デジタルサイネージ関連) (主) 常設展示 (子どもプラザ展示室) の管理運営に関する事項 (主) 情報ライブラリー活性化など活用促進に関する事項 (主) JICA、国外関係機関等との連携に関する事項 (主) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (副) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	宮里 満男	特別企画展の企画・立案に関する事項 (主) 資料館講習会の企画等に関する事項 (主) 情報化推進に関する事項 (主) 常設展示室 (第2・第3室) の管理運営に関する事項 (主) 日本平和博物館会議に関する事項 (副) 「戦世の記憶」平和発信強化事業 (共) 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)

主 査	渡邊 尚子	県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 展示物等の撮影許可・著作権申請等に関する事項（主） 類似館・次年度特別企画展調査に関する事項（主） 日本平和博物館会議に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 学校団体等の利用促進に関する事項（主） 沖縄県地域史協議会に関する事項（主） 常設展示室（第5及び屋外）の管理運営に関する事項（主） 特別企画展の企画・立案に関する事項（副） 資料館講習会（副） 英語に関する業務（副） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主 査	新垣 成美	証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（主） 夏休み親子平和学習に関する事項（主） キャリア教育に関する事項（主） 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項（主） 沖縄県博物館協会に関する事項（主） 沖縄県資料保存利用機関連絡会議（主） 英語に関する業務（主） 常設展示（第4室）の管理に関する事項（主） 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副） 収蔵資料の管理に関する事項（副） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主 査 (短時間勤務)	呉屋 禮子	「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 常設展示室・収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） アニメ及び上映会に関する事項（こどもの日・慰霊の日）（主） 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項（主） 『年報』等の発行に関する事項（主） 広報に関する業務（副） その他学芸業務に関する事項（共）
非 常 勤 (学芸員)	渡名喜 琴音 鈴木 友美 照本 史緒里	資料・収蔵品の整理・展示等学芸業務の補助に関する事項 資料等の送付に関する事項 観覧者アンケート等入力に関する事項 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 HPの作成に関する事項 館内事業案内掲示など広報等に関する事項 その他上司の命に関する事項

委 託

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の企画等に関する事項 沖縄戦の調査研究に関する事項 修学旅行・平和教育の講師、説明に関する事項 館長の命による業務に関する事項
嘱 託 員 (学芸員)	仲村 美奈子 吉江 史扇	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 館長の命による業務に関する事項

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	名城 政広	分館の事務を処理し、所属職員を指揮管理すること。
主 査	川上 剛司	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 観覧料の収納及び銀行入金等業務、日報月報の記録（主） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 ホームページの管理に関する事項（主） 団体入館者予約、館内案内（展示物及び資料の説明）業務（主） 来館者の対応、来館者アンケートの整理・対応（主） 企画展に関する業務（主） 運営協議会・八重山部会に関する業務（主） 展示物及び資料収集、保存及び管理に関する業務（主） 平和学習担当教員向け説明会の開催業務（主） 館の運営に関する総括業務及びその他指示された業務
非 常 勤 (学芸員)	宮良 晴美 久高 百合子	観覧料の収納及び銀行入金等業務、日報月報等の記録（副） 団体入館者予約、館内案内（展示物及び資料の説明）業務（副） 来館者の対応業務（副） 本館主催企画展の移動展に関する業務（副） 企画展に関する業務（副） 運営協議会・八重山部会への対応（副） 展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する業務（副） 平和学習担当教員向け説明会開催業務（副） 展示物及び資料の説明に関する事項（副） ホームページの管理に関する業務（副） その他の雑務及び職員の補助

(3) 人事異動（平成28年4月1日現在）

沖縄県平和祈念資料館

異動	職名	氏名	摘要
転入	館長 主査 主査 主査 非常勤	原田 直美 新垣 成美 渡邊 尚子 仲村渠 ゆかり 照本 史緒里	消費生活センターから 県立南風原高等学校から 県立中部農林高等学校から 農業研究センターから 採用
転出	館長 主査 主査 主査 嘱託	國仲 功 真栄平 房佳 平良 博志 徳嶺 かおり 大城 健資	定年退職 県立知念高等学校へ 県立具志川商業高等学校へ 水産海洋技術センターへ 退職

八重山平和祈念館（分館）

異動	職名	氏名	摘要
転入	非常勤	久高 百合子	採用（5月23日付）
転出	嘱託	眞榮田 理那	退職

5 平成27年度 歳入歳出決算（本館及び分館）

歳 入

単位：円

	常設展示室	ホール、会議室等使用料	ミュージアムショップ等	沖縄のこころ平和発信強化事業（沖縄振興特別推進交付金）	寄附金	不用品売払代	合計
資料館 観覧料	54,607,245	0	0	0	0	0	54,607,245
本館	54,389,610						54,389,610
分館	217,635						217,635
資料館 使用料	0	1,226,340	0	0	0	0	1,226,340
本館		1,225,540					1,225,540
分館		800					800
建物 使用料	0	0	242,880	0	0	0	242,880
本館			242,880				242,880
分館							0
建物貸付料（本館）			370,323				370,323
寄附金							0
雑入（本館）			229,939				229,939
沖縄のこころ平和発信強化事業（本館）				23,760,000			23,760,000
不用品売払代（本館）						13,100	13,100
合 計	54,607,245	1,226,340	843,142	23,760,000	0	13,100	80,449,827
本館	54,389,610	1,225,540	843,142	23,760,000	0	13,100	80,231,392
分館	217,635	800	0	0	0	0	218,435

歳 出

単位：円

科 目	管理運営 事	展 示 活 動 事 業	沖縄のこころ平和 発信強化事業			合 計
報 酬	241,800	9,056,300	0			9,298,100
本館	241,800	5,925,000				6,166,800
分館		3,131,300				3,131,300
共 済 費						0
賃 金						0
報 償 費	16,500		29,700,000			29,716,500
旅 費	501,490	1,578,176	0			2,079,666
本館	346,570	1,578,176				1,924,746
分館	154,920					154,920
需 用 費	32,866,311	1,036,002	0			33,902,313
本館	31,555,744	990,913				32,546,657
分館	1,310,567	45,089				1,355,656
役 務 費	1,859,494	211,000	0			2,070,494
本館	1,763,213	211,000				1,974,213
分館	96,281					96,281
委 託 料	49,794,382	17,802,824	0			67,597,206
本館	48,574,382	17,750,800				66,325,182
分館	1,220,000	52,024				1,272,024
使用料及び賃借料	8,240,414	27,000	0			8,267,414
本館	6,377,822	27,000				6,404,822
分館	1,862,592					1,862,592
工事請負費						0
備品購入費	85,104					85,104
負担金補助及び交付金	10,000					10,000
公 課 費	43,200					43,200
合 計	93,658,695	29,711,302	29,700,000			153,069,997
本館	89,014,335	26,482,889	29,700,000			145,197,224
分館	4,644,360	3,228,413	0			7,872,773

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員及び八重山平和祈念館部会委員名簿

(任期：平成26年9月16日～平成28年9月15日)

区分	役職名	氏名	現職名
学識経験者	会長	安田 國重	平和祈念資料館友の会会長
	副会長	石堂 徳一	石垣市文化協会事務局長
	委員	大城 将保	新沖縄県史編集委員
	委員	鳥山 淳	沖縄国際大学総合文化学部教授
	委員	平良 次子	南風原文化センター学芸班長
	委員	古賀 徳子	ひめゆり平和祈念資料館学芸課長代理
	委員	青山 恵昭	美術家
	委員	松田 隆仁	広報アドバイザー
	委員	宮城 明	画家、サン21プロジェクト代表
	委員	安里 進	沖縄県立博物館・美術館館長
	委員	豊見山 和行	琉球大学法文学部教授
教育関係者	委員	比知屋 綾子	沖縄県青少年育成アドバイザー
公募	委員	榎本 拓也	有限会社がじまる代表

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職名	氏名	現職名
学識関係者	部会長	石堂 徳一	石垣市文化協会事務局長
	委員	青山 恵昭	美術家
	委員	松田 隆仁	広報アドバイザー

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

■平成27年度第1回運営協議会

日時：平成27年10月2日（金）10:00～12:00 場所：平和祈念資料館 2階大会議室

内容：(1)議題

平成27年度事業経過報告・事業計画について

(2)報告

①平成26年度事業報告について

②平成27年度第1回八重山祈念館部会報告について

③社会教育施設への指定管理者制度導入に関わる問題点と今後の課題について

■第2回運営協議会

日時：平成28年1月21日（木）13:30～16:30 場所：平和祈念資料館 2階大会議室

内容：(1)議題

①平和祈念資料館の現状と課題について

②指定管理者のメリット・デメリットについて

③課題への対応と優位性の比較について

④第5展示室 展示資料変更及び更新について

(2)参考

県立博物館・美術館の指定管理者の導入状況について

■第3回運営協議会

日時：平成28年3月17日（木）13:30～16:30 場所：平和祈念資料館 2階大会議室

内容：(1)議題

①平成28年度事業計画（案）について

②平和祈念資料館の運営管理体制について

(2)報告

①平成27年度事業実績について

・「戦世の記憶」平和発信強化事業について

・特別企画展「ウチナーンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」について

②平成27年度八重山平和祈念館部会報告

(4) 八重山平和祈念館部会活動経過

■第1回八重山平和祈念館部会

日時：平成27年9月18日（金）14:00～16:00 場所：八重山平和祈念館 会議室

内容：(1)報告

①平成27年度事業経過報告・事業計画について

②平成26年度事業報告について

③八重山平和祈念館の入館者数等について

■第2回八重山平和祈念館部会

日時：平成28年3月17日（木）10:30～12:00 場所：平和祈念資料館 会議室

内容：(1)協議事項

①平成28年度事業計画（案）について

②指定管理者制度について

(2)報告

①平成27年度事業実績について

②八重山平和祈念館の入館者数等について

③遺族会名誉会長からの資料寄贈について

Ⅱ 調査研究事業

1 特別企画展のための調査研究

[目的]

平成 27 年度 第 16 回特別企画展「戦後 70 年伝え残す記憶 ウチナーンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」の充実を図るために調査研究を行う。

(1) 現地調査：写真資料撮影、調査及び資料借用の目的

①台湾（台北・桃園・基隆） 4月20日～4月24日（4泊5日）

②台湾（台北・宜蘭・蘇澳） 5月15日～5月19日（4泊5日）

③フィリピン共和国（ダバオ）7月25日～7月30日（5泊6日）

(2) 県内各地の資料館や博物館、教育委員会及び図書館等などの収蔵資料の調査を行う。

(3) 戦前、台湾やフィリピンへ渡った沖縄県出身者の調査・証言収録・書籍・レポートを中心に戦前・戦中・戦後の研究を行う。

(4) 沖縄県ダバオ会や台湾・フィリピンにおける関係者から実物資料を借用し調査研究を行う。

[内容]

台湾やフィリピン・ダバオへ移住した沖縄県出身者を中心に戦前・戦中・戦後についての調査研究を行う。台湾やフィリピンへの沖縄移住の歴史と背景、台湾やフィリピンにおける学校教育、台湾やフィリピンと日本との関係、台湾やフィリピンの戦闘経緯、住民を巻き込んだフィリピンの戦争証言や台湾の空襲や疎開体験、戦後の引揚げの労苦、沖縄県ダバオ会の慰霊祭への取り組み等

[調査資料館等]

台北 228 祈念館（台湾）、228 国家記念館（台湾）、台北市文献委員会（台湾）、カリナン日本移民資料展示館（フィリピンダバオ）、ダバオミュージアム、ダバオ市役所、ダバオ日系人会、一般財団法人台湾協会（東京）、公益財団法人台湾交流協会（東京）平和祈念展示資料館（東京）、野球殿堂博物館（東京）、フィリピン日系人リーガルサポートセンター（東京）、Wam 女たちの戦争と平和資料館（東京）、JICA 海外委員資料館（神奈川）、台北駐日経済文化代表処那覇分処、沖縄県公文書館、沖縄県立図書館、読谷村歴史民俗資料館、浦添市立図書館、金武町教育委員会、石垣市役所、石垣市立重山博物館、石垣市立図書館、与那国民俗資料館、与那国町役場その他

[調査文献]

『沖縄県史 7』、『沖縄県史 各論編 5 近代』、『沖縄県史 資料編 15・17・18』

『沖縄県史 ビジュアル版沖縄と台湾』、『浦添市移民史本編』、『読谷村史第五巻』、

『八重山写真帖上下巻』、『与那国町史』、『金武町史』、『日本植民地下の台湾と沖縄』、

『台湾疎開』、『沈黙の叫び』、『琉球官兵顛末記』、『異国のふるさとダバオ』、

『ダバオ開拓移民』、『比律賓概要と沖縄県人』 その他 40 冊

2 類似館調査

(1) 期 間 平成28年1月19日(火)～1月21日(木)

(2) 業 務 平成27年度 類似館調査

(3) 日 程

1月19日(火) 東京 「平和祈念展示資料館」 見学 説明

1月20日(水) 長野 「満蒙開拓平和記念館」 見学 説明

1月21日(木) 東京 「遊就館」「しょうけい館」「昭和館」 非公式訪問 見学

神保町(古書店めぐり)

(4) 参 加 者 主査 宮里満男 嘱託学芸員 渡名喜琴音

(5) 「平和記念展示資料館」公式訪問

ア平和記念展示資料館運営等について

イ満州開拓団、展示について

- ①HP掲載資料についての借用可能。しかし、借用希望資料が、平和祈念展示資料館主催の移動展開催期間と重複する場合は、提供ができない場合があるとのこと。今後、調整する旨を確認した。
- ②展示案内係が80分程度の時間を費やし展示解説を行う。軍隊手帳、戦陣訓、恩給、抑留者等、新たに得られる知識があった。一般来館者から事前申し込みがあった場合は、解説対応を行うとのこと。
- ③厚生労働省では「引揚証明書」を発行している。この場合、当該者の親族を証明する必要がある。
- ④外地からの引揚者情報は、原則、引揚げ港に設けられた「地方引揚援護局」発行資料が基本となるとのこと。
- ⑤引揚者証言は、図書資料、もしくは、HPから閲覧可。

(6) 「満蒙開拓平和記念館」公式訪問

ア満蒙開拓平和記念館運営等について

イ満州開拓団、展示について

- ①引揚者が引揚船に乗船した港の写真入手先を確認できた。
- ②移民者の数値は、「満州開拓史」を基礎資料としているとのこと。
- ③満州開拓団地図を購入。
- ④満州移民者の分類は、これまで確認できた分類より更に細分化されていた。下記のとおり。
試験移民 分村・分郷移民 満蒙開拓青年義勇軍 自由移民 勤労奉仕隊 帰農開拓団
- ⑤展示についての留意として、以下の説明を受ける。
 - ・ 世界史の流れの中に満州開拓を位置づける
 - ・ 国内政治政策の流れの中に満州開拓を位置づける
 - ・ 満州開拓を美化、正当化する展示ではなく、史実を事実として伝える。
 - ・ 加害、被害の両面を伝える。
- ⑥弊館同様、体験者の証言集を閲覧できる展示コーナーが設けられている。また、体験者の証言映像を、常時放映。
- ⑦沖縄戦同様、満州においても開拓団の中には集団自決を行う開拓団もいた。沖縄県関係の開拓団では、越来開拓団が一時、集団自決を決断する。しかし、悪天候でソ連軍の進軍が遅れたため集団自決を中止。

(7) その他

ア「遊就館」、「しょうけい館」、「昭和館」3館ともに非公式訪問
イ東京文京区神保町古書店にて、資料収集予備調査を兼ねる。



長野県 「満蒙開拓平和記念館」

3 第22回平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え、平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究を行うことにより、相互の連携を図りつつ、平和推進事業の一層の発展を期することを目的とする。

(1) 期 間 平成27年11月19日(木)～11月20日(金)

(2) 開催場所 川崎平和館

(3) 参加博物館

- ・立命館大学国際平和ミュージアム
- ・沖縄県平和祈念資料館(参加者：主査 宮里)
- ・広島平和記念資料館
- ・ひめゆり平和祈念資料館
- ・大阪国際平和ミュージアム ピース大阪
- ・神奈川県立地球市民かながわプラザ
- ・埼玉県平和資料館
- ・長崎原爆資料館
- ・川崎平和館



(4) 議題

ア全国語り部講演会の実施(語り部サミット)

イ日本平和博物館加盟の学芸員やガイドの研修会の実施について

ウ次回開催館の紹介 ※H28は立命館大学国際平和ミュージアム

(5) 視察

- ・明治大学平和教育登戸研究所資料館(旧日本陸軍技術本部技術研究所＝通称 陸軍科学研究所 登戸実験場)



当時、軍施設と併設が常とされた神社拝殿



倉庫



実験動物の慰霊塔



消火栓

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦―鉄の暴風―」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦―地獄の戦場―」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦―証言―」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観

できる設定となっている。

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびな一(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための**情報ライブラリー**が設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料の充実等

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスクへ)を刷新した。
- ②常設展示室2Fの第1室と第5室の年表パネルを刷新した。
- ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成22年度)
- ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成26年度)
- ⑤常設展示室2Fの第2室の大型スクリーンを刷新した。(平成27年度)
- ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語)を進めた。
常設展示室音声ガイダンス機器50台を新規導入。音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳。(平成27年度)
- ⑦デジタルサイネージシステムの導入(平成27年度)

2 企画展

(1) 第16回特別企画展

「戦後70年伝え残す記憶 ウチナンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」

①場所・開催期間

沖縄県平和祈念資料館 企画展示室：平成27年10月9日（金）～12月10日（木）

八重山平和祈念館 第2展示室：平成28年1月16日（土）～2月25日（木）

②趣旨

今から70年前、戦艦に海を覆い尽くされ、激しい艦砲と壮絶な地上戦のなか、沖縄は悲惨な運命をたどった。同じころ故郷を離れ、海の向こうで暮らすウチナンチュにも悲劇はあった。

日本がアジア・太平洋戦争に敗れる以前、台湾は長らく日本の植民地支配下にあり、帝国の南方拠点として開発・発展した。戦前には約40万人の日本人が移住し、当時の経済状況や島々の地理的な近さからも多くのウチナンチュが移り住んだ。

大戦末期、サイパン陥落など戦局の悪化に伴い、沖縄からも2万人の台湾疎開が閣議決定された。しかし、その台湾も各地で空襲被害が増大し、砲弾から逃げ惑う日々が続くなど決して安全ではなく、途中で攻撃を受け沈む疎開船や無事に上陸しても二次疎開を余儀なくされる人もいた。また、終戦後も沖縄がアメリカの管理下になったため、思うように引揚げが進まず、足止めされたウチナンチュは貧窮のどん底にあえいだ。

フィリピンにおいても多くのウチナンチュがアバカ（麻）の栽培に夢と希望を抱き、苦労しながらも大地を開墾して豊になり、約2万人といわれる日本人移民の半数を超える沖縄県出身者が生活をしてきた。しかし、この地にも戦火は迫り、男性は徴兵され女性や子どもも例外なく日本軍の飛行場建設などで多くの移民が勤労奉仕に駆り出された。また、戦時中には砲弾はもとより、山中を逃げ惑い日本兵による略奪やマラリアで命を失うなど悲惨な出来事も起こった。

両地には多くのウチナンチュが暮らし、戦火の中、砲弾や飢え、不安と戦わなければならなかった過酷な体験、そして終戦後の引揚げの際には琉球難民と呼ばれるような状況になった事実は県民に広くは知られていない。彼らの一連の体験を今を生きる私たちに伝え残すことで、平和を希求する「沖縄のこころ」を発信する機会とする。

③展示内容

第Ⅰ部：近くて遠い台湾 ～蓬萊の島とともに～

- 1 南方の拠点
- 2 海を渡ったウチナンチュ（沖縄県出身者）
- 3 南門の防波堤
- 4 台湾とのつながり

第Ⅱ部：砲弾と飢えと不安の中で ～異国のふるさとダバオ～

- 1 緑豊かな大地（フィリピン）
- 2 希望の大地
- 3 希望の大地から壮絶な逃避行へ
- 4 フィリピンと沖縄の絆

④観覧者数（18,656人）



開会式の様子



観覧の様子

(2) 企画展「平成27年度新収蔵品展」

〔名称〕「新収蔵品展－平成25年度・26年度収蔵資料－」

〔期間〕平成27年7月9日（木）～9月16日（水）

〔場所〕沖縄県平和祈念資料館1階 企画展示室

〔展示方針〕

- (1) 寄贈者への「お礼と感謝」の気持ちを表すと共に、新たに収蔵された県民財産を公開する。
- (2) 沖縄戦及び戦前から戦後の歴史に関する理解を深める場とする。
- (3) 公開することにより新たな寄贈に向け、広く一般に啓発の機会とする。
- (4) 原則として、全ての資料を展示するものとする。



〔オープニングの様子〕

〔展示内容〕

- (1) 館長挨拶
- (2) 平成25年度・26年度の寄贈品
- (3) 寄贈品関連写真パネル、証言映像



〔新収蔵品展の様子〕

(3) 「戦時中の手紙・手記からみる家族の絆」展

期間 平成27年8月1日(土)～8月31日(月)

場所 企画展示室 (3分の1スペース)

戦後70年を経過した現在。豊かさを享受しながらも家族の絆に不安を覚えるような出来事が増えています。

この企画展では、70年前の戦時中、厳しい状況の中でも家族を互いに思いやる想いを綴った手紙・手記を公開しました。現在(いま)を生きる私達が抱える「家族の絆とは何か?」という問いに、何らかの示唆を得られるような展示をしています。



当館所蔵品のほか、福岡県在住の伊藤博文氏より提供いただいた、氏の祖父である「伊藤半次絵手紙」も公開しました。

また関連コーナーも設けました。南城市立久高中学校の生徒が描いた「平和メッセージはがき」の展示や、参加型の取り組みとしてメッセージボード、関連書籍コーナーも設置しました。

〈観覧者アンケートより〉※一部掲載

- 平和のすばらしさをあらためて知ることができました! (神奈川県、中学生)
- 手紙の書き方、文字は、昔祖母にもらったハガキと同じものです。とても身近に感じられました。(神奈川県、大人)
- 絵手紙を通して、家族の絆の大切さを実感しました。多くの人々に見てほしいと思います。(那覇市、大人)



(4) 子ども・プロセス企画展

第1回「沖縄戦と本土決戦 ―捨て石にされた沖縄―」

日本軍が沖縄戦で持久戦を行った理由は、「本土決戦」のための時間稼ぎが目的だったといわれている。「本土決戦」とは何だったのかを知ることによって、沖縄戦についての理解をより深める機会とする。

[期間] 平成27年5月28日(木)～7月7日(火)

[内容]

- ① 沖縄戦 ―時間かせぎの戦い―
(日本軍の作戦、住民の戦場動員、戦闘状況、被害)
- ② 本土決戦 ―神州不滅―
(追い詰められた日本、「一億玉砕」―決戦の準備―、
「一億総特攻」―体当たり攻撃―、敗戦へ)
- ③ 戦後の日本と沖縄

[観覧者数] 13,995名



第2回「チャレンジ! 夏休み自由研究 ―沖縄戦について調べてみよう―」

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行う。

[期間] 平成27年7月18日(土)～8月23日(日)

[内容]

- ① 自由研究の進め方やテーマ選びのヒント
- ② 研究テーマの紹介・解説
 - ・ 沖縄戦の概要
 - ・ 住民の避難生活
 - ・ 住民の戦場動員
 - ・ 沖縄戦の被害
 - ・ 不発弾
 - ・ 平和の礎
- ③ 自由研究のまとめ方(研究ノートや新聞)を紹介

[観覧者数] 6,973名



第3回「敗戦と収容所生活」

終戦直後の民間人収容所では、沖縄戦で負傷し衰弱した人々が次々と亡くなっていった。また、米兵による犯罪や事故が多発し、人々は不安と恐怖におびえながら生活した。70年前、沖縄県民が体験した収容所での生活について展示する。

[期間] 平成27年9月7日(月)～11月23日(月)

[内容]

- ① 鉄の暴風
- ② 収容所へ
- ③ 降伏文書の調印
- ④ 民間人収容所(住・食・衣、芸能、恐怖の米兵、学校、孤児院)



⑤捕虜収容所 ⑥米軍に奪われた土地 ⑦収容所からの解放

⑧遺骨収集と慰霊塔建立 ⑨戦後の日本と沖縄

[観覧者数] 17,780 名

第4回「憲法のない島 ―米軍統治下の沖縄と人権―

戦後の沖縄では、日本国憲法は適用されず、住民の基本的な人権が踏みにじられる状態が長く続いた。米軍統治下の沖縄と人権について学び、基本的な人権の大切さについて考える。

[期間] 平成27年12月4日（金）～平成28年2月14日（日）

[内容]

①「人権」ってなんだろう？

②憲法のない島

- ・日本から切り離された沖縄
- ・踏みにじられる人権（土地接収、教育の格差、事件・事故、コザ騒動）
- ・燃えあがる復帰運動

③米軍統治下の人々の暮らし

④そして、いま ―復帰44年目の沖縄―

[観覧者数] 12,038 名



第5回「摩文仁と学徒隊 ―健児之塔建立70周年―

今年は健児之塔ができて70周年になるが、沖縄戦終焉の地である摩文仁での男子学徒隊の状況はよくわかっていない。子どもたちに沖縄戦について関心を持ってもらうために、多くの少年たちが犠牲となった学徒隊に焦点をあてて展示を行う。

[期間] 平成28年3月1日（火）～5月15日（日）

[内容]

①沖縄戦の概要

②摩文仁と沖縄戦：日本軍の部隊配備から米軍の占領まで

③学徒隊の最後：摩文仁に配置された学徒隊の概要と最後の状況

④健児之塔の建立：健児之塔と師範健児之塔、平和の像の建立

⑤摩文仁と慰霊塔：摩文仁への慰霊塔の集中と平和祈念公園の建設

⑥戦後の学徒たち



(5) 「日系米国人版戦争体験収録事業」成果報告展

平成26年度一括交付金を活用して、沖縄戦に従軍した日系米国人の証言や戦争体験を収録・発信すると共に成果報告展を開催した。

平成27年2月11日から2月15日までの那覇空港展を皮切りに、2月21日から2月27日までJICA横浜移民歴史資料館にあるJICA横浜プラザで開催、さらに3月1日から3月5日まで羽田空港国際線EDOホールにおいて、日系二世の戦争体験展示会を県外で初めて開催した。また、3月21日から6月30日の期間、当館においても成果報告展を開催した。



IV 収集資料・活用事業

1 新収蔵品目録（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(1) 実物資料

(14) 個人、(0) 団体から、(12) 件 (102) 点の資料寄贈がありました。

N O	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H27.4.20	東条英機 戦艦ミズーリ号上での写真	3	比嘉敏勝
2	H27.4.24	サーベル	1	大城長武
3	H27.5.30	写真アルバム（複製）	2	登川吉雄
4	H27.6.4	写真（牛島夫人、バックナー夫人）	4	金城宜嗣
5	H27.6.17	砲弾の破片		新垣伸弘
6	H27.6.21	各種証書（卒業証書、賞状等）	11	新垣真秀
7	H27.6.25	沖縄戦関連写真印刷物（原版）	41	城間茂夫
8	H27.8.3	新聞（原本12枚、複製22枚）	34	町田宗光
9	H27.8.10	砲弾の薬莖	1	辺土名朝久
10	H27.8.19	はがき（戦時郵便）	1	金城智子
11	H27.9.5	絵画（10.10空襲）	1	嘉手苺立美
12	H27.11.12	写真集（フィリピンダバオ開拓）	1	島田竹代
13	H27.11.18	軍服（上着）	1	東恩納尚子
14	H28.2.27	日本兵パイロットの手袋	1	ランディー・ポールソン
15	H28.3.15	陸軍予科士官学校卒業記念写真帳	1	松島里奈

(2) 図書資料（DVD等含）

(10) 名の方から、(22) 点の図書資料（DVD等含む）寄贈がありました。これらは当館内の情報ライブラリーにて閲覧できます。

No.	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H27.4.8	戦争体験記27号 パラオ・台湾の記	1	宮城恒彦
2	H27.4.16	絵本「げっとうの咲くとき」他	6	今秀子
3	H27.4.25	紙芝居（複製）	1	大城安信
4	H27.6.25	糸満市史抜刷書籍「沖縄戦と糸満市域」	2	新田重清
5	H27.7.17	自費出版本「吾が青春の軌道」	2	岩谷千春（神奈川県）
6	H27.8.3	自作CD「そらのうた」	1	千葉幹夫（宮城県）
7	H28.1.16	自費出版本「どこにも仏桑花」俳句写真集	3	末吉發
8	H28.3.14	「版画作品メッセージ集」守山中学校	3	岩井知子
9	H28.3.14	おりがみ作品集「へいわをゆめみて」	1	マナ・オリ
10	H28.3.15	陸士第57期戦没者記録	1	松島里奈
11	〃	陸軍士官学校大東亜戦争戦没者霊鑑	1	

2 資料貸出

(1) 写真パネル、実物、児童・生徒の平和メッセージ展パネル等の教育現場、公共機関等への貸出

資料館では、写真パネル（計201点）、沖縄戦実物資料（20種類）、児童・生徒の平和メッセージ展図画・作文・詩入選作品パネル、世界人権宣言絵画パネル一式（35枚一式）「沖縄戦の絵」複製パネル（52点）等を貸し出しております。

平成27年度は、県内外あわせて 計（78）件、（622）点の貸出をしました。

（県内） 【 49 】 件 【 268 】 点

	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	那覇市立松川小学校	平和学習キットB	1	4/12 ～ 4/27
2	糸満市立西崎小学校	平和学習キットA、B	2	5/7 ～ 5/22
3	那覇市立天久小学校	平和学習キットC	1	5/8
		実物資料	10	〃
4	宮古島市総合博物館	平和のウムイ地域版（宮古）	1	5/14 ～ 7/3
5	沖縄県立美里工業高校	平和メッセージ展入賞作品	5	5/14 ～ 5/28
		沖縄戦の絵	5	5/28 ～ 6/11
		実物資料	5	6/11 ～ 6/25
6	豊見城市立とよみ小学校	平和学習キットC	1	5/17 ～ 5/31
		実物資料	11	〃
7	名護市立屋我地中学校	実物資料	5	5/21 ～ 6/5
8	南風原町立翔南小学校	平和学習キットB、C	2	5/23 ～ 5/31
9	那覇市立真嘉比小学校	実物資料	18	5/27 ～ 6/29
10	久米島町立久米島西中学校	平和のウムイ地域版（久米島）	1	5/29 ～ 6/12
11	沖縄県立南風原高等学校	実物資料	9	5/29 ～ 6/30
12	社会福祉法人若竹福祉会	沖縄線写真パネル	10	5/30 ～ 7/4
		平和メッセージ展入賞作品	3	〃
13	那覇市立古蔵小学校	平和学習キットA、C	2	6/1 ～ 6/4

14	与那国町立比川小学校	平和のウムイ地域版(石垣)	1	6/1 ~ 6/14
15	浦添市立沢岷小学校	平和学習キット C	1	6/1 ~ 6/10
		平和学習キット B	1	6/17 ~ 6/30
16	浦添市立浦添小学校	平和学習キット A、B	2	6/1 ~ 6/12
17	沖縄県立中部商業高等学校	平和メッセージ展入賞作品	14	6/1 ~ 6/30
		沖縄戦の絵	6	〃
18	伊江村立伊江中学校	平和のウムイ地域版(北部)	1	6/2 ~ 6/15
19	那覇市立城南小学校	実物資料	2	6/4 ~ 6/26
20	沖縄県立向陽高等学校	沖縄戦写真パネル	10	6/4 ~ 6/24
		沖縄戦の絵	3	〃
		実物資料	4	〃
21	浦添市役所国際交流課	平和学習キット A、B	2	6/5 ~ 6/8
22	豊見城市文化課	実物資料	2	6/5 ~ 6/29
23	南城市立百名小学校	実物資料	11	6/8 ~ 6/19
24	沖縄県立盲学校	平和学習キット C、D	2	6/8 ~ 6/22
25	沖縄市立美里中学校	沖縄戦写真パネル	15	6/8 ~ 6/26
26	浦添市立内間小学校	平和学習キット D	1	6/8 ~ 6/22
27	沖縄県立沖縄ろう学校	実物資料	19	6/9 ~ 6/30
28	沖縄市立コザ小学校	平和学習キット A	1	6/12 ~ 6/22
29	浦添市立森の子児童センター	沖縄戦写真パネル	20	6/12 ~ 6/24
30	糸満市立中央図書館	平和のウムイ地域版(那覇南部)	1	6/12 ~ 6/25
31	恩納村誌編さん室	沖縄戦写真パネル	1	6/13 ~ 6/28
32	豊見城市立ゆたか小学校	平和学習キット B	1	6/14 ~ 6/27
33	浦添市国際交流課	実物資料	7	6/15 ~ 6/22
		ウムイ地域版セット(中部)	1	〃
34	沖縄県立南部商業高等学校	平和学習キット A、C	2	6/16 ~ 6/29
35	久米島博物館	平和のウムイ地域版(久米島)	1	6/17 ~ 6/26
36	宮古島市立佐良浜中学校	平和のウムイ地域版(宮古島)	1	6/18 ~ 6/25
37	本部町立博物館	実物資料	8	6/19 ~ 7/7
38	座間味村商工会議所	沖縄戦写真パネル	14	6/20 ~ 7/3
39	沖縄県立那覇西高等学校	平和学習キット A、B	2	6/26 ~ 7/13
40	沖縄インターナショナルスクール	平和学習キット A、C	2	7/2 ~ 7/16
41	恩納村立仲泊小学校	平和学習キット A、B	2	9/28 ~ 10/16
42	沖縄県立名護商工高等学校	実物資料	5	10/21 ~ 11/13
43	豊見城市立伊良波小学校	平和学習キット B、C	2	11/1 ~ 11/14
44	名護市私立三育中学校	平和学習キット A、C	2	11/5 ~ 11/20
		実物資料	12	〃
45	宜野湾市立嘉数小学校	平和学習キット D	1	11/14 ~ 11/28
		平和のウムイ地域版(中部)	1	〃
46	金城小学校	平和学習キット A、B	2	1/4 ~ 1/17
47	中城小学校	平和学習キット A、B	2	1/5 ~ 1/19
48	つぼみ子どもクラブ	平和学習キット A、C	2	3/24 ~ 3/30

(県外) 【 28 】 件

【 353 】 点

	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	戦争と平和資料館ピースあいち	実物資料	11	5/12 ~ 7/10
2	MYY コミュニケーションズ	平和メッセージ展入賞作品	15	6/1 ~ 6/3
3	放送番組センター	沖縄戦写真パネル	20	6/12 ~ 7/7
4	戦争体験放映保存の会	沖縄戦写真パネル	15	6/14 ~ 6/24
		実物資料	4	〃
5	山梨県立白根高等学校	沖縄戦写真パネル	10	6/17 ~ 6/30
6	京都府城陽市秘書広報課	沖縄戦写真パネル	20	7/6 ~ 7/20
7	連合千葉	沖縄戦写真パネル	17	7/8 ~ 7/15
8	川崎市平和館	実物資料	7	7/21 ~ 9/10
9	京都府人権ふれあいセンター	沖縄戦写真パネル	20	7/27 ~ 8/10
10	連合秋田中央地域協議会	沖縄戦写真パネル	20	7/28 ~ 8/6
11	大阪和泉市立人権文化センター	沖縄戦の絵	20	7/28 ~ 8/27
12	静岡県浜松復興記念館	沖縄戦写真パネル	20	7/28 ~ 9/1
13	東京都港区総務部人権課	沖縄戦写真パネル	19	7/29 ~ 8/19
14	北海道士別市役所	平和学習キット A、B	2	7/30 ~ 8/19
15	茨城県那珂市役所企画部	沖縄戦写真パネル	20	7/30 ~ 9/3
16	埼玉県浄土真宗浄泉寺	平和学習キット C、D	2	7/31 ~ 8/10
17	岡山美作市立英田中学校	平和学習キット B	1	8/5 ~ 8/7
18	群馬県邑楽町平和展実行委員会	沖縄戦の絵	14	8/14 ~ 9/1
19	東京北法律事務所	平和学習キット B、C	2	8/17 ~ 8/28
20	長野県立明科高等学校	実物資料	13	8/19 ~ 9/18
		沖縄戦写真パネル	7	〃
21	新潟県立長岡向陵高等学校	沖縄戦写真パネル	14	9/3 ~ 9/25
		沖縄戦の絵	6	〃

22	埼玉県私立正智深谷高等学校	平和学習キット A、B、C	3	9/8 ~ 9/18
23	京都市私立佛教大学	平和学習キット B、C	2	10/22 ~ 10/30
24	大阪寝屋川市立成美小学校	実物資料	4	10/28 ~ 11/28
		沖縄戦写真パネル	1	〃
		沖縄戦の絵	1	〃
25	平和ミュージアム徳島実行委員会	平和学習キット B、C	2	12/7 ~ 12/18
26	千葉県佐倉市広報企画課	沖縄戦写真パネル	20	1/15 ~ 1/28
27	泉南市立西信達中学校	実物資料	11	2/18 ~ 3/25
		平和学習キット B		
28	神奈川県立高津養護学校	実物資料	5	3/15 ~ 3/29

(2) 証言映像の貸出

戦争体験証言ビデオや収容所生活等の映像資料で、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを伝えることを目的に貸し出しを行っております。近年は修学旅行前の事前学習の教材として利用したいとの申し込みが学校現場より増えております。

[概要]

- 貸出本数 合計 (43) 件 (130) 本
(県外 29 件 88 本、県内 14 件 42 本)
- 貸出ビデオ ①DVD 証言ビデオ28巻 (原則として1本に3名分、計81名分の証言)
*VHS版もあり
- ②DVD 『やーさん ひーさん しかーさん 一集団疎開学童の証言一』
③DVD 『そして僕らは生き残った』
④DVD 「強制集団死 (集団自決) に係る証言映像」
⑤DVD 『平和のウムイ』30巻 (1巻10名、計300名分の証言)
⑥DVD 『日系二世が見た戦中・戦後』 (4巻 20名分の証言、日本語、英語版あり)
- ※貸出期間は原則として2週間以内、貸出本数は原則5本以内とする。

平成27年度より、「子や孫につなぐ平和のウムイ地域版セット」の貸出もスタートしました。6地域 (北部、中部、那覇南部、久米島、宮古島、石垣島) ごとに、証言 DVD、パネル、証言集をセットにしました。ぜひ、ご活用ください。



3 撮影・掲載等利用一覧

平成28年3月31日現在

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	琉球朝日放送報道制作 謝花尚	旧日本軍三八式歩兵銃(撮影)「ニュースQ+」放映 平成27年4月14日放送	1	4/6
2	NHK沖縄放送局 中村雄一郎	「鹿山文書」(撮影) NHKニュースウォッチ9放映 (平成27年4月14日)	1	4/7
3	戦争と平和資料館ピースあいち 岡村裕成	沖縄戦の絵 w-2 w-5 w-7 w-9 w-11 w-12 w-14 w-17 w-19 w-21 w-24 w-25 w-30 w-38 w-44 w-47 (データ提供) 「戦後70年今振り返る沖縄戦と日本軍展」にて使用	16	4/7
4	日本機関紙出版センター 丸尾忠義	「沖縄戦の戦闘経緯図」(データ提供) 日本機関紙出版「高校生と教師の憲法授業」へ掲載の為 平成27年5月20日	1	4/8
5	株式会社福岡放送 報道局長 毛利元夫	戦闘状況写真23点。 B-006 B-008 B-009 B-013 B-020 B-021 B-024 B-036 B-038 B-042 B-047 B-050 B-053 B-055 B-066 B-070 B-081 B-085 学習キットデータ4点 アジア太平洋戦争の動き 沖縄戦戦闘経緯 臨時招集令状 死亡告知書 (データ提供)「未来へのメッセージ～伊藤半次戦地からの手紙展～」展示にて使用	27	4/9
6	株式会社東京ビデオセンター 中村美美子	沖縄戦米軍記録写真 353 613 (データ提供) NHK発行番組紹介誌「ステラ」他新聞雑誌等掲載の為 5月発行 NHKBS「戦場の真心」放映の為 6月下旬	2	4/9
7	株式会社東京読売新聞東京本社 東慶一郎	沖縄戦米軍記録写真 0019 0085 0132 0137 0253 0296 0300(データ提供)読売新聞ウェブサイト企画「検証・戦争責任」へ掲載	4	4/9
8	琉球放送株式会社 岸本春梨	「沖縄戦の戦闘経緯図」(データ提供) RBCザニュース放映の為 平成27年4月14日	1	4/13
9	株式会社ホワイト・ベアーファミリー 斉藤祐子	沖縄県平和祈念資料館外観写真(データ提供) Web媒体「沖縄ラボ」にて転載の為 平成27年4月下旬公開	3	4/16
10	中日新聞東京本社 編集局長 菅沼堅吾	沖縄戦米軍記録写真 019 132 233(データ提供)サンデー版大図鑑付「ひめゆり学徒隊」へ掲載 平成27年6月21日	3	4/22
11	浦添市役所企画部国際交流課 西田原緑	沖縄戦米軍記録写真 041 095 098 102 132 232(データ提供) 広報うらそえ6月号掲載	6	4/22
12	株式会社浜島書店 代表取締役 浜島晃	沖縄戦米軍記録写真 0019(データ提供) 「総合歴史」掲載の為 平成28年4月1日	1	4/23
13	琉球新報社 島袋貞治	「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」29項91番(データ提供) 琉球新報紙面掲載の為 平成27年4月26日	1	4/23
14	高地新聞社 眞崎裕史	沖縄戦米軍記録写真 085 0104 0142 0197 0216 0251 0253(データ提供) 高地新聞へ掲載。4月28日朝刊	7	4/24
15	有限会社スタジオ・ジップ 岩永めぐみ	沖縄戦米軍記録写真 0019 0218 0224(データ提供) 「入門 日本陸軍と太平洋戦争」へ掲載 平成27年6月3日	3	4/27
16	NHK制作局 生活食料番組部 松本浩司	「そして、僕は生き残った(市販VTR)」(貸出) NHK総合「あさいち」にて放映 平成27年5月27日	1	5/1
17	沖縄テレビ 大浜直樹	沖縄戦米軍記録写真 212 213 214 2150216(データ提供) OTV報道スペシャル「まちかんでい」放映 平成27年5月24日	5	5/1
18	沖縄テレビ放送 島袋綾菜	企画展「沖縄戦の絵 体験者が描く地獄の戦場」展示資料撮影 「おきCORE」放映 平成27年5月6日	1	5/4
19	埼玉県 板橋区「継志」上演準備会 長谷川由里	書籍「平和への証言」(購買済み書籍使用) 朗読劇にて使用の為 平成27年6月2/3日	1	5/7
20	株式会社WAVE出版 設楽幸生	沖縄戦米軍記録写真 011 019 023 055 056 137 165 207 208 253 書籍「13歳の私が見た沖縄戦」掲載 平成27年7月	10	5/7
21	うるま市立歴史民俗資料館 國吉康孝	沖縄戦米軍記録写真 001 002 016 017 018 021 025 028 029 030 031 033 034 035 036 101 102 106 108 112 113 114 115 116 118 121 122 123 124 125 238 243 245 249 252 255(データ提供) 平和資料展「戦後復興の地うるま市」掲載 平成27年5月15日～6月28日	36	5/8
22	NHK沖縄放送局 成清洗太	沖縄戦記録写真 009 010 074 075 076 137 138 139 140 142 143 144 145 146 148 149 150 152 211 212 213 214 215 216 230 232 233 234 243 244 245 246 (データ提供)NHK総合「NHKスペシャル」放映 平成27年6月14日	34	5/12
23	中城村役場 村長 浜田京介	沖縄戦米軍記録写真 132 140 「広報なかぐすく No.218(6月号)」掲載の為 平成27年6月5日	2	5/15
24	うるま市 黒木修 (興南高校3学年 外営陸)	常設展示室撮影 県外高校生向け平和講話ガイドの為	1	5/16
25	宮古南静園ハンセン病歴史資料館 企画運営員 亀濱玲子	常設展示室撮影 資料館開館開館準備参考資料づくり	1	5/15

26	読売新聞那覇支局 支局長 藤井慎也	沖縄戦米軍記録写真 082 084 197 232 233 234 243 564 560 562 140(データ提供) 紙面及びWeb掲載の為 平成27年5月~12月	11	5/15
27	読売新聞那覇支局 支局長 藤井慎也	大城藤六氏(友の会)講話撮影 紙面掲載 平成27年6月~12月	1	5/15
28	朝日新聞福岡本部放送センター 後藤 啓文	沖縄戦米軍記録写真233 234 252 296 「総合案内P68 比謝川河口 写真」(データ提供) 「知る沖縄戦」掲載 平成27年6月中旬	5	5/15
29	まほろば映画音楽実行委員会 寺井保	詩「へいわってすてきだね」(購入済み資料使用) 第11回まほろば 映画音楽際にて朗読の為 平成27年9月5日	1	5/18
30	うるま市役所秘書広報課 山入端立也	沖縄戦米軍記録写真009 090 212 232 296(データ提供) 「広報うる ま 6月号」掲載の為 平成27年6月	5	5/18
31	琉球新報社 久場安志	沖縄戦米軍記録写真 074 075 (データ提供) 紙面掲載 平成27年5	2	5/18
32	東京新聞社会部 瀬口晴義	沖縄米軍記録写真 009 085 030 208 「軍機を語るな」(データ提供) 紙面掲載の為 平成27年6月中旬~下旬	5	5/19
33	読売新聞那覇支局 支局長 藤井慎也	沖縄戦米軍」記録写真 009 019 022 025 031 038 045 051 058 078 132 137 161 205 219 233 283 286 299 300(データ提供) 紙面及び Web掲載 平成27年5月~12月	20	5/19
34	キングレコード株式会社 渡辺有賀	「へいわってすてきだね」安里有生(取得済みデータ使用) 「被爆 70周年記念コンサート」で行われる絵本朗読を収録 平成27年6月14	1	5/21
35	立命館大学国際平和ミュージアム 川口京子	「子や孫につなぐ平和のウミイ事業 No.36」(データ借用) 日本平和 博物館会議戦後70年共同企画展示会での上映の為 平成27年6月 ~12月 ※「日本平和博物館会議」当館加盟組織	1	5/22
36	NHK国際放送局 橋本朋美	平和の礎検索機器の撮影 5/24 「NHK world News Room Tokyo」放送の為 平成27年6月23日	1	5/22
37	NHK国際放送局 橋本朋美	平和の礎検索機操作の撮影 5/28 「NHK world News Room Tokyo」放送の為 平成27年6月23日	1	5/24
38	中城村役場 村長 浜田京介	沖縄戦米軍記録写真298(データ提供) 「広報なかぐすくNo.218 6月 号」掲載の為 平成27年6月5日	1	5/25
39	浦添市立内間小学校 校長 長濱京一	平和学習キットCのデータ(データ提供) 内間小学校平和週間学習 資料作成 平成27年6月8日~6月22日	1	5/25
40	NHK名古屋放送局 竹添賢一	常設展示室撮影 「ほっとイブニング」放映 平成27年6月上旬	1	5/25
41	糸満市 久保田暁	戦前学校の様子写真(体操風景 教室 少年と成人男性及び老女) (データ提供) 友の会講話にて使用	3	5/25
42	与那原町教育委員会 生涯学習振興課 宮城明恵	写真パネルB-25 E-035-1 防毒面 認識票 水筒 投降勧告ピラ(国 頭移動中) 投降勧告ピラ(摩文仁) 米軍作成沖縄地図 学童疎開 状況 学童疎開引率教員服務既定 学童疎開熊本県内疎開状況地 図 沖縄新聞第一号 写真週報196 写真週報202 招集令状沖縄戦 米軍記録写真017 018 019 022 023 024 136 174 758 083 299 296 沖縄戦の絵 184 216 136-1 119-7 119-8 119-9 152-1 152-2 185-1 197 199 8078 8255 161 287 289-1 289-2 289-3 289-4 244 122 171 (データ提供及び撮影) 与那原町戦後70周年平和祈念事業 「慰霊 の日・与那原町平和の日」関連企画展使用	49	5/25
43	編集企画室群 浦沢尚美	沖縄県平和資料館紹介(名称 住所 電話番号) 「全国の平和博物 館施設リスト」への掲載	1	5/26
44	沖縄タイムス 新垣綾子	沖縄戦米軍記録写真 010 072 074 075 076 078 090 137 138 139 156 232 233 234 235 239 243 269 286 336 433 450 451 452 560 561 562 576 640(データ提供) 戦後70年関連企画(紙面)への掲載 平	29	5/26
45	那覇市 小濱裕(小濱雪子長男)	「証言 小濱雪子」(データ提供) 母、小濱雪子証言を家族保管した	1	5/26
46	東京都世田谷区 生活文化部人権男女共同参画担当課 せたがや平和資料室 高根敏郎	沖縄戦米軍記録写真231(データ提供) 特別展巡回展展示資料とし て使用 平成27年8月1日~12月22日	1	5/28
47	金武町教育委員会 教育長 比嘉貴一	沖縄戦米軍記録写真 B-030 B-073 B-074 B-075 B-026-1 B-064 B-025 B-029 112 113 114 115 154 050 313 330(データ提供) 戦後70年記念事業パネル展「やんばるの戦争遺跡」にて使用 平成 27年6月15日~6月29日	16	5/28
48	八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館 館長 新垣隆之	沖縄戦の絵 020-1 033-1 034-1 039-1 041-1 041-2 044-1 045-1 050-1 050-1 056-1 069-1 073-1 075-1 077-1 079-1 083-1 087-1 089-1 090-1 092-1 098-1 099-1 105-1 124-1 228-1 232-1 237-1 245-1 249-1 250-1 254-1 259-1 261-1 273-1 275-1 278-1 (データ 提供) 企画展「~70年前のこと~ 住民が残した沖縄戦の証言記録①」展 示資料として使用 平成27年6月9日~7月5日	37	5/28
49	株式会社吉川弘文館 取締役 一寸木紀夫	沖縄戦米軍記録写真(3点) B-021 B-030 B-078 沖縄戦の絵(1点) w-38 平和の礎外観(2点)(データ提供) 書籍「アジア・太平洋戦争 辞典」平成27年10月	6	5/29
50	エスピージャパン株式会社 中元英機	資料館外観写真 第5展示室写真(データ提供) 書籍「子どもおでか けBOOK沖縄 2016年」掲載の為 平成27年8月中旬	2	5/29
51	豊見城市立とよみ小学校 校長 上原周子	平和学習キットCのデータ(データ提供) 総合的な学習にて使用の為 平成27年4月~6月	1	5/30

52	栃木県 下野新聞 早川茂樹	元沖縄県警察部長 荒井退造 万年筆(撮影) 下野新聞(論説)紙面掲載の為 6月23日 掲載取り止め	1	6/1
53	恩納村誌編集室 瀬戸隆博	沖縄県平和祈念資料館運営委員会作成「むすびのことば」(データ提供) 慰霊の日特別展「沖縄戦70年目の記憶へ語り継がれる恩納村(うんな)のイクサユー」にて使用 平成27年6月13日～6月28日	1	6/2
54	東京都 赤旗日曜版編集部 山本豊彦	「総合案内」よりP76～77、P34、P38、P39、P40(データ提供) 紙面日曜版6月14日号掲載	4	6/3
55	ライド株式会社 長谷川千代子	常設展示室(撮影)6/8 フジテレビ「私たちに戦争をおしえてください」放映 平成27年6月8日	1	6/3
56	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 西隆宏	常設展示室撮影6/14 ケーブルテレビ「MY FAVORITE PLACE」にて放映 平成27年8月16日	1	6/3
57	朝日学生新聞 編集部 猪野元健	沖縄戦米軍記録写真200 132 234 233(データ提供) 朝日小学生新聞 朝日中高生新聞掲載 平成27年6月	4	6/3
58	琉球放送株式会社 岸本春梨	「ヨミカタ」、「週間写真198号」、「キンダーブック」撮影 6/12 RBCザ・ニュース放映 平成27年6月16日	3	6/3
59	浦添市立浦添教育研究所 所長 仲西起實	沖縄県平和祈念資料館HPシェアリングプロジェクト紹介の承諾 浦添市立教育研究所図書室だより6月号へ紹介記事を掲載	1	6/4
60	株式会社広島ホームテレビ 清永敏裕	沖縄戦米軍記録写真 032 084 253 258 269(データ提供) 広島ホームテレビ「鯉のはなシアター」放映 平成27年6月24日	5	6/4
61	朝日新聞出版週刊朝日編集部	沖縄戦米軍記録写真 086 024 (データ提供)「週刊朝日 6月23日号」掲載 平成27年6月23日	2	6/5
62	宜野湾市立博物館 館長 宮城邦治	沖縄戦米軍記録写真 077 758 032 019 551 140 560 562 041 039 462 078 224 619 311 282 644 647 651 138 B-018(取得済みデータ使用) 沖縄戦・戦後70年企画展「沖縄戦から70年 戦場の宜野湾」にて使用 平成27年6月17日～平成27年7月5日	21	6/5
63	株式会社 国建 照屋勝秀	第5展示室(撮影) 6/12 青年エイサー会館管理運営計画資料作成 平成27年7月	1	6/8
64	毎日新聞社 教育と新聞推進本部長 小島 明日奈	平和講話(撮影) 常設展示室撮影 6/17 「毎日小学生新聞」掲載 平成27年6月23日	2	6/9
65	琉球放送株式会社 岸本春梨	講話及び常設展示室見学(真壁小学校)の様子を(撮影) 6/17 RBCザ・ニュース放送 平成27年6月23日	1	6/9
66	オキナワ・ハンズオン・エヌピーオー 理事長 安慶名達也	沖縄戦米軍記録写真 001 003 009 017 025 032 041 044 051 058 072 076 081 085 131 132 137 138 142 197 206 208 232 240 242 252 253 269 274 282 287 297(データ提供)「終戦70年記念企画戦没者めぐり方々かんかい果報守御申上さびら～希望ぬ北極星～」上演舞台効果映像として使用 平成27年6月19日	32	6/10
67	株式会社アドスタッフ 博報堂 代表取締役 城田一	沖縄平和祈念資料館外観写真 常設展示室写真(データ提供) 「しゅんおき!旬香」放送 平成27年6月	2	6/10
68	熊本日日新聞社熊本総局 富田ともみ	沖縄戦米軍記録写真 019 299 307 371 517(データ提供) 熊本日日新聞紙面掲載 平成27年6月23日	5	6/10
69	聖教新聞社 佐々木優一	常設展示室見学の様子(聖教新聞社関係者)を撮影 平成27年6月17日 聖教新聞 創価新聞掲載 6月下旬～7月上旬	1	6/11
70	NHK国際放送局 山本真依子	沖縄戦米軍記録写真 090 (データ提供) NHK WORLD Radio J apan.jpホームページへ掲載 平成27年6月	1	6/12
71	東京都 手塚よしこ	外観写真、常設展示室写真(データ提供)「戦争史跡探訪記」掲載の為 7月中旬	4	6/12
72	琉球新報社 安富智希	「平和を祈って」川田悠可「みるく世がやゆら」知念捷(取得済みデータ使用) 琉球新報紙面掲載の為 平成27年6月13日	2	6/12
73	読売新聞東京本社 神園真由美	沖縄戦米軍記録写真 022 031 058 069 090 132 268 269 295 296 読売KODOMO新聞掲載 平成27年6月18日	10	6/12
74	沖縄タイムス社 社会部 稲嶺幸弘	「児童・生徒の平和メッセージ展」最優秀賞作品 図画及び作文(取得済みデータ使用) 沖縄タイムス紙面掲載 平成27年6月13日	9	6/12
75	沖縄テレビ放送株式会社 伊藤章伸	沖縄インターナショナルスクールの平和学習(講話及び見学)取材(撮影)「みんなのニュース おきCORE」放送 平成27年6月30日	1	6/12
76	山陰ケーブルテレビジョン 代表取締役 進藤正英	沖縄戦米軍記録写真 2538(データ提供)「戦争の記憶 零戦にかけた青春の日々」放送 平成27年8月上旬以降	1	6/15
77	TBSラジオ 野口太陽	沖縄戦戦争体験証言集・沖縄平和アーカイブ(HPよりデータ転用)「萩上チキ Session-22」放送 平成27年6月23日	1	6/15
78	株式会社大月書店 西浩孝	武器軍装品類「はさみ」 工具生活用具類「眼鏡」(データ提供)「証言記録 市民たちの戦争③」掲載 平成27年7月	2	6/15
79	琉球新報社 編集局社会部 与那嶺明彦	「1945年頃の摩文仁の写真」(撮影)琉球新報紙面掲載 平成27年6月23日	1	6/16
80	金武町総務課 上原浩	沖縄戦米軍記録写真330(データ提供) 広報「金武」掲載 平成27年7月2日	1	6/17
81	TBSテレビ 佐古忠彦	投降ピラ3点 軍人勅諭 戦闘指針 臨時招集令状を撮影 6/27 「沖縄戦 千の証言」放送 8月1日	6	6/17
82	株式会社FMふじやま 鈴木里奈	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用) FMふじやま番組放送の為 平成27年6月23日	1	6/17

83	川崎市平和館 館長 長沼和栄	沖縄戦戦闘経緯図 慶良間沖繩本島上陸図 本島北部・伊江島の戦闘図 本島中部首里の戦闘図 本島南部の戦闘図 大東諸島の戦闘図 宮古八重山の戦闘図 沖縄戦米軍記録写真B-001B-003 B-004 B-008 B-011 B-013 B-020 B-021 B-024 B-026 B-027 B-029 B-30 B-034 B-035 B-036 B-038 B-046 B-050 B-051 B-060 B-071 B-074 B-075 B-078 B-081 B-082 B-084 B-085 B-086 B-087 D-014 D-015 E-003 E-005 E-006 E-012 E-016 E-017 E-018 「川崎市平和館原爆展」にて使用 平成27年8月	47	6/18
84	NHK沖縄放送局 岡本直史	沖縄戦の絵 141(データ提供)「沖縄県戦没者追悼式」中継放送 平成27年6月23日	1	6/18
85	読売新聞那覇支社 支局長 藤井慎也	沖縄戦米軍記録写真 021 022 019(データ提供) 読売新聞紙面掲載 平成27年6月20日及び8月15日	3	6/19
86	東京新聞 柏田健次郎	「みるく世がやゆら」知念捷(取得済みデータ使用) 東京新聞紙面掲載 平成27年6月23日	1	6/19
87	NHK報道局ニュースウオッチ9 山下健太郎	常設展示室撮影 平成27年6月20日 ニュースウオッチ放送 平成27年6月23日	1	6/19
88	琉球放送ラジオカンパニー カンパニー長 大野京子	詩「平和大行進」相良倫子 詩「うた」相良萌子 作文「平和を守る座標」仲宗根小春 作文「みんなが幸せになれる社会を目指して」仲間里咲(取得済みデータ使用) RBCラジオ「慰霊の日」特別企画にて放送 平成27年6月23日	4	6/19
89	奈良県生駒市役所 市長 小柴雅史	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用)「ピース・キャンドル・ナイト in いこま」朗読会にて使用	1	6/22
90	不二出版株式会社 舟橋治	「MIYAKO GUNTO Facts Book」「YAEYAMAGUNTO Facts Book」(撮影) 平成27年6月29日 DVD版復刻及び解説執筆 平成28年6月	2	6/22
91	TBSテレビ 鈴木誠司	70年頃頃の摩文仁の写真(データ提供) TBS「報道特集」放送 平成27年6月27日	1	6/22
92	東京都多摩市役所 市長 阿部裕行	「空はつながっている」増田健琉(取得済みデータ使用) 平和啓発事業「多摩市民平和展」にて使用 平成27年7月27日	1	6/23
93	山口市 田中豊	平和メッセ展示の様子(撮影) 平成27年6月23日 平和研究所	1	6/23
94	琉球新報 中里顕社	「ピースおおさか」からの返還資料撮影 平成27年6月29日 琉球新報紙面掲載 掲載日検討中(6月現在)	1	6/24
95	毎日新聞社 英文毎日室長 太田阿利佐	「みるく世がやゆら」知念捷(取得済みデータ使用) 毎日新聞社英文サイト掲載 平成27年6月25日	1	6/24
96	株式会社コールサック 代表取締役 鈴木比佐雄	「みるく世がやゆら」知念捷(取得済みデータ使用)「平和をとわに心に刻む三〇〇人詩集 十五年戦争終結から戦後七十年」掲載 平成27年7月	1	6/24
97	株式会社日本標準 代表取締役社長 山田雅彦	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用)「とっておき道徳授業13」掲載の為 平成27年7月	1	6/24
98	ピース八幡 八幡市 八万市非核平和都市推進協議会	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用) 平和を祈る折り鶴作成用折り紙へ転写して使用	1	6/26
99	株式会社 高知放送 林誉	沖縄戦米軍記録写真B-771 B-360 B-758 B-132 B-064 B-019 B-269 B-043 B-230 B-113 =247 B-270 B-226 B-078 B-138 B-098 B-516 B-268 B-271 E-303 E-234 E-287 E248 E-236 E-309 E-282(許可後、データ提供)「こうち eye」放送 平成27年30日	26	6/29
100	藤沢市朗読の会「海の家」 樋山 乃ぶ子	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用) 朗読会「へいわってすてきたね 戦後70年、この国はどこへ」にて使用の為	1	6/30
101	生涯学習音楽指導員研究会 新谷啓子	「へいわってすてきたね」安里有生(許可後、取得済みデータ使用) 第10回「みゆ〜じつくフェスティバル」にて朗読 平成27年11月14日	1	7/4
102	朝日新聞大阪本社社会部 広島敦史	常設展示室撮影(平成27年7月7日) 朝日新聞掲載 平成27年8月上旬	5	7/5
103	株式会社netzgen 下平芳弘	常設展示室撮影(平成27年7月7日) YahooHP掲載 平成27年7月7日	1	7/6
104	株式会社netzgen 下平芳弘	沖縄戦米軍記録写真126 143 144 152 232 551 553 557(データ提供) YahooHP掲載 平成27年7月7日	7	7/6
105	日本テレビ放送網株式会社 報道局映像取材部 吉田大輔	死亡届 生死不明者名簿(撮影)平成27年3月19日 日本テレビ放送網内テレビ番組及びWebにて放送の為 平成27年7月	2	7/6
106	クリエイティブネクサス 小林稔昌	陶器製手榴弾 槍先を撮影 平成27年7月12日 NHK「所さん 大変ですよ」(放送取り止)	2	7/6
107	社会福祉法人ぶどうの木 ログス点字資料館 館長 高橋秀治	「みるく世がやゆら」知念捷(許可後、取得済みデータ使用) 視覚障害利用者向新刊案内「ログスのほん箱」掲載 平成27年8月20日	1	7/8
108	株式会社ジェイトリップ 福田展也	常設展示室撮影(平成27年7月13日) 沖縄観光情報サイト「JTRIP SMART MAGAZINE」掲載 平成27年8月	5	7/8
109	東京都 山内サチ子	「みるく世がやゆら」知念捷(許可後、取得済みデータ使用) 自作出版物掲載 平成27年7月9日	1	7/9
110	与那原町 宮城政夫	「みるく世がやゆら」知念捷(許可後、取得済みデータ使用) 詩文浄書後、県内公共施設へ展示を依頼する予定	1	7/10
111	TBSテレビ 佐古忠彦	「作戦命令継り 球第二七七四部隊」証言者承諾済み証言映像(許可後、データ提供) TBSテレビ沖縄戦千の証言スペシャル放送 平成27年8月1日	2	7/10
112	青年劇場 福原美佳	「みるく世がやゆら」知念捷(許可後、取得済みデータ使用)「平和へのメッセージ」青年劇場にて上演にて使用 平成27年8月7・8日	1	7/11

113	株式会社朝日新聞出版 生活文化編集部 須田 剛	投降勧告ピラ(取得済み データ使用)「朝日ジュニアシリーズ週刊マンガ日本史」掲載	1	7/10
114	琉球放送 報道制作部 嘉陽順	鹿山文書撮影(平成27年7月15日) 儀間真栄寄贈写真2点(データ提供) RBC THE NEWS 放送 平成27年7月23日	3	7/11
115	吉岡しげ美コンサート実行委員会 金城まり子	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用) 楽曲をつくり、合唱曲として使用 平成27年8月2日	1	7/13
116	TVデレクター 原義和	第3展示室撮影(平成27年7月27日) RBC報道放送 平成27年9月2日	1	7/14
117	一般財団法人 太平洋放送協会 理事長 神津喜代子	沖縄戦米軍記録写真019 023 025 052 058 114 197 215 216 219 253 282 299 (データ提供) テレビ番組「ライブ・ライン」放送 平成27年8月	13	7/15
118	山形放送株式会社 佐伯敏光	「へいわってすてきたね」安里有生(許可後、取得済みデータ使用) 山形放送ラジオ「お話の国」放送 平成27年8月13日	1	7/15
119	株式会社宮崎放送 ラジオ局長 関知子	「へいわってすてきたね」安里有生(許可後、取得済みデータ使用) ラジオ番組「橋通り書店」放送 平成27年8月15日	1	7/17
120	株式会社新潟日報事業社 代表取締役社長 関本道章	沖縄戦米軍記録写真012(データ提供) 書籍「越後の雪だるま ヨネックス創業者 米山稔」掲載の為 平成27年8月31日	1	7/21
121	株式会社吉川弘文館 編集部長 堤 崇志	チビチリガマ写真(データ提供)「アジア太平洋戦争辞典」掲載 平成27年10月	2	7/21
122	有限会社ジグラット 岩本善政	沖縄戦米軍記録写真076(データ提供) NHKBSプレミア「英雄たちの選択」放送 平成27年8月13日、20日	1	7/21
123	読売中高生新聞 小林月照	沖縄戦米軍記録写真233(データ提供) 読売中高生新聞掲載 平成27年8月14日	1	7/22
124	株式会社宮崎放送ラジオ	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用) ラジオ番組「フレッシュAM! もぎたてラジオ」放送 平成27年8月12日	1	7/22
125	TVデレクター 原義和	牛島貞満氏による、収蔵品確認の様子を撮影 平成27年8月23日 週間報道LIFE放送 平成27年秋頃	1	7/23
126	株式会社フジテレビジョン 矢島翔太	沖縄戦米軍記録写真 019 038 058 246 269 253 298 300 302 303 311 564 771 B-033 B-048 (データ提供) フジテレビ「皇室のこころ2015夏」放送 平成27年8月15日	15	7/23
127	株式会社G-whiz 尾崎佐織	常設展示室撮影 平成27年7月27日 NHK「思い出のメロディー」放送 平成27年8月8日	1	7/24
128	東京都 牛島貞満	バグナー夫人と牛島満夫人写真(撮影)平成27年7月26日 家族写真(祖母)として収蔵する為	3	7/24
129	東海テレビ 報道部 伏原健之	常設展示室での撮影 平成27年7月29日 東海テレビ「戦後70年 樹木希林ドキュメンタリーの旅」平成27年7月29日	1	7/24
130	読売新聞東京本社 宇都宮支局 太田轟久	荒井退蔵警察部長万年筆(撮影)平成27年7月24日 読売新聞栃木版掲載 平成27年8月	1	7/24
131	朝日新聞西部本社福岡本部 田中久稔	沖縄戦米軍記録写真009(取得済みデータ使用) 朝日新聞全国版掲載 平成27年7月30日	1	7/27
132	有限会社ジグラット 岩本善政	沖縄戦米軍記録写真014(データ提供) NHKBSプレミア「英雄たちの選択」再放送 平成27年8月～9月	1	7/27
133	吉岡しげ美コンサート実行委員会 金城まり子	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用) 楽曲作成と朗読 平成27年8月3日	1	7/27
134	修養団 岡山愛汗会 助台榮一	沖縄戦戦闘経緯図 慶良間列島・沖縄本島上陸図 本島北部伊江島の戦闘図 本島中部首里の戦闘図 本島南部戦闘図 大東諸島の戦闘図 宮古八重山の戦闘図 沖縄戦米軍記録写真011 019 026 032 055 068 069 076 113 122 149 150 068 176 212 219 226 227 229 230 247 256 267 269 270 271 298 299 300(データ提供)写真展展示にて使用 平成27年8月6～9日	36	7/28
135	FBS福岡放送 伊崎健太郎	企画展「戦後70年戦地からのラブレター」(中継撮影) 平成27年8月3日 ニュース番組 めんたいプラス放送の為 平成27年8月3日	1	7/28
136	学校法人 神奈川大学 村井丈美	「みるく世がやゆら」知念捷(取得済みデータ使用)「神奈川大学評論 82号」掲載 平成27年11月	1	7/30
137	金武町教育委員会 教育長 比嘉貴一	沖縄戦米軍記録写真 112 154 050 115 313 B-030 B-073 B-074 B-075 B-026-1 B-064 B-025 B-029(データ提供)戦後70年記念事業 パネル展「やんばるの戦争展」にて展示の為 平成27年8月11日～8月	14	7/30
138	長崎放送 寄川淑子	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用) 長崎放送「戦後70年 平和の日ラジオ」放送の為 平成27年8月9日	1	7/30
139	日本教職員組合 中央執行委員長 加藤良輔	「みるく世がやゆら」知念捷、旧館運営協議会作成の詩(取得済みデータ使用)「母と女性教職員の全国集会」にて朗読 平成27年8月1～2日	2	7/30
140	沖縄県総務部人事課 東江暢子	図画「平和を祈って」川田悠可(取得済みデータ使用) 平成27年度版沖縄県職員録掲載 平成27年8月13日	1	7/30
141	株式会社G-whiz 尾崎佐織	1945年頃の摩文仁 轟壕 B-70 B-58 B-50 B-045 B-048 E-035-1 E-024 E-007(データ提供)NHKデジタル総合「思い出のメロディー」放送 平成27年8月8日	10	7/31
142	FBS福岡放送 伊崎健太郎	企画展「戦後70年戦地からのラブレター」(撮影) 平成27年8月4日 ニュース番組 めんたいプラス放送 平成27年8月	1	8/3
143	沖縄タイムス 稲嶺幸弘	「カンボウヌ クウェーヌクサーP13米兵の指示で死者を埋葬する住民P14金武町屋敷の日本兵捕虜収容所」(データ提供) 沖縄タイムス朝刊掲載 平成27年8月15日	2	8/3

144	静岡YWCA 鈴木律子	「へいわってすてきだね」安里有生(取得済みデータ使用) 静岡YWCAピースフェスティバルにて展示 平成27年8月6~9日	1	8/5
145	NHK 小川海緒	沖縄戦米軍記録写真529 621(データ提供) ETV特集「国家と戦死者、知られざる記録」放送 平成27年8月15日	2	8/6
146	ライド株式会社 江垂依	沖縄戦米軍記録写真0233(データ提供) フジテレビ番組「私たちに戦争を教えてください」放送 平成27年8月15日	1	8/7
147	有限会社グラジット 岩本善政	沖縄戦米軍記録写真137(データ提供) NHKBSプレミアム「英雄たちの選択」放送 平成27年8月13日、20日	1	8/7
148	特定非営利法人オキナワ・アンズオン・エヌピーオー理事長安慶名達也	沖縄戦米軍記録写真003 009 017 025 032 041 044 051 072 058 076 081 085 131 132 137 138 142 197 206 208 232 240 242 252 253 269 274 282 287 297(データ提供)しまくうばオペレッタ果報守シアター 第4回 しまくうば On Stage2015 にて使用 平成27年8月23日	32	8/10
149	岡山県教職員組合津山支部 藤原佳子	沖縄戦米軍記録写真042 072 090 255 269(データ提供) 2016平和カレンダー掲載 平成27年度末	5	8/18
150	沖縄市平和男女参画課 大石稚子	沖縄戦戦闘経緯図(データ提供) 沖縄市市民平和の日記念事業にて使用 平成27年9月7日	1	8/20
151	琉球新報社 上原康司	鹿山文書(撮影)平成27年8月25日 琉球新報紙面掲載 平成27年8月28日	1	8/21
152	株式会社朝日新聞出版 首藤由之	沖縄戦米軍記録写真270 371 234 239(データ提供) 「知る沖縄」掲載 平成27年9月18日	1	8/25
153	特定非営利法人オキナワ・アンズオン・エヌピーオー理事長安慶名達也	沖縄戦米軍記録写真003 009 017 025 032 041 044 051 072 058 076 081 085 131 132 137 138 142 197 206 208 232 240 242 252 253 269 274 282 287 297(データ提供)しまくうば創作郷土劇 希望ぬ北極星 in 北中城にて使用 平成27年9月6日	32	9/3
154	株式会社映像ヤマト 阿部美奈子	常設展示室(撮影)平成27年9月10日 番組(阿含宗内放送)「沖縄大紫燈護摩供」放送 平成27年11月下旬	1	9/5
155	読売新聞東京本社 平博之	沖縄戦米軍記録写真072 775 056 256 468 255 771(データ提供) 読売新聞掲載 平成27年9月20日	7	9/10
156	Dokkaエンタープライズ株式会社 三浦正行	沖縄県平和祈念資料館写真(外観 常設展示室等)(データ提供) Dokkaおでかけ探検隊(Web)沖縄版掲載 平成27年11月	10	9/10
157	琉球新報社 宮城隆尋	沖縄戦米軍記録写真132(データ提供) 琉球新報紙面掲載 平成27年9月19日	1	9/11
158	有限会社スタジオポストエイジ 赤澤正嗣	沖縄戦米軍記録写真132 205 236 252(データ提供) 「平和の祈り展2015」掲載 平成28年1月	4	9/14
159	9条の会 浜松 地域事務局 那須田俊夫	「へいわってすてきだね」安里有生(取得済みデータ使用) 「戦後70年浜松平和のつどい」にて使用 平成27年9月20日	1	9/14
160	ウチナー紀聞 名嘉真崇介	常設展示室(撮影)平成27年9月30日 RBCウチナー紀聞放送 平成27年10月18日	1	9/24
161	那覇市小祿 大城清長	沖縄戦米軍記録写真268 282 307 677 681 1117(データ提供) 宇津波誌掲載 平成27年9月15日	6	9/25
162	NHK沖縄放送局 細田総一郎	永山幸栄氏寄贈の三味線(撮影)平成27年9月28日 NHK沖縄「おきなわHOTeye」放送 平成27年9月30日	1	9/25
163	東京都 行政書士 水野哲也	常設展示室撮影 平成27年9月30日 平和に関する展示を行う行政期間へのアドバイスの為	4	9/30
164	琉球新報社 編集局社会部 玉城江梨子	沖縄戦米軍記録写真307(取得済みデータ使用)琉球新報紙面掲載 平成27年10月9日	1	10/1
165	宜野湾市立博物館 教育長 志良堂芳男	沖縄戦米軍記録写真B-030 B-073 B-074 E-026-1 E-064 E-025 E-029 112 114 115 154 050 313(データ提供) 戦後70年企画展「やんばるの戦争遺跡」にて使用 平成27年10月24日~11月29日	14	10/2
166	株式会社NHKエンタープライズ ライツ事業 エグゼクティブ・プロデューサー 佐藤美雪	沖縄戦米軍記録写真621 529(データ提供) 「NHKスペシャル 沖縄戦全記録」放送 平成27年6月14日	2	10/8
167	読売新聞東京本社 平博之	図録「日系二世が見た戦中・戦後」掲載の大城氏に関する資料2点(データ提供) 読売新聞紙面掲載 平成27年10月下旬	2	10/8
168	株式会社Nansei 代表取締役 砂川哲男	沖縄戦米軍記録映像111-LC-48910 127-MH-6197B 18-CS-9414 428-MH-18901/2 111-LC-48911 18-CS-9401 18-CS-9440 428-MH-18902/2 111-LC-48913 18-CS-9412 18-CS-9443 80-MN-6197A 111-LC-48919 18-CS-9413 342-FR-1317(データ提供) 古写真や映像を使ったイベントで公開し、地域の歴史文化を多世代間で学べる状況をつくり、地域文化の活性化を促したい為、複製映像を作成。トークイベント開催 平成27年10月26日~11月6日	15	10/9
169	ウチナー紀聞 名嘉真崇介	沖縄戦米軍記録写真 758 058 226 039 031 戦争の絵231-1 244-1 252 054-1 264-1 286-1熊本県に疎開した人々の写真 疎開児童体重状況 元日本兵の描いた疎開の様子(データ提供) RBC「ウチナー紀聞」放送の為 平成27年10月18日	14	10/9
170	中日新聞社事業局 出版部 部長 野嶋庸平	沖縄戦米軍記録写真058 113 E-004 (データ提供) 書籍「子どもたちよ」掲載 平成27年12月8日	3	10/13
171	浦添市立仲西小学校 玉城正也	米軍記録写真423 424 425 427 428 429 431 432 戦争の絵 7804 8090(データ提供) 浦添市教育委員会発行「わたしたちの浦添市」掲載の為 平成27年10月13日	10	10/13

172	福井県美浜町人権尊重啓発協議会 加藤睦教	「へいわってすてきたね」安里有生（取得済みデータ使用）人権啓発冊子「ふれあい」掲載 平成27年1月	1	10/23
173	沖縄広告株式会社代表取締役 山内聡	沖縄戦米軍記録写真 E-069（取得済みデータ使用）宜野湾市戦後70年平和祈念事業にて使用 平成27年11月22日	1	11/5
174	公益財団法人大阪YMCA 平和・環境部委員会 暮谷安紀子	「むすびのことば」(取得済みデータ使用) 冊子「戦後70年に寄せて20歳から94歳の声」掲載 平成27年11月	1	11/7
175	読売新聞東京本社 平博之	沖縄戦米軍記録写真247 353 607 609 966(データ提供) 東京読売新聞掲載 平成27年11月15日	5	11/11
176	株式会社文溪堂 編集部員 宮里満男	沖縄戦の絵7896 沖縄県平和祈念資料館外観写真(データ提供) 文溪堂社会科学資料集沖縄県版掲載 平成28年3月	5	11/12
177	琉球新報社 内間安希	沖縄戦米軍記録写真086 240 247(データ提供) 琉球新報紙面掲載 平成27年11月15日	3	11/12
178	沖縄県教育委員会 教育長諸見里明	沖縄県平和祈念資料館外観 平和の礎 第4展示室(データ提供) 「沖縄県史」掲載 平成29年3月	3	11/13
179	群馬県館林市秘書課長 青木伸	沖縄戦米軍記録写真 252 269(データ提供) 中学生による平和のための作文集掲載 平成27年12月5日	2	11/16
180	館林市秘書広報課長 青木伸行	沖縄戦米軍記録写真252 269(データ提供) 平成27年度中学生による平和のための作文集掲載 平成27年12月5日	2	11/16
181	筑前市立大刀洗平和記念館 館長 山本寛	沖縄戦米軍記録写真132 371 268 271 113 074(データ提供)企画展「戦後70年戦時資料展」での広報活動にて使用 平成27年11月～平成28年2月	6	11/17
182	読売新聞東京本社 平博之	沖縄戦米軍記録写真296 299 300 320 336 690 282 日画像(データ提供) 読売新聞紙面掲載 平成27年12月	8	11/18
183	豊見城市教育委員会生涯学習部文化課 文化課長 大城達宏	図録「戦後70年伝え残す記憶ウチナンチュが見た戦前・戦後時下の台湾フィリピン図録」掲載の基隆港倉庫写真(データ提供) 「豊見城市史移民編」掲載 平成27年3月	1	11/18
184	琉球新報社 大城周子	沖縄戦米軍記録写真351(データ提供) 琉球新報紙面掲載 平成27年12月	1	11/20
185	有限会社記録同人 取締役 照屋愛	臨時招集令状撮影 平成27年11月25日 法務省人権学習教材映画「戦争は絶対にせんこつたい！」掲載 平成28年1月	3	11/21
186	グループ・コロンブス有限会社 宇川育	沖縄戦米軍記録写真132 234(データ提供) 岩崎書店「調べる学習子ども年鑑2016」掲載 平成28年	2	11/27
187	中城村教育委員会 福地梨乃	臨時招集令状(データ提供) 護佐丸歴史資料館図書館内の中城歴史展示室に使用 平成27年	1	12/3
188	ひめゆり平和祈念資料館 館長 島袋淑子	沖縄戦米軍記録写真228 238 247(データ提供) 戦後70年記念特別展「ひめゆり学徒隊の引率教師たち」及び同展図録での使用 平成	3	12/3
189	沖縄県平和ネットワーク 下地輝明	鹿山隊画像資料(データ提供) 平和ガイド資料として使用 平成27年	2	12/4
190	那覇市立安謝小学校 與那嶺裕太	沖縄戦米軍記録写真056 454 458 466 018 032 256 296 303 311 常設展示室 外観写真 「むすびのことば」沖縄戦闘経緯図 展示室水筒 方言札(データ提供)学習発表会にて使用	28	12/5
191	東京都 萩京子	「みるく世がやゆら」知念捷（取得済みデータ使用）「ハヶ岳ミュージックセミナー川上村」等の音楽活動での演奏 平成27年8月	1	12/10
192	沖縄県立博物館美術館 園原謙	第4展示室撮影 平成27年12月14日 放送大学博物館学にて使用 平成28年	1	12/11
193	特定非営利法人オキナワ・アンズオン・エヌピーオー理事長安慶名達也	沖縄戦米軍記録写真003 009 017 025 032 041 044 051 072 058 076 081 085 131 132 137 138 142 197 206 208 232 240 242 252 253 269 274 282 287 297(取得済みデータ使用)しまくうば創作郷土劇 希望ぬ北極星in摩文仁にて使用 平成27年12月20日	32	12/12
194	東京都 安島太佳太	沖縄戦米軍記録写真011 018 021 022 051 052 085 090 113 126 130 135 136 142 146 156 164 165 166 200 201 206 208 227 228 230 232 270 271 295 296 297 300(データ提供) 平和学習講話での利用	33	12/21
195	毎日新聞社 夕刊編集部 部長 鯨岡秀紀	「へいわってすてきたね」安里有生(取得済みデータ使用) 毎日新聞紙面掲載 平成27年12月5日	1	12/18
196	BSN新潟放送 報道制作部 坂井悠紀	沖縄戦米軍記録写真001 002 093 256 269(データ提供) 番組「にいがた偉人伝」放送 平成28年1月23日	4	12/25
197	コーラス3びきのくま 伊東多嘉子	「平和な今」上原凜（取得済みデータ使用）「大阪のうたごえ」合唱発表会にて使用 平成27年9月	1	1/1
198	NHK放送文化研究所 中尾晃一郎	沖縄戦の絵184-5 204-1 191-1 094-1 110-1 128-2 165-1 159-1 148-2 216-1 136-1 207-1 207-2 041-1 041-2(データ提供) 「東京空襲体験画図画録集」への掲載 平成28年 3月	15	1/4
199	日本生活協同組合連合会 組合活動部 上田尚美	戦闘経緯図(データ提供) 第33回沖縄戦跡巡りしおり掲載 平成28年3月29日	1	1/5
200	国立歴史民俗博物館 米田雄一	沖縄戦実物資料(持ち主の名が刻まれた万年筆) (撮影)平成27年1月20日 「万年筆の生活誌 筆記の近代」展示図録への掲載 平成28年3月8日	2	1/5
201	読売テレビ放送 報道局 山川友基	常設展示室(撮影) 平成28年1月24日 報道番組「かんさい情報ネットten」放送 平成28年1月27日	1	1/19
202	琉球朝日放送 大矢英代	沖縄戦記(撮影) 平成28年2月2日 ドキュメンタリー番組(沖縄戦関連の特番)放送 平成28年2月2日	1	1/24

203	南城市文化課長 大城秀子	軍人遺族副業講習会 佐敷出身一中二中師範学校合格記念 軍事教練 佐敷村青年団普天間宮参拝 佐敷出身師範学校生 第3回女子勤労挺身隊 献穀田御田植式 米軍記録写真237 295 300 655(データ提供)「第3回南城市史文化展 資料集戦争」にて使用 平成28年3月13日	11	1/26
204	P.I.N.の会 大河内俊宏	沖繩戦米軍記録写真001 019 029 004 072 081 152 156 156 150 209 206 208 211 212 213 216 232 239 240 242 243 246 247 251 252 253 287 297(データ提供) P.I.N. EXHIBITION in OKINAWA vol. 2 LOVE & PEACEにて使用 平成28年3月8日(火)~3月13日(日)	29	1/27
205	那覇市 仲原政浩	「憲法のない島」展示室(撮影) 平成28年1月8日 県外親類への展示会紹介の為	1	1/8
206	琉球放送局 報道制作部 大矢英代	牛島司令官写真(データ提供) 沖繩戦関連番組放送 平成28年2月22日	1	2/1
207	一般財団法人平和協会 理事長米谷俊朗	平成27年度「児童生徒の平和メッセージ展」入賞作品 「つぎはわたしたちの番」「みんなが幸せになれる社会をめざして」「平和を守る座標」「おきなわからへいわをとどけたい」「平和行進」「うた」データ提供 こども平和文集第22号「平和・環境を考えよう」掲載 平成28年3月13日	6	2/3
208	沖繩6・23歌と踊りの実行委員会 小林正幸	「みるく世がやゆら」知念捷(取得済みデータ使用) 「平和いのり 沖繩慰霊の日 歌と踊りと朗読会2016」にて朗読 平成28年6月23日	1	2/10
209	光文堂コミュニケーションズ株式会社 代表取締役 外間政春	資料館外観写真 平和の礎写真 館内展示室写真 平和講話様子の写真(データ提供) 沖繩県委託「沖繩の概要」への掲載 平成28年3月中旬	4	2/15
210	浦添市教育委員会 教育長 池原寛安	沖繩戦米軍記録写真423 424 425 427 428 429 431 432 沖繩戦の絵 7804 8090 浦添市教育委員会発行「わたしたちの浦添」掲載 平成28年3月	10	2/15
211	中央大学 大塚脩平	鹿山文書(撮影) 平成28年2月21日 中央大学発行「中央評論」掲載 平成28年8月~11月	1	2/19
212	有限会社沖繩文化社 社長 徳元英隆	沖繩戦米軍記録写真140 085 226 307 551 613(データ提供) 「よくわかる琉球・沖繩」平成28年4月1日	6	2/24
213	一般社団法人 國吉大介	「平和への証言」より玉寄氏証言 新垣氏証言(取得済みデータ使用)沖繩県ホームページ掲載 平成28年3月	2	2/25
214	中央大学 大塚脩平	鹿山隊武装解除写真(データ提供) 中央大学発行「中央評論」掲載 平成28年8月~11月	2	2/26
215	鹿児島県教育庁社会教育課 社会教育主事 大城暁子	第3回人権ラフソングコンテスト「つながるいのち」下地なを美 歌詞(取得済みデータ使用) 中学校高等学校の家庭科使用する指導者向け補助資料掲載 平成28年3月15日	1	2/26
216	徳島県中学校人権教育研究会 会長 坂本和裕	沖繩戦米軍記録写真613(取得済みデータ使用) 2016年度版「わたしの願い」掲載 平成28年4月1日	1	3/2
217	名護市教育委員会文化課 課長 屋比久久	沖繩戦米軍記録写真112 115 314 316 319 326 520 522 523 524 530 534 656 663(データ提供)名護市史本編3「名護やんばるの沖繩戦」平成28年3月30日	15	3/2
218	名護市教育委員会文化課 課長 屋比久久	辺野古収容所写真(データ提供)名護市史本編3「名護やんばるの沖繩戦」平成28年3月30日	1	3/4
219	戦争と平和の資料館ピースあいち 岡村裕成	沖繩戦の絵 W-44 W-47(データ提供)「辺野古から沖繩・日本を考える」展にて使用	2	3/8
220	戦争と平和の資料館ピースあいち 岡村裕成	方言札写真(データ提供)「辺野古から沖繩・日本を考える」展にて使用	1	3/8
221	NHK沖繩放送局 松岡哲平	沖繩戦米軍記録映像一覧表(資料提供) NHKスペシャル資料収集にて使用	1	3/9
222	中城村役場 仲村誉里子	沖繩戦米軍記録写真 001 003 212 298 083 560 557 628(データ提供)「平和企画展」にて使用	8	3/17
223	かわうそ商会 小林ひろ子	沖繩戦米軍記録写真 269 271 NHKBSプレミアム「イッピン」沖繩の紅型にて使用 平成28年4月5日・11日	2	3/20
224	日本放送協会 漆間郁夫	戦闘経緯図(データ提供)「NHK戦争証言アーカイブス」6月特集にて使用 平成28年6月8日	1	3/24
225	株式会社富士通マーケティング 小島哲平	タブレット等設置箇所(撮影) リーフレット及びWebサイト掲載 平成28年度	10	3/28
226	本願寺出版社 編集長 矢鳴俊哉	沖繩戦米軍記録写真052 074 250 本願寺新報4月10日号及び本願寺HP掲載 平成28年4月	3	3/30
227	京都府八幡市人権啓発課 市民部次長 峰伸行	「へいわってすてきだね」安里有生(取得済みデータ使用) 人権情報誌ふれあいに掲載 平成28年4月	1	3/30
228	宜野湾市 加治実知子	沖繩戦米軍記録写真085(データ提供) 新潮社HP「考える人」掲載 平成28年4月	1	3/31
229	京都府八幡市人権啓発課 市民部次長 岸伸行	詩「へいわってすてきだね」安里有生(取得済みデータ使用) 人権情報誌掲載平成28年4月	1	3/31
230	琉球新報社 大城三太	沖繩戦米軍記録写真019 299 132(データ提供) 琉球新報紙面掲載 平成28年4月11日	3	3/31
231	本願寺出版社 編集長 矢鳴俊哉	沖繩戦米軍記録写真052 074 250(データ提供) 本願寺新報4月10日号 本願寺派HP掲載 平成28年4月	3	3/31
232	フリーカメラマン 井上琢朗	資料館外観(撮影)平成28年3月31日 株式会社光文堂納入のバーチャルサブライズニュートライオン導入例のDVD作成の為 平成28年3月29日	1	3/31
233	株式会社富士通マーケティング 小島哲平	常設展示室様子・タブレット機器(撮影)平成28年3月29日 リーフレット及びWebサイト掲載	1	3/31

外国関係の取材・撮影等一覧

平成28年1月31日現在

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	那覇市 いのうえちず	展望塔より平和の礎を撮影 全米PBSネットワーク「Family Ingredients OKINAWA EPIS ODE」 にて放映 平成27年4月24日 米国	1	4/17
2	新華社日本総局 劉秀玲	常設展示室(撮影)平成27年5月15日 ニュース素材として収 集 中国	1	5/15
3	株式会社リール	常設展示室(撮影)平成27年6月16日 アリランTV番組放送 平成27年11月 韓国	1	6/3
4	KBS Woo Dong Yoon	常設展示室(撮影)平成27年6月22日 戦後70年の番組作成 の為、素材収集 韓国	1	6/22
5	新京報社 陳 秋旭	常設展示室 戦争体験者(大城藤六)インタビュー(撮影)平成 27年8月12日 中国	2	7/31
6	熊本県 田上和徳	沖縄戦証言記録 大嶺直子 安里洋太郎(データ提供) 「Pacific War Relics Collection of Story Telling Artifacts」掲載 平成28年 米国	2	8/21
7	一般社団法人日本台湾平和基金 許 光輝	常設展示室 特別企画展自室撮影 平成27年10月30日 台湾の公視TV局報道番取材 平成27年11月20日 台湾	2	10/14
8	一般財団法人日本台湾平和基金 会 錦古里正一	常設展示室(撮影) 平成27年12月26日 台湾民視TV局番組放送 平成27年12月26日 台湾	1	12/22

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第25回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後70年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



① 応募総数 (4, 604点) 図画1, 878点 作文452点 詩 2, 274点

② 戦後70年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者
沖縄県立与勝高等学校3年 知念 捷くん 「みるく世がやゆら」

- ③ 県内5会場、海外1会場にて展示会の実施
- ・沖縄県平和祈念資料館 2階海と礎の回廊 期間: 6月23日 ~ 7月 9日
 - ・八重山平和祈念館 第2展示室 期間: 7月17日 ~ 7月26日
 - ・イオン名護ショッピングセンター 期間: 8月 1日 ~ 8月 9日
 - ・沖縄県庁 1階県民ホール 期間: 8月17日 ~ 8月21日
 - ・宮古島市役所1階ロビー 期間: 9月 2日 ~ 9月11日
 - ・ハワイ沖縄センター (ハワイ州ホノルル市) 期間: 平成28年2月3日 ~ 2月7日

④ 表彰式
[日時]平成27年 8月17日 午前11時 ~ 正午 沖縄県庁 1階県民ホール

⑤ 入賞作品数 (216点)

【特別支援学級・学校】 9点

図画: 最優秀1点 優秀1点 優良1点 佳作1点
作文: 最優秀0点 優秀0点 ※応募なし
詩 : 最優秀0点 優秀2点 優良1点 佳作2点

【小学校低学年】 24点

図画: 最優秀1点 優秀1点 優良2点 佳作8点
作文: 最優秀1点 優秀1点 優良2点 佳作4点
詩 : 最優秀1点 優秀1点 優良1点 佳作1点

【小学校高学年】 59点

図画：最優秀1点 優秀2点 優良8点 佳作18点
作文：最優秀1点、優秀1点 優良4点 佳作 4点
詩：最優秀1点 優秀2点 優良5点 佳作12点

【中学校】 71点

図画：最優秀1点 優秀2点 優良7点 佳作15点
作文：最優秀1点 優秀2点 優良6点 佳作10点
詩：最優秀1点 優秀2点 優良7点 佳作17点

【高等学校】 53点

図画：最優秀1点 優秀2点 優良3点 佳作 5点
作文：最優秀1点 優秀2点 優良6点 佳作10点
詩：最優秀1点 優秀1点 優良8点 佳作13点



平和祈念資料館オープニング



八重山平和祈念館オープニング



イオン名護店会場



県庁県民ホール表彰式 記念撮影



宮古島市役所会場の様子



ハワイ沖縄センター会場

(2) 親子ビデオ上映会

① 「子どもの日」ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧料無料に合わせて沖縄戦関連のビデオ上映を行い、親子で平和について考える機会とする。

[日時] 平成27年5月5日(火) 午後1時30分～午後4時

[上映ビデオ]

- 「100番目のサル」(20分)
- 「石の声 ～沖縄戦マラリア地獄の記憶～」(24分)
- 「煙突屋 ペロー」(23分)
- 「ちいちゃんのかげおくり」(17分)
- 「もうひとつの沖縄戦記」(31分)
- 「やーさん ひーさん しからーさん」【ダイジェスト版】(19分)

[参加者数] 延べ134名



② 慰霊の日沖縄戦関連ビデオ上映会

「慰霊の日」関連事業の一環として、観覧無料に合わせて沖縄戦・人権関係のビデオ上映を行い、平和や人権について考えると同時に、資料館への理解を深めてもらう機会とする。

[日時] 平成27年6月23日(火)

午後2時～午後5時00分

[上映作品]

- 「しまくとぅばで語る戦世」(60分)
- 「ドキュメント沖縄戦」(57分)
- 「そしてぼくらは生き残った」(61分)

[参加者数] 延べ395名



③ 夏休みアニメ上映会(平和祈念ホール)

アニメ作品等の鑑賞を通して、平和と人権について考える。

[日時及び上映作品]

8月8日(土) 午後2時～午後4時

- 「猫は生きている」(75分)
- 「やーさん ひーさん しからーさん
ダイジェスト版」(19分)

8月9日(日) 午後2時～午後4時

- 「石の声」(24分)
- 「カンカラ三線」(78分)

[参加者数] 二日間 延べ30名



(3) 夏休み子ども向け企画

① 夏休み自由研究相談室(情報ライブラリー)

【期間】平成27年7月18日(土)～8月31日(月) 午前10時～午後5時

【内容】自由研究の進め方や疑問点などについて、助言・説明する。

【相談者数】51名

② 夏休み子ども教室(情報ライブラリー)

【日時】平成27年7月25日（土）午後1時～4時

【内容】沖縄戦について学習し、自由研究ノートづくりなどを行う。

【参加者数】20名

③親子平和学習ツアー

前半は平和祈念公園内にある戦跡や慰霊碑などの見学と説明、後半は沖縄戦についての講話とそれに続くアニメ上映会につなげ、総合的な平和学習とした。今回は台風の影響で、南冥の塔、沖縄師範健児之塔巡りは中止としたが、ホールを活用しての2部構成にすることによって親子で平和の大切さについて新たな形で学ぶことができた。

【日時】平成27年8月8日（土）午前10時～午後12時30分

【参加者数】8名 ※当日までにキャンセルが2組11名

【コース】平和の礎 → 国立戦没者墓苑 → 黎明之塔 → 第32軍司令部壕
→ 館内（講話） → アニメ上映会

※参加者感想より

- ・台風の影響でキャンセルが出たとのこと。ガイドをされた方の説明はとてもわかりやすくもったいないと感じました。今、平和教育の大切さが叫ばれている中、座学だけではない体験型の学習の意義をあらためて感じました。本当にありがとうございました。（40代女性）
- ・きちんと知れて、また、友だちとそのことで話したいです。（小学生女子）
- ・親子で平和について考えるいいきっかけになりました。学習を通じて改めて命の尊さ、平和の大切さを学ぶことができました。来年も参加したいですありがとうございました。（40代女性）
- ・色々なところへまわれたから良かった。（中学生女子）



V 教育普及事業

1 教育普及行事

(4) 沖縄戦平和学習実践事例シェアリングプロジェクト

戦後70年の平成27年4月よりスタート。沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝えることを目的として、当館と連携して平和学習に取り組んでいる学校や関係団体の実践事例を毎月1回紹介していった。実践事例とあわせて関連する当館の教育普及事業についても紹介をおこなっている。また、実践事例で紹介した学校・関係団体同士の交流を図るとともに、平和学習に興味を持っている学校・関係団体とも実践内容の共有化を図っている。

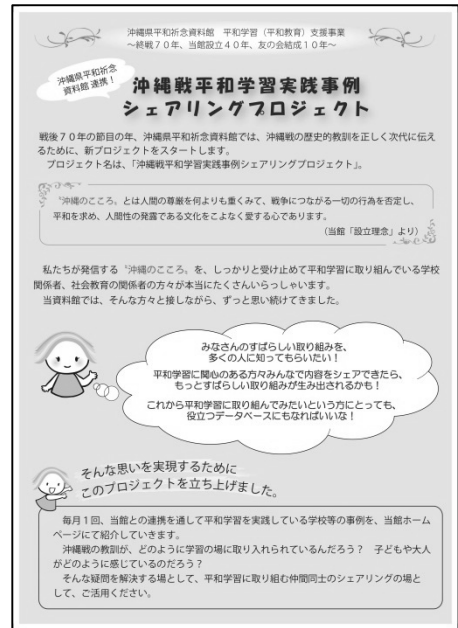
《紹介した学校や関係団体、主な実践内容》

1	嘉悦ケンブリッジ教育センター（在英国）	『平和の詩』9カ国語翻訳、朗読発表
2	オキナワ・インターナショナルスクール	平和講話、常設展示室見学等
3	南城市立久高中学校	戦争体験証言収集、平和メッセージはがき
4	糸満市立三和中学校	戦争遺跡調査、施設見学等
5	八重山平和祈念館	高校生平和ガイド養成及び実施
6	読谷村立喜名小学校	平和講話、施設見学、創作平和劇等
7	沖縄県立宮古特別支援学校	平和メッセージ図画作品、平和学習月間
8	大阪府 田尻町立中学校	沖縄県修学旅行（戦跡・基地巡り）、平和劇
9	沖縄県平和祈念資料館友の会	平和ガイド

☆☆☆ 平和学習の共有化・協働学習による新たな平和学習の創造 ☆☆☆

平成27年度・・・南城市立久高中学校生徒作品と当館企画展とのコラボ展示

平成28年度・・・大阪府田尻町立中学校と糸満市立三和中学校との平和交流学習（予定）



2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にもある沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与するというを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校に対する平和学習支援がある。

平和学習等で常設展示を見学に来る児童生徒に対して観覧前に学芸員が行うオリエンテーション的な平和講話を実施している。時間は50分程度で内容は沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや沖縄戦の経緯、常設展示の見所、平和のために何ができるか等を考えさせるものとなっています。

[平成27年度 平和講話実施状況] 総計132校(137回) [132名]

- ・小学校98校(9,657名) ・中学校21校(3,026名) ・高等学校7校(941名)
- ・特別支援学校2校(206名) ・教育委員会他4団体(107名)



祈念ホールの平和講話の様子

(2) 博物館学芸員実習

当館では、県内外の大学の要望に応じて、当館学芸員の指導で学芸員資格取得のための学芸業務(資料収集・保存活動、展示活動、教育普及活動)全般にわたる研修を実施し、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供した。

[期間] 平成27年8月11日(火)～8月18日(月) 日曜日を除く(7日間)

- [内容] ① 資料整理・分類・登録
② 展示準備・企画展への参加
③ 野外実習(近隣の戦跡、類似館の見学)
④ 調査研究
⑤ 教育普及(平和講話資料作成)

[実習生] 沖縄国際大学4名、長崎国際大学1名 計5名

パネル作成実習の様子



展示列品実習の様子



(3) 児童・生徒の職場体験（インターンシップ）

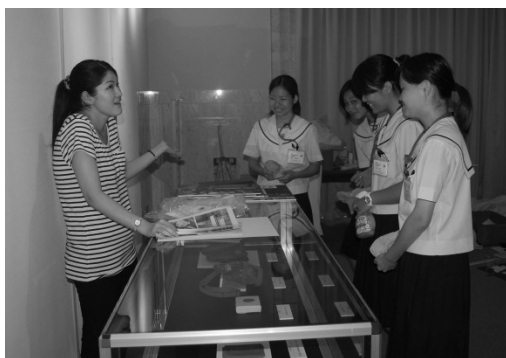
児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの児童・生徒を受け入れています。平成27年度は、県立高校6校から13名のインターンシップ生を受け入れました。

インターンシップ生を受け入れる事により、当館職員もサービスの向上に向けて再認識し資料館の活性化にもつながりました。

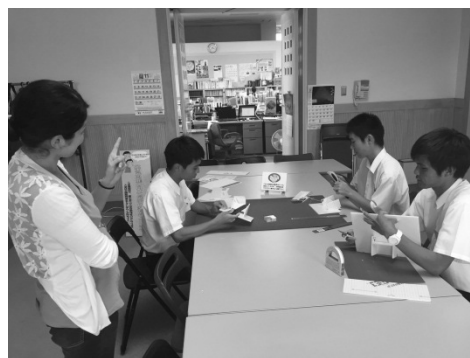
インターンシップを体験した生徒の皆さんそれぞれが、自分の個性を發揮し、将来地域に貢献できる人材になることを期待しています。

[学校名・人数・期間]

- | | | |
|----------------|------|------------------|
| ① 沖縄県立那覇商業高等学校 | (4名) | 7月 7日(火)～ 9日(木) |
| ② 沖縄県立豊見城南高等学校 | (2名) | 11月11日(水)～13日(金) |
| ③ 沖縄県立糸満高等学校 | (2名) | 11月11日(水)～13日(金) |
| ④ 沖縄県立小禄高等学校 | (2名) | 11月17日(火)～19日(木) |
| ⑤ 沖縄県立豊見城高等学校 | (2名) | 11月18日(水)～20日(金) |
| ⑥ 沖縄県立向陽高等学校 | (1名) | 12月16日(水)～18日(金) |



楽しい雰囲気の中作業に取り組む那商の生徒



厳しい指導に耐える豊南、糸満の生徒



黙々と仕事をこなす小禄の生徒



慎重にパネル作りをする豊見城の生徒

3 講座・講習会・研修会

(1) 沖縄戦講座

日時：平成 27 年 11 月 28 日（土）

午後 2 時～4 時 30 分

場所：沖縄県平和祈念資料館 2 階大会議室

講師：又吉 盛清 氏（沖縄大学客員教授）

演題：「東アジアの歴史と展望」

受講者：39 名

平成 27 年度特別企画展「ウチナーンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」（平成 27 年 10 月 9 日～12 月 10 日）の期間中に関連催事として沖縄戦講座を開催しました。

沖縄戦に関しては、被害者として語られることの多い沖縄県民ですが、又吉氏は「基本的に台湾植民地支配下を生きた琉球沖縄人は、加害者としての立場にあった」との認識を述べました。また、台湾の実地調査 215 回を数える豊富な研究実績の具体例を紹介して頂き、東アジアにおける侵略戦争と植民地支配の責任をしっかりと受け止めることが、今後の沖縄人・日本人が国際社会で生き残る道であると強調されていました。参加者からも活発な質疑を頂きました。



(2) 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施。

〈日 時〉平成 27 年 2 月 10 日（水）13:30～16:00

〈場 所〉沖縄県平和祈念資料館 大会議室

〈対 象〉タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・観光等関係者

〈講習内容〉平和祈念公園及び資料館施設説明・展示内容・沖縄戦の特徴等

〈受講者〉50 名



(3) 沖縄県博物館協会総会・春の研修会、秋の研修会

① 総会・春の研修会

期日：平成27年5月14日(木)、15日(金) 場所：沖縄県平和祈念資料館

今年度の総会・春の研修会は、当館を会場に2日間の日程でおこなわれた。総会では、古塚会長（那覇市立壺屋焼物博物館長）より近々の動向についても挨拶の中で触れられていた。

総会後の研修会では、講師として安齋育郎氏（立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長）を招聘して基調講演がおこなれた。

安齋氏からは「戦時中の生活の『重くるしさ』、『自由のなさ』といった無形の空気を伝えることは易しくない」と指摘があった。あわせて「証言に加えて、戦時



(基調講演 講師 安齋育郎氏)

下で書かれた手紙や本音を垣間見させる（小さな）記事のようなものを発掘することも大切」と示唆を与えていただいた。「手持ちの『物』、資料+『写真』、資料の展示と証言活動をうまく組み合わせつつ、映画上映会、学習会、理解しやすい解説冊子づくり、戦争体験者との対談・インタビューなど多彩な企画を組み合わせ、多角的に戦時の重くるしさや不自由さ（を再現すること）、その中で『人が悪魔になっていく過程』を伝えられたらよい」と博物館活動に対する自らの想いを語られた。



(古塚達郎会長 挨拶)

② 秋の研修会

期日：平成27年11月26日(木)、27日(金) 場所：奄美市立奄美博物館（鹿児島県）

奄美市博物館での開催は今回で5回目。同じ琉球弧に属しているという共通性が明らかにされながら、奄美視点で見た「中琉球」としての独自性についても知ることができた。

明治前期の本土～奄美～琉球（沖縄）に至る航路開設と郵便制度開始の背景に、琉球処分を含めた領土確定への布石（実行支配）という意味もあったということも歴史理解で大変有意義であった。原野農芸博物館の視察も、被災後の資料修復、リスクマネジメントの重要性を再認識させられた。



(講話での一コマ)

(4) 平成27年度沖縄県地域史協議会

- ① 期 間 平成27年10月29日(木)～10月30日(金)
② 業 務 沖縄県地域史協議会 2015年度 第2回研修会
③ 日 程 10月29日(木)～30(金)
29日(木) 13:30～17:00 受付～研修会(宮古島市立中央公民館)
30日(金) 10:00～10:30 ヌーザランミ特攻艇秘匿壕(構内見学)
10:45～11:00 南静園宿舍の弾痕
11:15～11:45 ピンフ嶺の野戦重火器砲壕(構内見学)
13:10～13:40 海軍131設営地下壕群(構内見学)
13:50～14:30 宮古島市総合博物館見学

④ 参加者 主査 宮里満男

⑤ 内 容

ア 基調講演「戦時下における二重の苦悩」

講師： 亀浜 玲子 (ハンセン病と人権市民ネットワーク) 「ハンセン病隔離政策と宮古南静園」

講師：上里 榮 (南静園退所者の会) 「戦時下の南静園 ～9歳で入所して～」

知念正勝 (ハンセン病と人権市民ネットワーク) 「島からの入所」

イ 報告Ⅰ

山口直美 (宮古島市教育委員会文化財振興課文化財係) 「宮古島戦争遺跡調査結果について」
「綾道戦争遺跡編」を発効予定とのこと。

報告Ⅱ

戸部和夫 (株式会社 ニチマイ) 「沖縄戦に関する米公文書について」

(5) 県立学校初任者向け講習会における講義

高等学校、特別支援学校、幼稚園において本年度新採用された教諭及び養護教諭として本年度採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講話を行った。内容は沖縄戦の概要、県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、施設・設備及び展示内容が主。講義内容について理解・認識を深めてもらい平和教育に役立ててもらうことをねらいとしている。



[日 時]①平成27年8月12日(水) 午前10時15分～午前11時45分

②平成27年11月19日(木) 午後13時00分～午後14時30分

[場 所]①沖縄県立総合教育センター 本館3階講堂

②沖縄県平和祈念資料館 1階祈念ホール

[受講者]① 特別支援学校初任者・幼稚園初任者・新規採用養護教諭 計123名

② 県立高等学校初任者69名

[講 義]○学校における平和学習・教育に望むもの

(6) 島尻地区小中学校教職員10年経験者研修会における講義

教諭、助教諭及び講師としての在職期間が10年に達した者に対して、個々の能力、適性等に応じて研修を実施し、教諭等としての資質の向上を図ることを目的とした「10年経験者研修」がある。今回、島尻地区の10年目を迎える先生方が当館で研修を行った。参観だけでなく、当館の利用の仕方について講話を行った。

[日時] 平成27年8月3日(月) 午前10時40～午後12時00分

[参加人数] 島尻管内市町村指導主事含め50名

(7) 島尻地区小中学校教職員初任者研修会における講義

糸満市内小中学校教職員初任者の幅広い知見と資質の向上を図るとともに、地域に根ざした学校教育の推進に努め、教師としての実践的指導力と使命感を養うために糸満青年の家で講話を行った。

[日時] 平成 27 年 7 月 27 日 (月) 午後 15 時 00 分～午後 16 時 00 分

[場所] 沖縄県立糸満青少年の家 大講堂

[受講者] 56 名

(8) 高等学校生徒指導連絡協議会・特別活動研修会における講義

戦後 70 年にあたり学校現場において平和教育にいかに関わりあうかが課題となっている。平和教育の在り方を学ぶ事で、望ましい人間関係の形成や自主的・実践的な態度の育成等の強化・充実を図るための取り組みを考える機会となった。

[日時] 平成 27 年 4 月 22 日 (水) 午後 13 時 10 分～午後 14 時 20 分

[場所] 沖縄県立総合教育センター 多目的棟講堂

[受講者] 210 名

(9) 第 17 回全県高等学校生徒代表者会議における講義

今年が戦後 70 年にあたることから、さらに平和を希求する「沖縄のこころ」を育むため「慰霊の日」前に学びの場を設けた。各学校代表生徒の平和に対する意識を高め、各校の取り組みの参考として活かせるよう平和講話を行った。

[日時] 平成 27 年 6 月 11 日 (木) 午前 10 時 10 分～午前 11 時 00 分

[場所] 沖縄県平和祈念資料館 1 階祈念ホール

[受講者] 生徒 107 名 生徒会担当教諭 60 名

(10) 沖縄県新規採用職員後期研修における講義

沖縄県の新規採用職員を対象に県職員としての教養や資質の向上のための、沖縄県自治研修所が主催する研修会。県直営の当資料館の存在意義を広く周知するために新採用職員を対象に沖縄戦の概要や資料館の働き等について理解してもらう講義を提供した。

[日時] 平成 27 年 10 月 6 日 (火) ・ 20 日 (火) 14 時 40 分～16 時 00 分

[場所] 沖縄県自治研修所

[受講者] 170 名

VI 広報活動・出版等

1 県外修学旅行誘致活動

沖縄修学旅行フェア2015 東京／大阪

[開催日時] 平成 27 年 12 月 1 日 大阪 ハービス HALL 13:00～18:00

平成 27 年 12 月 3 日 東京 大手町ファーストスクエアカンファレンス 13:00～18:00

[主催] 沖縄コンベンションビューロー

[後援] 日本修学旅行協会、全国修学旅行研究会

[目的及び内容] 沖縄修学旅行の魅力（学習効果）を広く発信し、受け入れ側を含めて相互の情報意見を交換する機会とする。

対応：宮里主査

出展社：66ブース



大阪会場

2 沖縄修学旅行フェア2015 県内フェア

[開催日時] 平成 27 年 8 月 4 日 沖縄コンベンションセンター 13:00～18:00

[主催] 沖縄コンベンションビューロー

[目的及び内容] 県内修学旅行受け入れ施設による、県外旅行会社むけ説明会を開催し、誘客プロモーション展開を図る。

対応：学芸主査 宮里満男 学芸員 鈴木友美

出展社・団体数 46ブース

3 刊行物

(1) 『沖縄県平和祈念資料館年報 第15号』

平成 26 年度の当館事業の実績報告に係わる行政資料。入館者の概要、事業内容や活動内容等。A4 版 86 頁、500 部を 5 月に刊行。

(2) 「沖縄県平和祈念資料館だより」

平成 27 年度の資料館事業報告や事業計画等について周知させる広報誌。今年度は 29 号を 8 月に、30 号を 3 月に A4 版 8 頁、各 2,500 部発行。

(3) 戦後 70 年伝え残す記憶『ウチナーンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン』

第 16 回特別企画展周知用ポスター、図録 A4 版 68 頁、1,000 部を 10 月に刊行。

(4) 「新収蔵品展-平成 25 年度・26 年度新収蔵資料」図録 A4 版 14 頁を 7 月に発行。

(5) 「第 25 回児童・生徒の平和メッセージ事業」募集ポスターとチラシを 7,000 部発行。

「第 25 回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書」

第 25 回児童・生徒の平和メッセージ展に係わる実績報告書。展示会の模様、募集要項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等が掲載される。A4 版 102 頁、1,000 部を 3 月に刊行。

VII その他の事業

1 「沖縄のこころ 平和発信強化事業」

【期間】平成27年7月29日～平成28年2月29日

【目的】沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちのこころ（沖縄のこころ=人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、文化を愛する心）を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するという沖縄県平和祈念資料館設立理念実現のため、平和発信力強化を図る。

【内容】

(1) 「タブレット端末による常設展示室展示内容の※多言語化」

※日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語の5言語

①沖縄県平和祈念資料館 常設展示室内容合計35ヵ所、各展示室の説明・画像が入力されたタブレット端末を設置する。また、展示室外に3ヵ所設置し、展示内容案内・その他の情報を発信する。

②設置箇所

第1展示室（5ヵ所）：

「沖縄戦への道」

第2展示室（3ヵ所）：

「鉄の暴風」

第3展示室（2ヵ所）：

「地獄の戦場」

第4展示室（17ヵ所）：

「住民の見た沖縄戦」（証言）

第5展示室（8ヵ所）

「太平洋の要石」

クイズコーナー、アンケートコーナー、展望室にそれぞれ1台ずつ（3ヵ所）



タブレット端末の設置イメージ

(2) 「音声ガイダンス機器のリニューアル」

①常設展示室用音声ガイダンス機器50台（39ヵ所分）を新たに導入

②音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語に翻訳し、（英語、中国語、韓国語、スペイン語は翻訳済み）日本語と合わせて計10言語で対応する。

③機器の盗難防止ゲートの設置



音声ガイダンス機器
イメージ



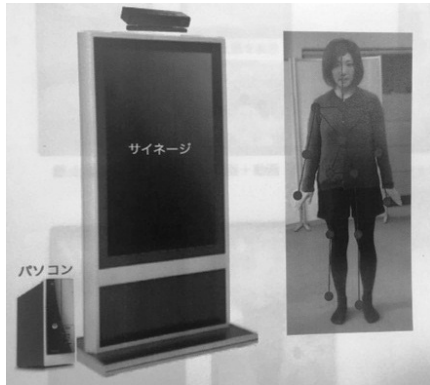
盗難防止ゲート
イメージ

(3) 「デジタルサイネージシステムの導入」

①メインエントランス（既存の掲示板は撤去）、正面入口、子ども・プロセス展示

室入口の合計3台を設置。

- ②沖縄県平和祈念資料館施設概要、企画展示、その他関連イベント案内の表示を5カ国語（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語）で行う。
- ③インターネット回線を利用し、年月日・曜日・天気・災害情報も表示。
- ④操作はタッチパネル式（メンテナンスの機器を除く）で、随時更新する。
- ⑤子ども・プロセス展示室入口右手に、主に児童・生徒対象の「バーチャル・サプライズシステム」機器を設置。



使用例：サイネージに付属のモーションキャプチャーで人物を認識し、世界の民族衣装を画面上で試着。

2 第4回「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」

2013年からハワイでの開催をスタートし、今年で4回目を数える「児童生徒の平和メッセージ展 in Hawaii」、今回は「日系米国人版戦争体験収録事業」の成果報告展を兼ねた形で実施した。展示した作品は優秀賞以上のもので、絵13点、作文10点、詩12点をそれぞれ英訳し、あるいは絵には英語のキャプションをつけて現地へ持ち込んだ。開催日初日から現地メディアが取材に訪れるなど、期待の高さを感じると同時に、ハワイ沖縄センターのスタッフやボランティアの方々の展示会成功に向けた協力態勢に頭の下がる思いだった。印象的だったのは、来場して頂いた現地日系、県系の方々の故郷への熱い思いで、子供たちの平和メッセージを一つ一つ丁寧に読んで下さったのはもちろんのこと、絵を鑑賞したあとにそのモチーフとなっている自然の景観や植物などに懐かしさを募らせ、故郷への思いを語るなど望郷の念の強さは驚くほどだった。

また、子供達の作品が平和へのメッセージだけではなく、沖縄そのものを運んで行ったのだという印象を強く受けた。ハワイ沖縄センターにおける観覧者の数は限定的であるが、沖縄や日本のことをいつも強く心の中に抱いている現地の方々のことを考えると、この事業を継続する意義がかなり大きいことは間違いない。また、ハワイ大学（カポレイ校）での開催に向けた具体的な話し合いを行い、ハワイ島のハワイ大学（ヒロ校）や大規模なイベントでの開催についても提案があるなど次年度実施に向けた収穫も大きかった。ハワイは、沖縄県のそして平和祈念資料館の平和発信事業を世界へ向けて広げていく拠点とも言うべき場所であり、「児童生徒のメッセージ展 in Hawaii」は大きな可能性をもつ事業だということができる。



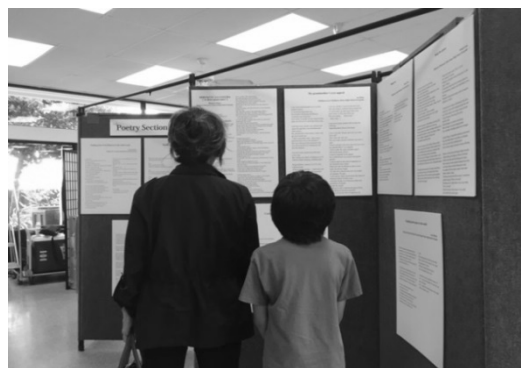
ハワイ沖縄センター



日系二世関連展示、映像資料観覧の様子



メッセージ展観覧の様子



詩や作文を熱心に読む来館者

3 日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展

[概要]

平成27年は、戦後70年目にあたる。そこで、日本平和博物館会議では、各加盟館の取り組み概要をまとめたパネルを作成。そのパネルを展示資料として、各加盟館を巡回し、展示を行った。

[展示期間 沖縄県平和祈念資料館]

平成27年9月1日(火)～9/30(水)

[加盟館]

- ・川崎市平和館
- ・立命館大学国際平和ミュージアム
- ・大阪国際平和センターピースおおさか
- ・広島平和記念資料館
- ・沖縄県平和祈念資料館
- ・神奈川県立地球市民かながわプラザ
- ・ひめゆり平和祈念資料館
- ・埼玉県平和資料館
- ・長崎原爆資料館



展示の様子



展示の様子

4 その他展示会等

No	開催期間	日数	使用場所	イベント	主催者
1	6月20日	1	大会議室	第9回 千羽鶴引き渡し式・千羽鶴仕分けプロジェクト	NPO千羽鶴未来プロジェクト
2	6月21日	1	祈念ホール	糸満市平和レクイエム朗読会	糸満市秘書広報課
3	6月23日	1	祈念ホール	慰霊の日「平和祈念読み聞かせ会」 ～大人から子どもたちへ今 伝えられるもの～	糸満市教育委員会 生涯学習課
4	8月15日	1	祈念ホール	戦後70年 特別漫画沖縄展オープンニングセレモニー	一般財団法人 日本漫画事務局八月十五日の会
5	11月15日	1	大会議室	ヤン・パニング写真展 オープニング・シンポジウム	ヤン・パニング写真展 沖縄実行委員会
6	12月13日	1	祈念ホール	シンポジウム「命どろ宝のマップイ（魂）を継承し、平和の礎を創設した沖縄の人々にノーベル平和賞を！」	「命どろ宝のマップイ（魂）を継承し、平和の礎を創設した沖縄の人々にノーベル平和賞を！」 実行委員会
7	12月20日	1	祈念ホール	しまくとぅば創作郷土劇「希望ぬ北極星 in 摩文仁」	沖縄ハンズオンNPO
8	12月23日	1	祈念ホール	第1回 糸満市親子平和イベント サンタの贈り物は「平和」です！	糸満市秘書広報課
9	3月12日	1	祈念ホール	LOVE & PEACE トークショー	P. I. Nの会

Ⅷ 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館日数	一日平均入館者数 ※1	入館者総数 ※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2015年4月	6,516 (265)	788 (15)	7,304 (280)	3,153 (368)	18,100 (4,047)	21,253 (4,415)	9,669 (633)	18,888 (4,062)	28,557 (4,695)	30	952	39,021
2015年5月	6,587 (280)	552 (91)	7,139 (371)	3,926 (475)	30,045 (5,420)	33,971 (5,895)	10,513 (755)	30,597 (5,511)	41,110 (6,266)	31	1,326	50,891
2015年6月	8,576 (2,439)	2,658 (1,989)	11,234 (4,428)	3,768 (390)	25,802 (5,242)	29,570 (5,632)	12,344 (2,829)	28,460 (7,231)	40,804 (10,060)	30	1,360	59,984
2015年7月	7,415 (214)	1,589 (29)	9,004 (243)	1,106 (117)	4,698 (2,218)	5,804 (2,335)	8,521 (331)	6,287 (2,247)	14,808 (2,578)	30	494	24,681
2015年8月	10,841 (427)	3,825 (43)	14,666 (470)	1,164 (141)	1,150 (21)	2,314 (162)	12,005 (568)	4,975 (64)	16,980 (632)	30	566	31,104
2015年9月	7,431 (166)	863 (40)	8,294 (206)	1,170 (120)	8,681 (682)	9,851 (802)	8,601 (286)	9,544 (722)	18,145 (1008)	30	605	26,835
2015年10月	6,130 (261)	532 (83)	6,662 (344)	3,669 (172)	37,621 (1,197)	41,290 (1,369)	9,799 (433)	38,153 (1,280)	47,952 (1,713)	31	1,547	55,317
2015年11月	6,589 (244)	519 (38)	7,108 (282)	4,516 (110)	45,204 (1,108)	49,720 (1,218)	11,105 (354)	45,723 (1,146)	56,828 (1,500)	30	1,894	65,436
2015年12月	5,258 (360)	593 (74)	5,851 (434)	3,137 (238)	33,955 (1,455)	37,092 (1,693)	8,395 (598)	34,548 (1,529)	42,943 (2,127)	28	1,534	50,162
2016年1月	5,419 (219)	626 (29)	6,045 (248)	1,881 (100)	11,810 (529)	13,691 (629)	7,300 (319)	12,436 (558)	19,736 (877)	28	705	28,436
2016年2月	6,225 (225)	711 (43)	6,936 (268)	2,043 (89)	13,296 (191)	15,339 (280)	8,268 (314)	14,007 (234)	22,275 (548)	29	768	30,570
2016年3月	7,017 (231)	1,708 (9)	8,725 (240)	2,239 (3)	10,266 (40)	12,505 (43)	9,256 (234)	11,974 (49)	21,230 (283)	31	685	31,247
合計	84,004 (5,331)	14,964 (2,483)	98,968 (7,814)	31,772 (2,323)	240,628 (22,150)	272,400 (24,473)	115,776 (7,654)	255,592 (24,633)	371,368 (32,287)	358	1,037	493,684

() は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧											平均			
	観覧券種別						出身別				計		観覧者 総数	開館 日数	
	大人個人 (%)		大人団体 (%)		小人個人 (%)		小人団体 (%)		県内	県外					外国
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)									
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552			
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074			
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206			
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284			
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263			
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325			
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253			
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228			
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207			
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135			
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116			
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103			
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044			
2013年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046			
2014年度	70,529 (21)	27,000 (8)	10,276 (3)	223,917 (68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026			
2015年度	78,673 (23)	29,449 (9)	12,481 (4)	218,478 (64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037			
累計								5,845,372	562,159	6,407,531	5,447	1,176			

参考
慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数	年度	入館者数
2000年度	4,966	2008年度	4,257
2001年度	3,157	2009年度	4,649
2002年度	4,750	2010年度	5,479
2003年度	4,259	2011年度	3,665
2004年度	4,849	2012年度	3,240
2005年度	3,815	2013年度	3,797
2006年度	2,813	2014年度	3,239
2007年度	3,785	2015年度	4,007
		合計	64,727

3 月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況

月	児童・生徒・学生												少年の船・青年の船等		合計			
	県内						県外						県内・県外総計					
	小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校		高等学校	大学	計
4月	24 (24)	5 (5)	2 (1)	0 (0)	31 (30)		0 (0)	96 (1)	19 (2)	0 (0)	115 (3)		24 (24)	101 (6)	21 (3)	0 (0)	146 (33)	9 (6)
人数	2,396 (2,396)	969 (969)	353 (319)	0 (0)	3,718 (3,684)		0 (0)	11,323 (4)	2,495 (46)	0 (0)	13,818 (50)		2,396 (2,396)	12,292 (973)	2,848 (365)	0 (0)	17,536 (3,734)	564 (313)
5月	36 (36)	7 (7)	4 (4)	0 (0)	47 (47)		3 (0)	167 (1)	27 (1)	0 (0)	197 (2)		39 (36)	174 (8)	31 (5)	0 (0)	244 (49)	15 (11)
人数	3,269 (3,269)	1,624 (1,624)	129 (129)	0 (0)	5,022 (5,022)		106 (0)	19,789 (1)	4,629 (11)	0 (0)	24,524 (12)		3,375 (3,269)	21,413 (1,625)	4,758 (140)	0 (0)	29,546 (5,034)	499 (386)
6月	39 (38)	10 (10)	7 (7)	2 (0)	58 (55)		9 (0)	68 (0)	53 (0)	1 (0)	131 (0)		48 (38)	78 (10)	60 (7)	3 (0)	189 (55)	17 (5)
人数	2,819 (2,802)	1,568 (1,568)	744 (744)	80 (0)	5,211 (5,114)		591 (0)	9,900 (0)	9,547 (0)	65 (0)	20,103 (0)		3,410 (2,802)	11,468 (1,568)	10,291 (744)	145 (0)	25,314 (5,114)	488 (128)
7月	9 (8)	3 (3)	5 (4)	1 (0)	18 (15)		2 (0)	2 (0)	13 (0)	0 (0)	17 (0)		11 (8)	5 (3)	18 (4)	1 (0)	35 (15)	13 (1)
人数	780 (764)	552 (552)	900 (880)	22 (0)	2,254 (2,196)		85 (0)	72 (0)	1,854 (0)	0 (0)	2,011 (0)		865 (764)	624 (552)	2,754 (880)	22 (0)	4,265 (2,196)	433 (22)
8月	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (1)		1 (0)	2 (0)	4 (0)	1 (0)	8 (0)		2 (0)	2 (0)	5 (1)	1 (0)	10 (1)	18 (0)
人数	41 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	57 (16)		23 (0)	43 (0)	223 (0)	20 (0)	309 (0)		64 (0)	43 (0)	239 (16)	20 (0)	366 (16)	784 (5)
9月	4 (4)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	7 (6)		0 (0)	3 (0)	42 (0)	4 (0)	49 (0)		4 (4)	3 (0)	44 (2)	5 (0)	56 (6)	2 (1)
人数	357 (357)	0 (0)	270 (270)	26 (0)	653 (627)		209 (0)	209 (0)	7,616 (0)	84 (0)	7,909 (0)		357 (357)	209 (0)	7,886 (270)	110 (0)	8,562 (627)	119 (55)
10月	20 (20)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	21 (21)		2 (0)	10 (0)	183 (1)	1 (0)	196 (0)		22 (20)	11 (1)	183 (1)	1 (0)	217 (22)	6 (3)
人数	1,080 (1,080)	21 (21)	0 (0)	0 (0)	1,101 (1,101)		115 (0)	960 (0)	35,255 (45)	41 (0)	36,371 (45)		1,195 (1,080)	981 (21)	35,255 (45)	41 (0)	37,472 (1,146)	149 (51)
11月	17 (17)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	19 (19)		0 (0)	12 (0)	222 (0)	0 (0)	234 (0)		17 (17)	14 (2)	222 (0)	0 (0)	253 (19)	5 (1)
人数	873 (873)	203 (203)	0 (0)	0 (0)	1,076 (1,076)		0 (0)	1,618 (0)	42,337 (0)	0 (0)	43,955 (0)		873 (873)	1,821 (203)	42,337 (0)	0 (0)	45,031 (1,076)	173 (32)
12月	11 (11)	2 (2)	2 (2)	1 (0)	16 (15)		0 (0)	34 (0)	172 (0)	1 (0)	207 (0)		11 (11)	36 (2)	174 (2)	2 (0)	223 (15)	12 (8)
人数	569 (569)	413 (413)	256 (256)	21 (0)	1,259 (1,238)		3 (0)	2,952 (0)	29,271 (0)	18 (0)	32,244 (0)		572 (569)	3,365 (413)	29,527 (256)	39 (0)	33,503 (1,238)	380 (217)
1月	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)		0 (0)	5 (0)	54 (3)	1 (0)	60 (3)		5 (5)	5 (0)	54 (3)	1 (0)	65 (8)	8 (3)
人数	263 (263)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	263 (263)		0 (0)	833 (0)	10,416 (181)	18 (0)	11,267 (181)		263 (263)	833 (0)	10,416 (181)	18 (0)	11,530 (444)	280 (85)
2月	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)		5 (0)	11 (0)	58 (1)	3 (0)	77 (1)		6 (0)	11 (0)	58 (1)	4 (0)	79 (1)	8 (5)
人数	43 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (0)	71 (0)		339 (0)	1,279 (0)	11,083 (23)	197 (0)	12,898 (23)		382 (0)	1,279 (0)	11,083 (23)	225 (0)	12,969 (23)	327 (168)
3月	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)		0 (0)	7 (0)	60 (0)	1 (0)	68 (0)		0 (0)	0 (0)	61 (1)	2 (0)	70 (1)	15 (0)
人数	0 (0)	0 (0)	40 (40)	23 (0)	63 (40)		0 (0)	849 (0)	8,905 (0)	19 (0)	9,773 (0)		0 (0)	849 (0)	8,945 (40)	42 (0)	9,836 (40)	430 (0)
人数	167 (163)	30 (30)	24 (22)	7 (0)	228 (215)		22 (0)	417 (2)	907 (8)	13 (0)	1,359 (10)		189 (163)	447 (32)	931 (30)	20 (0)	1,587 (225)	128 (44)
合計	12,490 (12,373)	5,350 (5,350)	2,708 (2,654)	200 (0)	20,748 (20,377)		1,262 (0)	49,827 (5)	163,631 (306)	462 (0)	215,182 (311)		13,752 (12,373)	55,177 (5,355)	166,339 (2,960)	662 (0)	235,930 (20,688)	4,626 (1,462)

() は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 那覇市	31	2,924	8	1,545	8	469	2	45	49	4,983	29	1,553	78	6,536
2 うるま市	8	706	2	340	3	301	0	0	13	1,347	5	381	18	1,728
3 宜野湾市	2	215	0	0	1	16	1	28	4	259	4	244	8	503
4 宮古島市	12	475	0	0	0	0	0	0	12	475	0	52	12	527
5 石垣市	10	478	0	0	0	0	0	0	10	478	0	44	10	522
6 浦添市	10	1,263	4	1,022	1	27	0	0	15	2,312	14	948	29	3,260
7 名護市	7	562	2	52	0	0	1	22	10	636	3	182	13	818
8 糸満市	8	581	3	414	2	568	0	0	13	1,563	5	238	18	1,801
9 沖縄市	14	1,314	2	468	4	834	1	26	21	2,642	13	533	34	3,175
10 豊見城市	8	758	1	256	0	0	0	0	9	1,014	5	196	14	1,210
11 南城市	8	428	1	134	0	0	0	0	9	562	1	80	10	642
12 国頭村	2	38	0	0	0	0	0	0	2	38	0	7	2	45
13 大宜味村	2	16	0	0	0	0	0	0	2	16	0	6	2	22
14 東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 今帰仁村	2	74	0	0	0	0	0	0	2	74	0	8	2	82
16 本部町	2	104	0	0	0	0	0	0	2	104	1	40	3	144
17 恩納村	3	64	0	0	0	0	0	0	3	64	1	84	4	148
18 宜野座村	2	48	1	68	0	0	0	0	3	116	0	14	3	130
19 金武町	2	105	0	0	0	0	0	0	2	105	3	109	5	214
20 伊江村	1	27	0	0	0	0	0	0	1	27	0	3	1	30
21 読谷村	3	308	1	250	1	319	0	0	5	877	1	84	6	961
22 嘉手納町	2	140	0	0	1	34	0	0	3	174	39	1,172	42	1,346
23 北谷町	2	167	0	0	0	0	0	0	2	167	2	59	4	226
24 北中城村	2	186	1	167	1	12	0	0	4	365	0	32	4	397
25 中城村	2	112	0	0	0	0	1	58	3	170	1	41	4	211
26 西原町	7	499	2	363	0	0	0	0	9	862	3	198	12	1,060
27 八重瀬町	3	303	1	250	1	99	0	0	5	652	1	179	6	831
28 与那原町	2	203	0	0	0	0	1	21	3	224	0	14	3	238
29 南風原町	3	289	0	0	1	29	0	0	4	318	3	131	7	449
30 久米島町	3	67	0	0	0	0	0	0	3	67	0	13	3	80
31 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 栗国村	0	0	1	21	0	0	0	0	1	21	0	6	1	27
34 渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 南大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 伊平屋村	1	13	0	0	0	0	0	0	1	13	1	5	2	18
38 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 多良間村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40 竹富町	3	23	0	0	0	0	0	0	3	23	0	9	3	32
41 与那国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	167	12,490	30	5,350	24	2,708	7	200	228	20,748	135	6,665	363	27,413

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	1	59	1	56	19	2,509	1	41	22	2,665	11	524	33	3,189
2 青森県	0	0	0	0	5	423	0	0	5	423	3	90	8	513
3 岩手県	0	0	2	151	8	573	0	0	10	724	2	115	12	839
4 宮城県	0	0	0	0	10	967	0	0	10	967	7	324	17	1,291
5 秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	61	2	61
6 山形県	0	0	7	829	3	194	0	0	10	1,023	1	86	11	1,109
7 福島県	0	0	0	0	16	1,984	0	0	16	1,984	7	408	23	2,392
8 茨城県	0	0	1	36	47	7,584	1	18	49	7,638	8	755	57	8,393
9 栃木県	1	24	0	0	37	7,087	0	0	38	7,111	4	598	42	7,709
10 群馬県	0	0	0	0	22	3,174	0	0	22	3,174	6	361	28	3,535
11 埼玉県	0	0	0	0	94	22,318	0	0	94	22,318	17	1,907	111	24,225
12 千葉県	0	3	0	0	42	9,672	2	83	44	9,758	9	767	53	10,525
13 東京都	2	133	12	1,547	199	37,752	4	75	217	39,507	71	5,212	288	44,719
14 神奈川県	2	40	5	817	83	17,076	0	0	90	17,933	12	1,272	102	19,205
15 新潟県	0	0	2	174	7	972	0	0	9	1,146	4	191	13	1,337
16 富山県	0	0	1	158	1	277	0	0	2	435	2	95	4	530
17 石川県	0	0	1	31	2	273	0	0	3	304	0	16	3	320
18 福井県	0	0	0	0	2	579	0	0	2	579	1	79	3	658
19 山梨県	0	0	0	0	21	2,703	0	0	21	2,703	3	276	24	2,979
20 長野県	0	0	0	0	38	6,107	0	0	38	6,107	6	533	44	6,640
21 岐阜県	0	0	2	352	39	7,672	0	0	41	8,024	5	623	46	8,647
22 静岡県	1	49	2	189	53	8,765	0	0	56	9,003	12	856	68	9,859
23 愛知県	0	0	8	1,703	61	10,934	1	25	70	12,662	19	1,483	89	14,145
24 三重県	0	0	9	1,089	10	2,090	0	0	19	3,179	1	252	20	3,431
25 滋賀県	0	0	23	2,905	3	428	0	0	26	3,333	2	297	28	3,630
26 京都府	2	63	28	4,371	13	2,216	0	0	43	6,650	4	682	47	7,332
27 大阪府	3	411	76	10,861	16	2,391	1	20	96	13,683	23	1,798	119	15,481
28 兵庫県	1	38	42	5,649	13	2,420	0	0	56	8,107	7	766	63	8,873
29 奈良県	0	0	26	3,129	3	200	0	0	29	3,329	1	262	30	3,591
30 和歌山県	0	0	6	285	1	347	0	0	7	632	5	232	12	864
31 鳥取県	0	0	9	808	0	0	0	0	9	808	3	158	12	966
32 島根県	0	0	1	134	0	0	0	0	1	134	0	10	1	144
33 岡山県	0	0	56	5,375	3	101	0	0	59	5,476	6	707	65	6,183
34 広島県	1	75	8	537	9	1,328	0	0	18	1,940	11	606	29	2,546
35 山口県	0	0	1	170	3	281	0	0	4	451	3	131	7	582
36 徳島県	0	0	3	496	0	0	0	0	3	496	2	80	5	576
37 香川県	0	0	14	2,374	2	246	0	0	16	2,620	1	214	17	2,834
38 愛媛県	0	0	0	0	8	541	0	0	8	541	4	156	12	697
39 高知県	0	0	19	1,420	0	0	0	0	19	1,420	1	162	20	1,582
40 福岡県	1	79	11	1,173	8	1,048	1	20	21	2,320	26	2,061	47	4,381
41 佐賀県	0	0	4	164	0	0	0	0	4	164	1	56	5	220
42 長崎県	0	0	3	217	1	49	2	180	6	446	2	107	8	553
43 熊本県	0	0	23	1,969	1	124	0	0	24	2,093	2	231	26	2,324
44 大分県	0	0	2	127	2	51	0	0	4	178	7	256	11	434
45 宮崎県	0	0	7	455	1	72	0	0	8	527	9	349	17	876
46 鹿児島県	7	288	2	76	0	0	0	0	9	364	5	252	14	616
合計	22	1,262	417	49,827	906	163,528	13	462	1,358	215,079	338	26,457	1,696	241,536
47 沖縄県	167	12,490	30	5,350	24	2,708	7	200	228	20,748	135	6,665	363	27,413

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

IX 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成をめざす。

(1) 設立経過

1989（平成元）年

- 5月28日 戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者支援会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
- 10月16日 沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」を決議される。

1995（平成7）年

- 12月25日 平成8年度国庫予算において、事務次官折衝の中でマラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。
慰藉事業の内訳は、次のとおりである。

- ① 慰霊碑建立
- ② 八重山平和祈念館建設
- ③ マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂『悲しみをのり越えて』発行等
- ④ マラリア死没者慰藉のための追悼式

1997（平成9）年

- 3月31日 八重山平和祈念館竣工

1998（平成10）年

- 1月～ 八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月まで）
- 5月 八重山平和祈念館基本計画策定
- 11月～ 八重山平和祈念館監修委員会開催（平成11年2月まで）
八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注
（平成11年3月まで）

1999（平成11）年

- 3月 「沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」議決・公布
「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。
- 5月28日 八重山平和祈念館開館式
- 5月29日 八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 総面積 : 520 m²
- ② 各室面積
 - 第1展示室 : 130 m²
 - 第2展示室 : 120 m²
 - 保管室 : 20 m²
 - 図書室 : 30 m²
 - 会議室 : 45 m²
 - 事務室 : 30 m²

(3) 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

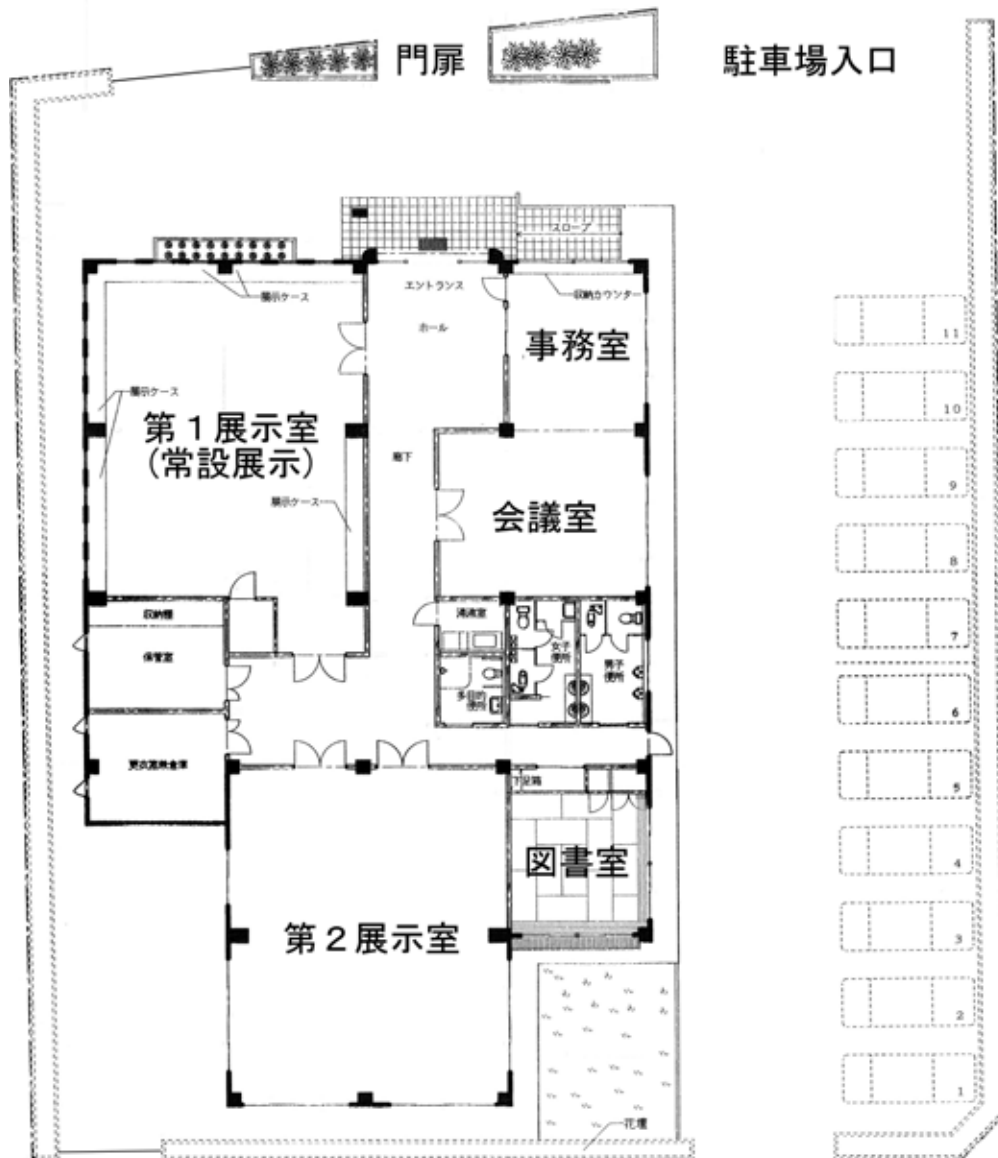
(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館）及び12月29日から1月3日まで

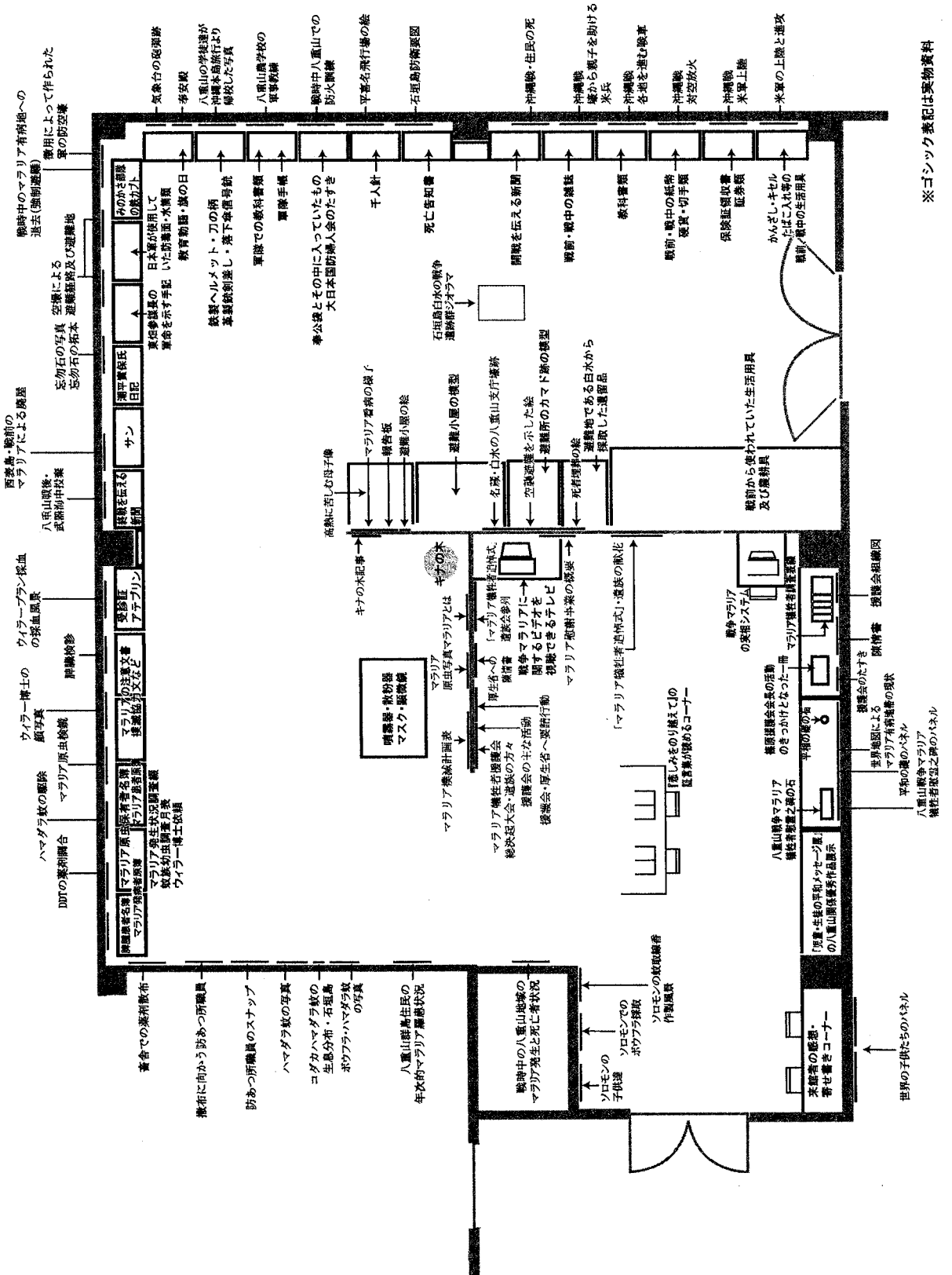
- (5) 観覧料
 大人 100円 団体 70円 ※団体は20名以上
 子ども 50円 団体 35円

- (6) 展示構成
 ① アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
 ② 沖縄戦と八重山
 ③ 戦争マラリアの悲劇
 ④ マラリア根絶に向かって
 ⑤ 戦争マラリア援護会の活動
 ⑥ 八重山地域における平和発信拠点を目指して

- (7) 展示物の内容
 ① 写真、地図、絵のパネル等
 ② 戦前の切手、紙幣、硬貨等
 ③ 遺品類 (ハガキ、キセル等)
 ④ 高熱に苦しむ母子像 (マラリア患者の看病の様子)
 ⑤ 児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品 (詩、図画、作文)



2 施設



※ゴシック表記は実物資料

3 事業概要

(1) 展示活動

① 「八重山の戦争マラリア」展

戦後 70 年の節目を迎え、改めて、戦前から戦中、戦後にかけてのマラリアに関する問題を取り上げ紹介した。

[期間] 平成 27 年 5 月 30 日(土)～6 月 28 日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第 2 展示室

[展示内容] 第 1 部 戦争マラリア
第 2 部 マラリア撲滅
第 3 部 戦後補償問題

[入場者] 1,310 名



② 夏休み企画展「星の島やえやま～星文化と写真」展（パネル展）

八重山に伝わる星に関する民話、美しい星空の写真を展示した。また、昭和 16 年の石垣島皆既日食観測の写真など貴重な資料も展示した。

[期間] 平成 27 年 8 月 1 日(土)～8 月 30 日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第 2 展示室

[入場者] 407 名



③ 「米軍と沖縄のあゆみ」展

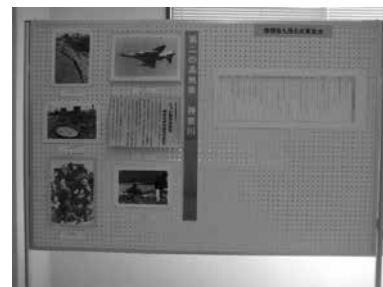
沖縄本島と周辺離島の戦後から復帰前後までの歴史、生活、基地が関係する事件、事故について取り上げた。

また、沖縄県内だけではなく、県外（神奈川県）で発生した米軍機墜落事故についても紹介した。

[期間] 平成 27 年 10 月 31 日(土)～11 月 25 日(水)

[場所] 八重山平和祈念館 第 2 展示室

[入場者] 233 名



④ 戦後 70 年 伝え残す記憶

第 16 回特別企画展「ウチナンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」

(本館移動展)

戦前・戦中・戦後と、日米の双方に深くかかわったハワイウチナンチュ移民を取り上げ、戦争の愚かさや国境を越えた人間の尊厳を通して平和について考える企画展とした。

[期間] 平成 28 年 1 月 16 日(土)～2 月 25 日(木)

[場所] 八重山平和祈念館 第 2 展示室

[展示内容] 第 1 部 近くて遠い台湾～蓬莱の島とともに～

第 2 部 砲弾と飢えと不安の中で～異国のふるさとダバオ～

[入場者] 514 名



(2) 平和教育活動

① 学校教員向け見学説明会

学校で平和活動が活発に行われる6月を前に、学校教員を対象に、館内の展示解説、利用や活用方法等を説明し、学校の利用促進を図った。

[日時] 平成27年5月28日(木)～6月12日(金)

[場所] 八重山平和祈念館

[参加者] 24名(初任者教員及び初任研担当教員等)



② 慰霊の日 ビデオ上映会

沖縄慰霊の日にあたり、平和とは何かを考えさせる映画を上映することで、児童生徒への平和教育への一環とした。

[日時] 平成27年6月23日(火)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 35名



③ 第25回 児童・生徒の平和メッセージ展

本館主催のメッセージ展の八重山会場として、児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の優秀作品の展示を行い、「児童・生徒の平和メッセージ」を発信する機会とした。

[期間] 平成27年7月15日(水)～7月26日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 260名



④ 夏休み平和学習会(自由研究相談室、アニメ上映会及び体験コーナー)

夏休みの平和学習の場として、自由研究等に取り組む児童生徒への支援を行い、併せて体験学習コーナーやアニメ上映会も行った。

[期間] 平成27年8月1日(土)～8月30日(日)

[場所] 八重山平和祈念館

[内容] ア 夏休み自由研究相談室

イ 体験学習コーナー

(「星っころを作ろう!」、「マラリアについて学ぼう!」)

ウ 夏休みアニメ上映会

[参加者] 46名



⑤ 八重山平和祈念館平和ガイド育成への取り組み

昨年度に引き続き、高校生平和ガイドの育成講座を行った。

これから、平和ガイドの活動として、平和学習で来館する児童生徒に対して館内の解説を予定している。

[場所] 八重山平和祈念館

[内容] 平成 28 年 3 月 20 日 沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館について

平成 28 年 3 月 21 日 沖縄戦と八重山の戦争（戦前～沖縄戦）

平成 28 年 3 月 25 日 体験者の講話、戦争遺跡巡り

平成 28 年 3 月 26 日 戦後の沖縄と八重山（戦後～現在）、現在の世界の状況

[参加者] 八重山農林高等学校 1 名

(3) 調査研究活動

① 聞き取り・現地調査・類似館視察等

企画展の充実、沖縄戦、八重山地域の戦争、戦争マラリアに関する認識を深めるため、資料収集に合わせて体験者への聞き取り調査や、現地調査、類似館視察を実地した。

[対象] 戦争体験や企画に関する人や場所等。

[内容] 平成 27 年 8 月 31 日（月） 白水、ヘーギナー壕、大浜掩体壕 現地視察

平成 27 年 11 月 16 日（月）「忘勿石」視察

月別入館者数 平成27年度 八重山平和祈念館

	常設展示室 (第1展示室)												第2展示室	
	個人入館者数				団体入館者数				入館者総数				合計	※入場無料
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計		
平成27年4月	191 (12)	15 (7)	206 (19)	8 (3)	41 (0)	49 (3)	199 (15)	56 (7)	255 (22)	0				
平成27年5月	208 (57)	29 (24)	237 (81)	2 (2)	55 (55)	57 (57)	210 (59)	84 (79)	294 (138)	35				
平成27年6月	347 (163)	183 (172)	530 (335)	118 (37)	606 (606)	724 (643)	465 (200)	789 (778)	1,254 (978)	1,275				
平成27年7月	124 (3)	36 (4)	160 (7)	44 (13)	57 (57)	101 (70)	168 (16)	93 (61)	261 (77)	260				
平成27年8月	158 (12)	79 (18)	237 (30)	8 (8)	25 (25)	33 (33)	166 (20)	104 (43)	270 (63)	407				
平成27年9月	112 (9)	29 (8)	141 (17)	7 (0)	13 (0)	20 (0)	119 (9)	42 (8)	161 (17)	0				
平成27年10月	104 (6)	4 (1)	108 (7)	7 (2)	70 (11)	77 (13)	111 (8)	74 (12)	185 (20)	8				
平成27年11月	181 (5)	13 (11)	194 (16)	2 (1)	19 (0)	21 (1)	183 (6)	32 (11)	215 (17)	225				
平成27年12月	136 (24)	14 (14)	150 (38)	12 (4)	153 (0)	165 (4)	148 (28)	167 (14)	315 (42)	0				
平成28年1月	174 (15)	6 (2)	180 (17)	29 (3)	0 (0)	29 (3)	203 (18)	6 (2)	209 (20)	227				
平成28年2月	204 (30)	34 (16)	238 (46)	37 (3)	0 (0)	37 (3)	241 (33)	34 (16)	275 (49)	287				
平成28年3月	159 (19)	38 (2)	197 (21)	33 (16)	236 (0)	269 (16)	192 (35)	274 (2)	466 (37)					
合計	2,098 (355)	480 (279)	2,578 (634)	307 (92)	1,275 (754)	1,582 (846)	2,405 (447)	1,755 (1,033)	4,160 (1,480)	2,724				

() は内数で無料入場者数

X 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話及び絵本の読み聞かせ
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします。
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

県内学校及び地域における学習支援	1回につき	5,000円
平和講話	1回につき	10,000円
ポイントガイド	1回につき	5,000円
バス乗車	1回につき	10,000円
その他	要相談	

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 平成27年度講話・ガイド活動実績件数

◎平成27年4月～平成27年12月までの活動状況

(県外)

団体	実施件数	実施人数	派遣講師
高等学校	50	8,954	50
中学校	53	5,099	53
小学校	3	1,077	3
その他	45	1,946	51
計	151	17,076	157

(県内)

高等学校	4	2, 972	4
中学校	5	2, 578	5
小学校	17	6, 492	17
その他	2	108	2
合計	28	12, 150	28

(県外・県内)

合計	179	29, 226	185
----	-----	---------	-----

5 平成27年度活動内容

- (1) 2階常設展示室の解説員(54回)
- (2) 協力事業：平成27年5月2日(土)「平和祈念財団」鯉のぼり掲揚式への協力
- (3) 友の会総会：平成27年5月6日(水)
- (4) 学習会1：平成27年5月16日(土)
「徒歩で行く安里から首里への道 月桃の花咲く頃」
学習会2：平成27年6月6日(土)
「激戦の高地とフテンマ・エアフィールド」
- (5) 平和講話及びガイド、マスコミ等取材対応



総会



県内学校での平和講話の様子

XI 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは工作物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

- 2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。
- 3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
- 3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。
 - (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
 - (2) 公益を害するおそれがあるとき。
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

- 2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

- 第11条** 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。
- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
 - (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
 - (3) 許可に付した条件に違反したとき。
 - (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

第12条 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

第13条 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

- 第14条** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
 - (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

第15条 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

- 第16条** 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。
- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
 - (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
 - (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

- 第17条** 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。
- 2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

- 第18条** 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。
- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
 - (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
 - (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
 - (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

第19条 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

- 第21条** 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。
- 2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分		単 位	使 用 料
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,520円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 3 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。

ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式。以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

- 3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

- 第10条** 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。
- 3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。
- (1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。
 - (2) 国又は地方公共団体が使用するとき。
 - (3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

- 第11条** 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。
- (1) 天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。
当該使用料の全額
 - (2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割。
 - (3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割
- 2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

- 第12条** 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。
- (1) 沖縄県が使用するとき。 免除
 - (2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。 免除
 - (3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合
- 2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書（第9号様式）を知事に提出しなければならない。
- 3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書（第10号様式）を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合わせ〕

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

- 第14条** 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
 - (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
 - (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
 - (4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

- 第15条** 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。
- (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
 - (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
 - (4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布
 - (5) 許可された場所以外の場所への立入り
 - (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
 - (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第11号様式）又は資料寄託申請書（第12号様式）を提出しなければならない。
- 3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第13号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第20条 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第21条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。
- 3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第16号様式）によるものとする。

- 2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。
 - (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
 - (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）
 - (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
 - (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
 - (5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

- 11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第29条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種別	品目	単位	使用料	
ホール	舞台	1台	300円	
	司会者卓	1台	150円	
	花台	1台	100円	
	金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	500円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円
		レーザーディスクプレーヤー	1台	500円
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円
		アップパーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	360円
		ローパーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	300円
		フットライト（60W×48灯）	1列	100円
		フォロースポットライト（1KW）	1式	100円
その他		映写機16mm	1台	1,260円
	スライドプロジェクター	1台	520円	
会議室	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		カセットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	400円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	400円
	その他	ビデオプロジェクター	1台	1,260円
オーバーヘッドプロジェクター		1台	520円	
展示室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円
		展示ケース（小）	1台	500円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区	分	単位	使用料
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホール	1時間につき	2,110円
	展示室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展示室	1時間につき	100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

沖縄県平和祈念資料館使用許可条件

- 1 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
 - (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
 - (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
 - (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
 - (4) 施設等は、善良なる管理者の注意を持って管理すること。

- 2 使用者又は入場者は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。
 - (1) 火災、爆発その他危険を生じおそれのある行為
 - (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
 - (4) 許可を受けないで行う広告類の提出又は配布
 - (5) 許可された場所以外の場所への立入り
 - (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
 - (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

第2号様式（第5条関係）

観覧料免除申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次のとおり 沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。)の観覧料の免除を申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

観覧の目的	
観覧者数	人
観覧の日時	平成 年 月 日 () 時 分 から 時 分 まで
引率者氏名 又は 観覧者氏名	
備 考	

第3号様式（第6条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 干
住 所
団 体 名
代表者氏名
電 話 番 号

印

次のとおり使用したいので申請します。

催物の名称					
使用目的					
催物の内容					
使用施設	使 用 日 時				人 員
ホ ー ル	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
展 示 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
大 会 議 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
中 会 議 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
小 会 議 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
八重山平和 祈念館展示室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
使 用 附 属 設 備					
入 場 料	無 料	指定席 整理券	自由席 会員券	入場予定人員	名
	有 料 (円)				
使用責任者 氏 名	使用責任者 の電話番号				
	施設使用料	付属設備使用料	冷房使用料	使用料減免額	計
使 用 料	円	円	円	円	円

(注) 太線の枠内は、記入しないでください。

第9号様式（第12条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 氏

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次のとおり使用料の減額・免除を申請します。

催物の名称	
使用目的	
催物の内容	
使用期間	平成 年 月 日 () 時 分から 平成 年 月 日 () 時 分まで
減額・免除を申請する理由	平和事業に利用するため
備 考	

(注) この申請書は、使用許可申請書と同時に提出すること。

第11号様式（第18条関係）

資料寄贈申込書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。) に寄贈いたします。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	

寄 贈 受 諾 証

申込みのあった資料の寄贈を受諾します。
ただし、寄贈を受けた資料は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例
施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第18条第3項の規定により返還されません。

年 月 日

沖縄県知事

印

第12号様式（第18条関係）

資料寄託申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電話番号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。) に寄託いたします。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
寄託期間	年 月 日から 年 月 日まで

年 月 日

展示資料等の撮影・複製・掲載・放映許可申請書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

沖縄県平和祈念資料館所蔵の展示資料等の撮影・複製・掲載・放映について下記のとおり許可されたく申請します。撮影・複製にあたっては、沖縄県平和祈念資料館のご指示を遵守し、掲載及び放映については、著作権法に定める一切の責任を私において負担することはもちろんのこと、沖縄県平和祈念資料館に対していささかのご迷惑もおかけしないことを誓約いたします。

所在地又は住所（郵便番号・電話番号を明記）

会社名（団体）
責任者名又は担当者名

印

記

- 1 目的
- 2 申請資料名
- 3 掲載書名等及び発行予定日（放映等にあたってはその番組名と放送予定日）
- 4 撮影日時
- 5 撮影担当者

許可条件 （1）上記目的以外に使用しないこと。
（2）掲載・放映に際しては「沖縄県平和祈念資料館提供」の旨を表示すること。
（3）使用目的の完了後、すみやかに成果品を提供すること。
（4）資料に記載されている情報のうち、プライバシーや個人情報の保護に十分に配慮し、違法又は人権を侵害する利用となる場合には、文書資料の内容をそのまま公にしないこと。

資料貸出要項

1 貸出資料

写真パネル（沖縄戦172点 サイパン・テニアン戦29点）
児童・生徒の平和メッセージ図画・作文・詩入選作品パネル
世界人権宣言絵画パネル一式（35点）
沖縄戦実物資料（20種類）

2 貸出条件（条例施行規則第22、23条）

- (1) 貸出資料は、当館が適切と認める公共団体等の展示等で利用・活用されること。
- (2) 貸出申請の際には、身元確実な保証人がいなければならない。
- (3) 貸出申請者は、この許可証を紛失したときは、速やかに届け出なければならない。
- (4) 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、または貸与してはならない。
- (5) 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。
- (6) 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。
- (7) 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

3 特記事項

- (1) 貸出資料数は、原則として20点以内とする。
- (2) 資料貸出期間は、原則として1ヶ月以内とする。
- (3) 資料貸出の申請は、原則として貸出日の2週間前までに行うこと。
- (4) 資料の貸出は無料とする。但し、貸出に係る輸送等の経費は、借受人の負担とする。
- (5) 資料の輸送は、原則として専門的技量を有する輸送業者扱いとし、借受人が手配すること。輸送業務は、梱包から開梱まで含むこと。
- (6) 借受人は貸出条件を遵守すること。条件に違反した場合には許可を取り消すことがある。その際に生じた損害については、当資料館はその責任を負わない。
- (7) 貸出資料の利用によって著作権法に係る問題が生じたときは、当資料館はその責任を負わない。
- (8) 借受人は貸出資料の利用状況について、「開催報告書」を提出すること。

4 提出書類

- (1) 資料貸出申請書（14号様式）
- (2) 資料貸出明細書
- (3) 事業企画書（実施要項等）
- (4) 開催報告書（指定用紙）

*申請はあらかじめFAXで行い、
後日原本を郵送して下さい。

連絡先：沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614-1 Tel 098-997-3844 Fax 098-997-3947 URL http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/

第14号様式（第22条関係）

資料貸出申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

印

保証人

住 所

氏 名

電 話 番 号

印

沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。)の資料について、貸出しを申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保 管 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸出申請理由	

戦争体験証言ビデオ貸出要項

1 目的

編集済み戦争体験証言ビデオ（以下、「証言ビデオ」という。）を貸し出すことによって、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを知ってもらう。

2 利用方法

- (1) 利用者は「貸出用証言ビデオリスト」をもとに、「証言ビデオ貸出申請書」（以下、「申請書」という。）を提出、又は沖縄県電子申請システムを使用して貸出の申請を行う。
- (2) 職員は申請書を確認した後、「証言ビデオ貸出許可証」（以下、「許可証」という。）を証言ビデオと一緒に申請者に交付する。
- (3) 利用者は返却時に証言ビデオと許可証と一緒に返却する。

3 貸出期間

原則として2週間以内とする。

4 貸出本数

原則として5本以内とする。

5 貸出条件

- (1) 申請書の目的以外に使用しないこと。
- (2) 転貸借をしないこと。
- (3) 複製をしないこと。
- (4) 営利目的に使用しないこと。
- (5) 滅失・汚損・き損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

6 その他

証言ビデオの貸出は無料とする。但し、郵送又は宅配便利用の際は申請者負担とする。

沖縄県平和祈念資料館

〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

開催状況報告書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

日 時 平成 年 月 日

団体名

住 所

電 話

担当者

次のとおり開催状況を報告します。

会 名 称																															
借用期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 (日間)																														
開催期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日																														
会 場		入場者数																													
借用資料	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">1 沖縄戦写真パネル</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">(</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 5%; text-align: center;">点)</td> </tr> <tr> <td>2 サイパン・テニアン戦写真パネル</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td></td> <td style="text-align: center;">点)</td> </tr> <tr> <td>3 児童・生徒の平和メッセージ作品パネル</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td></td> <td style="text-align: center;">点)</td> </tr> <tr> <td>4 世界人権宣言絵画パネル</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td></td> <td style="text-align: center;">点)</td> </tr> <tr> <td>5 沖縄戦実物資料</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td></td> <td style="text-align: center;">点)</td> </tr> <tr> <td>6 「沖縄戦の絵」複製パネル</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td></td> <td style="text-align: center;">点)</td> </tr> <tr> <td>7 その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			1 沖縄戦写真パネル	(点)	2 サイパン・テニアン戦写真パネル	(点)	3 児童・生徒の平和メッセージ作品パネル	(点)	4 世界人権宣言絵画パネル	(点)	5 沖縄戦実物資料	(点)	6 「沖縄戦の絵」複製パネル	(点)	7 その他			
1 沖縄戦写真パネル	(点)																												
2 サイパン・テニアン戦写真パネル	(点)																												
3 児童・生徒の平和メッセージ作品パネル	(点)																												
4 世界人権宣言絵画パネル	(点)																												
5 沖縄戦実物資料	(点)																												
6 「沖縄戦の絵」複製パネル	(点)																												
7 その他																															
開催状況 および感想																															

*開催状況写真、新聞記事、参考資料などがあれば添付して下さい。

資料返却時または返却後一週間以内にファックスか郵送で送付して下さい。

送付先 沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL 098-997-3844 fax 098-997-3947

戦争体験証言ビデオ貸出申請書

平成 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

団体名

郵便番号

住 所

電話番号

申請者名

印

戦争体験証言等ビデオの貸出しを申請します。

1 目 的

2 期 間 (2週間以内を原則とする。)

平成 年 月 日 () ~ 月 日 () まで

3 本 数 (5本以内を原則とする。)

本

4 ビデオ (VHS または DVD) No. ()

「平和のウムイ」DVD のみ No. ()

貸出条件

- (1) 申請書の目的以外に使用しないこと。
- (2) 転貸借をしないこと。
- (3) 複製をしないこと。
- (4) 営利目的に使用しないこと。
- (5) 滅失・汚損・き損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

平和学習キット借用申請書

平成 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

学 校 名 :

住 所 :

電話番号 :

申請者氏名 : 印

申請者連絡先 :

平和学習キットの借用を申請します。

1 目的

2 期間（2週間以内を原則とする：借用、返却の日を含む）

平成 年 月 日（ ）～ 月 日（ ）まで

3 希望キット名（A～D 4種類あります。別紙参照。希望するものに○をつけて下さい。）

1	平和学習キット A 《戦争とくらし：19点》	()
2	平和学習キット B 《沖縄戦の記憶：20点》	()
3	平和学習キット C 《沖縄戦の記録写真：30点》	()
4	平和学習キット D 《みんななかよく：絵本1点、紙芝居2点》	()

貸出条件

- (1) 申請書の「1 目的」以外に使用しないこと。
- (2) 県内外の学校ならびに学校関係機関での使用に限る。
- (3) 転貸借をしないこと。
- (4) 複製をしないこと。写真データの借用を希望する際は、別途申請する。
(決裁に時間がかかります。ゆとりを持って申請して下さい。)
- (5) 営利目的に使用しないこと。
- (6) 使用に関する注意事項を厳守すること。
- (7) 滅失、汚損、棄損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

※対応者 ()

沖繩県立平和祈念資料館(旧館) 年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧										無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考	
	観 覧 料 種 別					出 身 別										計
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)		県内	県外	外国								
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)								18,468	248	74		
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)								18,091	306	59		
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)								19,494	307	72		
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)								34,851	220	158		
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)								53,708	305	176		
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)						176		53,428	307	174		
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)						310		58,778	304	199		
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)						522		72,261	307	240		
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)						685		75,509	307	252		
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)						1,210		80,191	255	326		
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)						1,561		96,925	306	326		
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)						1,780		100,144	306	335		
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)						2,061		118,378	306	403		
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)						2,952		131,244	306	440		
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)						3,640		116,181	307	397		
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)						3,391		100,256	306	388		
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)						3,501		88,621	305	320		
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)						3,752		81,960	307	303		
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)						3,600		81,002	310	274		
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)						3,785		79,864	310	267		
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)						4,046		154,114	308	525		
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)						3,506		151,932	311	507		
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)						2,951		176,968	310	593		
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)						2,828		169,234	312	558		
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)						2,585		175,437	295	611		
												2,307,039				
												104,723				
												2,411,762				

沖縄戦の実相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残忍だが、これほど汚辱にまみれたものはないと
思っています

この なまなましい体験の前では

いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さない奴力のできようも
私たち 人間 下はない下しようか

戦後このかた 私たちは

あらゆる戦争を増み

平和な島を建設せねば、と思いつけてきました

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た

ゆずることのできない

私たちの信念なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第16号

2016（平成28）年5月



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

八重山平和祈念館（分館）

住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

